史跡　斎宮跡

平成10年度発掘調査概報

2000

斎宮歴史博物館

第 124 次調査区全景（北東から）

史跡斎宮跡

第1図　平成10年度発掘調査位置図（1：10,000）

はじめに

今年は、西暦二千年の年であり、世に云うミレニアムであります。前のミレニアムすなわち西暦一千年は、我が国では平安時代の真っ直中にあたり、一条天皇の治世、長保二年でありました。この年、一条天皇は、藤原定子につぎ、藤原彰子を中宮に迎えました。皇后定子には清少納言、中宮彰子には紫式部が侍して、世界の文化遺産である『枕草子』『源氏物語』が著され、不屈の名著として、今日の私どもに伝えられております。まさに平安王朝文化の精華の時代でありました。

時を同じくして、この斎宮には村上天皇の為平親王を父とし、同天皇の御兄弟であり、公事典礼の典拠とされた「西宮記」の著者源高明の娘を母とする恭子皇女が斎王として在位してみえます。平安宮の華やかな王朝文化と斎宮の清浄な祭祀文化は、ともに平安時代を代表するものであり、このミレニアムの年、想いは平安文化を駆けめぐり、斎宮跡の調査研究と斎宮跡歴史ロマン再生事業を、次のミレニアムに託したいと思います。

斎宮跡の調査も、30年に及ぶ先人の業績に支えられ、斎宮跡の内院地区の解明も大きく前進しており、ここに報告いたします第124次調査でも、一千年前の建物跡などが明らかにされております。また、昨年度10月に開館いたしました「いつきのみや歴史体験館」は、その具現ともいえる施設であり、次の世代に伝えられる文化資産と申し上げることができます。

この度刊行させていただく本概報は、平成10年度に実施いたしました斎宮跡の計画調査及び史跡整備事業に伴う事前調査の成果の概要をまとめたものであり、これまでの膨大な調査成果の蓄積と相まって斎宮跡の実態解明にとって貴重な資料となるものと信じております。

斎宮跡の保存と調査研究・整備にあたりましては、文化庁をはじめ斎宮跡調査研究指導委員会の先生方の御指導や、地元明和町をはじめとする関係機関・各位の御協力の賜物と感謝申し上げます。

平成12年３月

斎宮歴史博物館
館長　大井與生

例　　言

1　本書は、斎宮歴史博物館が平成10年度に国庫補助金を受けて実施した史跡斎宮跡発掘調査の概要をまとめたものである。

2　明和町教育委員会が、国庫補助金の交付を受け事業主体となって実施した史跡現状変更等に伴う緊急発掘調査の報告書は、別途明和町教育委員会が刊行している。

3　遺構の実測にあたっては、国土調査法による第Ⅵ座標系を基準とし、方位は座標北を用いた。

4　遺構の時期区分は、「斎宮の土師器（三重県斎宮跡調査事務所年報1984)」による。

5　遺構表示記号は次のとおりである。
　ＳＢ；建物　ＳＡ；柵列　ＳＥ；井戸　ＳＫ；土坑　ＳＤ；溝　ＳＦ；道路　ＳＸ；その他

6　方格地割における各区画の名称は第23図に示した。

7　特に表示が無い限り遺物実測図は実物の４分の１、遺物写真は約３分の１である。

8　用語は、「墓に関わる穴」には廣、「その他の穴」には坑を用いた。また、遺物については、材質の差による漢字の偏に必ずしも従うことなく、「杯」「椀」等を用いた。

9　斎宮跡の調査全般については、斎宮跡調査研究指導委員会の委員の指導を得た。（敬称略）

京都橘女子大学学長	門脇禎二
千葉大学教授	北原理雄
聖心女子大学助教授	佐々木恵介
元奈良国立文化財研究所所長	鈴木嘉吉
（財）大阪文化財調査研究センター理事長	坪井清足
岐阜聖徳学園大学教授	所　京子
愛知県陶磁資料館総長	楢崎彰一
三重大学名誉教授	八賀　晋
皇學館大學教授	渡辺　寛

10　現地での発掘調査及び本概報の編集・執筆は斎宮歴史博物館調査研究担当の駒田利治、上村安生、大川勝宏、角正芳浩があたり、松月浩子、八木光代がこれを補助した。また、遺物整理には島村紀久子、西村秋子、杉原泰子の協力を得たほか、池野香代（皇學館大學大学院生)、中島沙惠（佛教大学々生)、大西瞳（花園大学々生）の参加を得た。

目　　次

Ⅰ　調査の経過と概要 …… 1
Ⅱ　第 124次調査 …… 3
Ⅲ　第 126次調査 …… 38
発掘調査報告抄録 …… 64

表・挿図目次

〔表〕 1　平成10年度発掘調査一覧 …… 2
2　第124次調査時期別遺構一覧表 …… 7
3　第124次調査掘立柱建物・柵列一覧表 …… 40
4　第124次調査遺物観察表 …… 41
5　斎宮跡発掘調査次数一覧表 …… 58
〔図〕 1　平成10年度発掘調査場所位置図（1：10,000）
2　第124次調査　調査区位置図（1：2,000） …… 3
3　〃　遺構実測図（1：200） …… 6
4　〃　ＳＥ8085土層断面図（1：40） …… 8
5　〃　遺物実測図（SK8057・SK8088） …… 13
6　〃　遺物実測図（SK8088） …… 14
7　〃　遺物実測図（SK8088） …… 15
8　〃　遺物実測図（SK8088・SK8084） …… 16
9　〃　遺物実測図（SK6792・SK6794） …… 18
10　〃　遺物実測図（SK8063・SK8065・SK7930・SK8071・SK8089） …… 20
11　〃　遺物実測図（SK8093・SE8058・SK8059・SK8094） …… 22
12　〃　遺物実測図（SK8069・SK8072・SK6750） …… 24
13　〃　遺物実測図（SK6750） …… 25
14　〃　遺物実測図（SD1460） …… 26
15　〃　遺物実測図（SD1460・SK8073） …… 28
16　〃　遺物実測図（SK8066） …… 30
17　〃　遺物実測図（その他の遺物） …… 31
18　〃　鍛冶山西区画遺構変遷図（1） …… 35
19　〃　鍛冶山西区画遺構変遷図（2） …… 36
20　第126次調査　調査区位置図（1：2,000） …… 38
21　〃　遺構実測図（1：200） …… 39
22　斎宮跡地区表示 …… 62
23　斎宮跡方格地割区画名称 …… 63

写　真　図　版

巻首図版　第 124 次調査　航空写真

ＰＬ１	上：調査区全景（上から）	下：調査区全景（北から）
ＰＬ２	上：SA2705（西から）	下：SB7385・8050（北から）
ＰＬ３	上：SB8050（東から）	下：SA6790・SD6803（北から）
ＰＬ４	上：SB8060・8061・8062（北から）	下：SB8091（南から）
ＰＬ５	上：SB7915・7916・7917(北東から）	下：SB8090（東から）
ＰＬ６	上：SB6740（東から）	下：SE8085（東から）
ＰＬ７	上：SK6792 遺物検出状況（北から）	下：SK6794 南焼土面立ち割状況（西から）
ＰＬ８	上：SK8088 遺物出土状況（東から）	下：SK8088 埋土断面（南から）
ＰＬ９	上：SD1460 遺物出土状況（南から）	下：SD8066 遺物出土状況（北から）
ＰＬ 10	上：SD8063・8064（東から）	下：SD8069・SK8071（東から）
ＰＬ 11	第 126 次調査上：調査区全景（西から）	下：SD8098・8099（南から）
ＰＬ 12	第 124 次調査遺物写真（SK8057　SK8088）	
ＰＬ 13	遺物写真（SK8088　SK8084　SK6792）	
ＰＬ 14	遺物写真（SK6794　SK8071　SE8058　SK8059）	
ＰＬ 15	遺物写真（SK8069　SK8072　SK6750　SD1460）	
ＰＬ 16	遺物写真（SD1460）	
ＰＬ 17	遺物写真（SK8073　SK8066）	
ＰＬ 18	遺物写真（SK8066　墨書土器、石帯）	

Ⅰ　調査の経過と概要

経　過

古里地区での宅地開発計画に伴い、昭和45年に始まる斎宮跡の発掘調査は、文化庁の補助事業として昭和48年から開始した範囲確認調査を経て、昭和54年３月27日に国の史跡に指定され、それ以降史跡解明の計画調査を継続して実施している。

これまでの発掘調査成果の蓄積から平安時代初期を中心に展開を想定している方格地割において、方形区画内を巡る柵列や、大型掘立柱建物の規則的な配置、祭祀を想起させる土坑の存在等から、当該期における斎宮寮の中枢部の可能性が強い牛葉・鍛冶山地区における構造解明に重点をおいて調査を進めている。

また、史跡指定以降、管理団体である明和町が文化庁及び県の補助を得て実施している史跡の買い上げの進捗と相まって、公有地の管理と史跡の活用が課題となり、平成５年度に『史跡斎宮跡整備基本構想検討調査報告書』刊行、平成８年３月に『史跡斎宮跡整備基本構想』の策定を行なうとともに、平成７年度には文化庁の指導を得ながら『史跡斎宮跡「遺構の活用・演出的整備ゾーン」整備基本計画』を確定した。

整備計画地は斎宮駅北側の方格地割北西隅部に想定される地区であり、公有化が最も進捗した地区であるとともに、斎宮跡及び斎宮歴史博物館への窓口の一つであり、また、近代の瓦粘土採掘によって遺構の保存状況が必ずしも良くない地区であることにより、『史跡斎宮跡　整備基本構想』の「遺構の活用・演出的整備ゾーン」として、137.1haの広大な広がりをもつ斎宮跡の理解を体験的に深めるため、１／10史跡全体模型を核とした体験学習を実施できる整備ゾーンとして位置づけた。平成10年度は、体験学習施設の建築工事を実施している。

第124次調査

第119次調査に引き続き、内院地区と想定される鍛冶山西地区の中枢部において、周辺の既調査である第92次・第98次・第109次・第119次調査での成果と当該地区の遺構変遷を解明するため、第124次調査を実施した。

調査の結果、内郭柵列の北東隅を確定し、内郭北辺の総長が200尺で造営され、外郭と中心軸を違えるが東西とも南に折れ内郭を形成する事が明瞭になった。また、内郭存続時には、内郭内の北部分には、５間×２間の大型掘立柱建物が２棟、第119次調査のＳＢ7950と内郭柵列を介して、東西に棟方向を合わせて配置されていること、倉庫と判断される大型総柱建物や、後続する平安時代前期の大型掘立柱建物群、方形井戸並びに平安時代中期を中心とする土器溜まりも数基検出しており、奈良時代後期後葉から平安時代中期までの斎宮の中枢部が置かれたことが明確となった。

第1回調査研究指導委員会

第124次調査が終了した10月９日（金）に今年度第１回目の斎宮跡調査研究指導委員会を開催し、現地指導も含め、内院地区の遺構についても指導・助言を得た。

また、整備事業についても、体験学習施設の建築指導及び１／10史跡全体模型の整備計画についても指導を受けた。さらに、体験学習施設で実施する体験学習の内容についても助言を得た。

第126次調査

平安時代の斎宮が置かれた方格地割は東西７列、南北４列の規模を持つことが確認されているが、その四至は必ずしも明確ではなく、平成４年度の第96-５次調査で発見された八脚門以外、宮門の検出もみられず方格地割の外郭線は今後の課題となってい

る。こうした状況のもとで、方格地割南辺の東西道路・側溝等の区画施設の検出を目的として中西東区画の南辺中央で第126次調査を実施した。

調査の結果、南北方向の溝２条のほか、溝・土坑等を検出したが、ともに室町時代以降のものであり、平安時代の東西道路の側溝等の外郭施設の確認は、課題を残すままとなった。

第2回調査研究指導委員会

体験学習施設の建築工事が本格的な時期を迎えた３月２日（火）に、施設の建築指導、１／10建物模型の材質について審議いただいた。１／10建物模型の材質については、木製・ＦＲＰ製・アルミ合金製の３素材を用いた１／10模型の暴露試験を、今年度４月から実施しており、その状況の視察を得ながら審議・指導をいただき、最終決定を次回の委員会で行なうことで了解を得た。

現状変更調査

その他、史跡現状変更に伴い管理団体である地元明和町教育委員会が調査主体となり、斎宮歴史博物館が担当している事前の緊急発掘調査は、本年度は４件を第125次調査として実施し、工事立ち会いを25件実施した。

第125－１次調査は、平成９年度に歴史の道北側で実施した第123－６次調査に引き続き、昨年度調査区の南部分を調査し、奈良時代の竪穴住居２棟のほか、鎌倉時代の井戸等を検出した。竪穴住居から出土した遺物は、奈良時代の後期の土器構成を知る上で貴重な資料となった。

第125－２次調査は、旧参宮街道で行なわれた水道管の敷設変え工事に伴うものであり、調査区の幅が0.7ｍと狭く、遺構の検出には至らなかったが、史跡内における遺構面の東西方向の状況について、大凡の知見を得ることができた。

第125－３次調査では奈良時代の溝の存在を確認し、第125－４次調査では、内山西区画において掘立柱建物等を確認し、それぞれの調査区は、制約も大きく小規模な調査であるが着実に成果を積み上げている。　（駒田利治）

調査次数	地区名	面積（㎡）	調査期間	地籍・地番	所有者	備考	区分
124	6AFM-BEG	978	H10.7.6～H10.11.12	斎宮字鍛冶山2740－３	個人	計画調査	2
126	6AGU	200	H10.10.19～H10.11.24	斎宮字中西	個人	計画調査	3
合計		1,178					

調査次数	地区名	面積（㎡）	調査期間	地籍・地番	所有者	備考	区分
125－１	6ACC-I	336	H10.4.3～H10.5.14	斎宮字塚山3337-1他	個人	個人盛土	3
125－２	6AES	412	H10.9.29～H11.1.26	斎宮竹川地内	明和町	水道改修	3
125－３	6ADD-R	60	H10.12.4～H10.12.28	斎宮字篠林	個人	倉庫新築	3
125－４	6ACN	39	H11.1.7～H11.2.5	斎宮字広頭	明和町	水路改修	3
合計		847					

第１表　平成10年度発掘調査一覧

Ⅱ　第　124　次　調　査

（6ＡＦＭ－Ｂ・Ｅ・Ｇ）

１　はじめに

方格地割と内院の解明

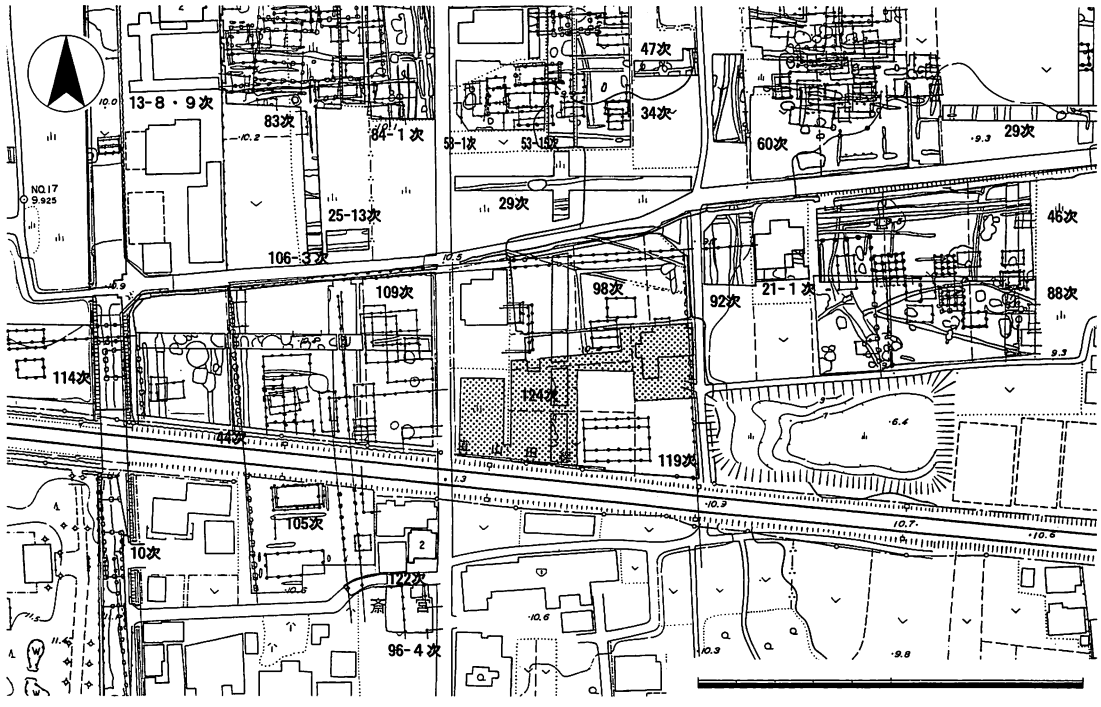
これまでの史跡斎宮跡の約30年に及ぶ発掘調査により、奈良時代後期から平安時代前期にかけて整備されたと考えられる一辺約120ｍの方形区画を基本とする方格地割と、その中心部である内院と推定される地区の解明は飛躍的に進展してきた。

特に鍛冶山西区画と呼ばれる方格地割中央部の区画は、第44次調査（昭和57年度）で区画内を囲繞する柵列が発見されたのを皮切りに、第92次調査（平成３年度）、第98次調査（平成４年度）でその柵列の東西方向の全長が、従来考えられてきた方形区画の規模を大きく越えて東に延長しており、第105次調査（平成６年度）、第109次調査（平成７年度）では、既知の柵列の内側で新たに柵列の囲みを発見し、この区画のみが少なくとも東西方向に、従来考えられてきた方形区画を大きく越えて東に広がっていた段階がある事、また区画内の柵列の囲みが二重になっていた事など、この区画が他の区画より大規模で、より荘重な構成となっている事が明らかになった。

さらに昨年度実施した第119 次調査では南北両面に庇をもつ６間×４間の規模の斎宮跡最大級の掘立柱建物を発見し、多数の土器溜まり遺構や大量の緑釉陶器などの出土ともあわせ、この区画の内院推定地としての優越性は揺るぎないものとなっている。

しかし、依然としてその中心的性格の建物は発見されておらず、また、区画の内郭を構成する内側の柵列の東辺を第119 次調査において発見する事ができず、区画のシンメトリカリィの上で課題も生じている。

今回の第124 次調査は、この鍛冶山西区画のうち、近鉄線より北側の範囲で、これまでの調査地に挟まれた約 978㎡を対象とし、この区画の構造と変遷を明らかにするために平成10年７月１日から11月12日にかけて実施した。



第２図　第124次調査　調査区位置図（１：2,000）

２　遺　構

調査区の概況　調査区の現況は畑地及び荒蕪地で、南は近鉄山田線に接し、南から北に向かって緩やかに傾斜する。調査区はこれまでの周辺調査地や立ち木等を避けるため、西部・中央部・東部の３カ所をトレンチで連結した複雑な鍵状の形状となっている。

調査区の基本的な層序は表土（耕作土）、にぶい暗褐色土（包含層）、黄橙色～赤橙色で部分的に円礫群が露頭している粘質土（地山：遺構検出面）で、調査区西部では地山上面が深く削平されており、中央部東南端では近世以降の寺院が立地していたため斎宮期の遺構は攪乱されていた。また東部では近年まで民家が建っていたため、現在も井戸が残存しており、包含層は攪乱されて大量の瓦や陶磁器が棄てられていた。

⑴　奈良時代後期の遺構

掘立柱建物４棟と鍛冶山西区画の内郭を構成する柵列の北辺と東辺がある。

SA2705・8080　まず内郭柵列は、第109次調査区から延びてくるSA2705の延長を調査区内で８間分確認した。柱間寸法約3.0m（10尺）、柱掘形の平面は一辺0.9mの方形である。

また、今回の調査で、第29次調査のトレンチで確認していた柱穴列が、この内郭柵列の東辺となる事が改めて確認されたため、これをSA8080とした。近世の溝が重複する事もあって、既に柱掘形の形状が失われているが、第29次調査のトレンチ間の畦畔部に残存していた北東角から３間南に位置する柱穴を精査した結果、一辺約1.0mの方形でSA2705とほぼ同規模のものと推定される。柱痕跡は、いずれも直径約30cmである。

この結果、内郭の東西柵列SA2705は20間である事が確定した。なお、SA8080は調査区内の攪乱のため、南への延長は不明である。

SB7385・8050　掘立柱建物では、第109次調査で確認されたSB7385の東梁行を確認し、柱間寸法が約3.0m（10尺）で５間×２間の東西棟である事が判明した。柱掘形は一辺約1.0mで、柱痕跡は直径約40cmである。また、その２間分東に桁行の柱筋をあわせて同一規模のSB8050を検出した。SB8050には柱抜取り痕が認められる。２棟は第119次調査のSB7950の身舎とも柱筋をあわせている。また２棟はいずれも内郭柵列とも柱筋を合わせているが、内郭の東西中心軸とは配置が整合しない。

SB6740・8090　調査区東部では２棟の総柱建物が見つかった。第98次調査で一部が確認されていたSB6740は、３間×３間の規模となる事が確定した。東西の柱間寸法は約1.8m、南北は約2.1mで、柱掘形は一辺約1.0～1.2m、柱痕跡は直径約40cmの大型建物である。新たに発見したSB8090は、SB6740と全く同規模のもので、２棟間の間隔は約8.9m（30間）で計画性が窺われ、併存していた可能性が高い。SB6740には柱抜取り痕が認められる。

SA6770　なお、第98次・119次調査で確認されているSA6770は、今回の調査区内では確認する事ができなかった。

⑵　平安時代初期の遺構

掘立柱建物３棟、柵列１条、井戸１基、土坑１基、溝１条がある。前段階の建物・内郭柵列は全て廃絶し、区画の構造が大きく変化した事が窺われる。また外郭柵列も全体に南へ約2.4m移動して、北辺柵列SA6780、東辺柵列SA6790、西辺柵列SA2675に建て替られるのもこの段階と考えられている。

SB8060・8061　調査区中央部で新たに南北棟が２棟建てられる。SB8060は、５間×２間の規模で、柱間寸法は約2.4m（８尺）である。SB8060は、同じ位置で同規模のSB8061に建て替

第３図　第124次調査　遺構実測図（１：200）

えられる。いずれも柱掘形は、一辺約1.2mの方形の大型で、SB8061の柱痕跡は直径約40cmである。南側梁行柱筋を第119次調査検出のSB7918・1919の身舎に揃える。

SB8091　調査区東部で確認された３間×２間の南北棟となるとみられるものである。平安時代前Ⅱ期のSK8093が重複するため、東側の桁行柱筋が欠失している。柱穴は、一辺約0.8m、柱痕跡は直径約30cmである。

SA6790　柵列では、SA6770に後続するSA6790を確認する事ができた。柱痕跡は残らないものの柱間寸法は約3.0mとみられる。なお、柵列の北東角から22間目にあたる柱穴は精査したにも関わらず見つける事ができなかった。

SE8085　調査区東部で発見された大型の井戸である。井戸掘形は一辺約６mの略方形で、この周辺には深さ約0.3～0.7mの方形の土坑状の掘り込みが少なくとも北・西・南側には掘削されている。この部分は砂礫の混ざった粘質土で充填され固く締まっていた。

遺構検出時には、井戸掘形の埋土と明確に区別できず、第119次調査で確認されたSE7920と同様の地業をもつ井戸と考えられる。ただしSE8085の場合、SE7290のように版築構造は明確なものではなく、規模も小さい。また、井戸掘形に重複して現代の井戸が残っているため、東半分のみで遺構面から2.3mの深さまで調査した。出土遺物は遺構の規模に比して整理箱で１箱程度と少ない。土師器杯・台付杯・高杯・甕・甑・竈、須恵器杯・甕、灰釉陶器椀の破片が出土している。

SK8078　調査区中央部南の直径1.6m、深さ0.3mの円形の土坑である。埋土は地山粒混じりの黒色土で、遺物は土師器の小片が出土したのみである。

SD8077　調査区中央部南の東西方向の長さ5.7m、幅1.6m、深さ0.4mの溝で、断面形が浅い「U」字状になる。黒色の埋土で、SK8078と酷似する。遺物は土師器の小片が僅かに出土したのみである。なお、この東側に延長するSD1456は、ほとんど出土遺物がなく、第29次調査の出土遺物の中に平安前期に入る可能性のあるものが含まれているため、あるいはSD8077を再掘削したものかもしれない。

(3)　平安時代前Ⅰ期の遺構

掘立柱建物４棟、土坑４基がある。

		遺構の種別					
		SB	SA	SK	SD	SE	SX
奈良	後期	6740 7385 8050 8090	2705 8080				
平安	初期	8060 8061 8091	6790	8078	8077	8085	
	前Ⅰ期	7915 7916 7917 8062		8081 8084 8087 8088			
	前Ⅱ期			6772 6792 6794 7929 7930 8046 8047 8055 8065 8071(下層) 8086 8092 8093	1456 6810 8053 8054 8063 8064		
	中期			8049 8056 8057 8058 8059 8071(上層) 8072 8073 8083 8094	1459 1460 6750 8066 8069		
近世				7961 8067 8068 8082	7961 8067 8068		1458 8070 8074 8075 8076 8079
不明				8048 8051 8052	6803 7922		

第２表　第124次調査　時期別遺構一覧

SB8062　平安時代初期のSB8060―8061から引き続き建て替えられた５間×２間の南北棟である。柱間寸法は2.4m（８尺）柱掘形は一辺0.9～0.6mの方形で、柱痕跡は直径約30cmの大型建物である。

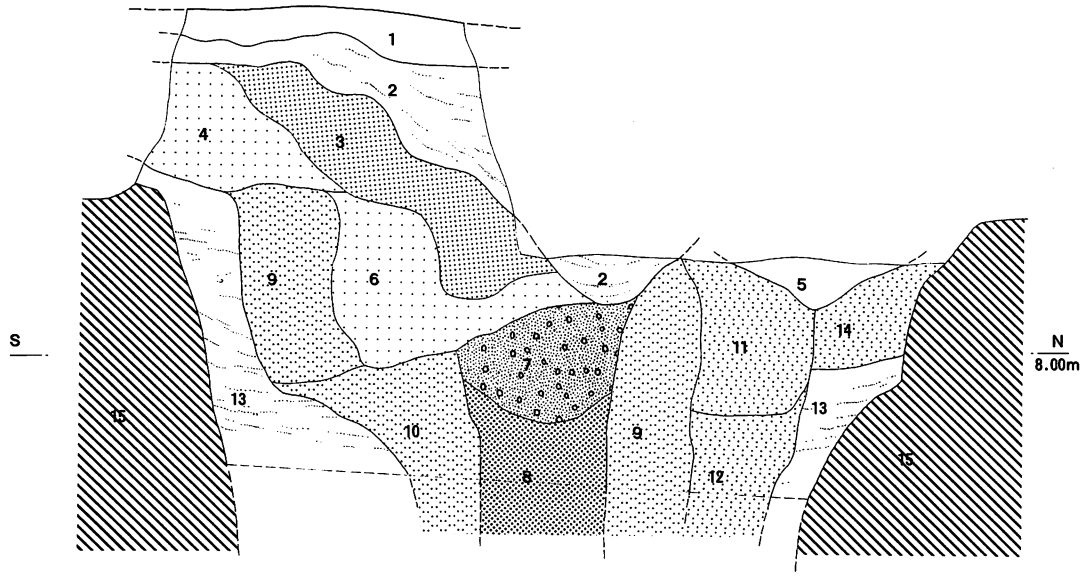
SB7915～7917　昨年度の第119次調査の際に大部分が確認されており、今回それぞれ新たに身舎の東梁行の柱穴を確認した。結果、いずれもが４間×３間の南面庇付きの建物で、柱間が桁行2.4m（８尺）、梁行2.7m（９尺）である事が確定した。それらの建物も棟方向を外郭柵列と揃えている。

土　坑　この時期の土坑は全て調査区の東半分に集まっている。特にSK8081以外はいずれも大量の土器類が出土した所謂「土器溜まり」である。

SK8084　1.1×0.9m、深さ0.5mの楕円形で、整理箱７箱分の土師器杯・皿・蓋・高杯・甕・甑・竈片・ミニチュア土器、須恵器台付杯・蓋・壺、炭化材などが出土している。

SK8087　SB6740に重複する直径約0.8m、深さ約0.6mの小規模な土坑だが、土師器杯・皿・甕、須恵器杯・盤・甕が炭化材を伴って整理箱で４箱分出土している。

SK8088　東西3.2m、南北2.9m、深さ0.5mの不整楕円形の土坑である。大量の土器類が埋没しており、検出段階では複数の土坑の重複を想定したが、トレンチによる断面観察でも埋土の重複関係や遺物の明確な時期差は判断できなかったため、一括して扱っている。炭化材や焼土塊も多量に含んでおり、炭化材は微細なものばかりではなく、直径５～６cm、長さ約10cmのものもある。土師器は杯・皿・台付杯・蓋・平底鉢・甕・竈と都城の形式分類で壺Ｅとよばれる小型の無頸壺が、須恵器では台付杯・盤・蓋・甕（あるいは短頸壺）やスサ入りの粘土塊などが整理箱で33箱分出土している。



① 小礫や腐蝕分を含む粗しょうな黒褐色壌土（10YR／１表土）
② 小石・礫をほとんど含まないやや粗しょうな褐色中砂質壌土（7.5YR４／３）
③ 直径10cm弱の円礫や土器片を多量の含むやや粗しょうな灰褐色中砂質壌土（7.5Y４／２）
④ 直径5cm程度の円礫や炭化物を僅かに含むやや粗しょうな灰褐色中砂質壌土（7.5YR４／２）
⑤ 直径10cm弱の円礫を多量に含み、やや粗しょうな灰褐色中砂質壌土（7.5YR４／２）
⑥ ③に比してやや明度があり中砂質分の多いやや粗しょうな灰褐色中砂質壌土（7.5YR４／２）
⑦ ⑥をわずかに含む直径10～15cmを中心とした円礫・亜円礫
⑧ 直径5～10cmの円礫を多量に含む固結度の低い黒褐色中砂質壌土（7.5YR３／１）
⑨ 直径5～10cmの円礫や小土器片を少量含む黒褐色中砂質壌土（7.5YR３／２）
⑩ やや固結度の高い直径5～10cmの円礫や小土器片を少量含む黒褐色中砂質壌土（7.5YR３／２）
⑪ 直径5～10cmの円礫を多量に含み、やや固結度の高い黒褐色中砂質壌土（7.5YR３／２）
⑫ 礫少なく粗砂質の多い直径5～10cmの円礫を多量に含み、やや固結度の高い黒褐色中砂質壌土（7.5Y３／２）
⑬ 微細な層埋状の構造がみえ極めて固結度の高いにぶい黄褐色中～粗砂質壌土（10YR４／３）
⑭ 小円礫をわずかに含み固結度の高い黒褐色中砂質壌土（10YR３／２）
⑮ 粘性のある燈色（５YR６／８）～明黄褐色（10YR７／６）埴土（地山）

0　1m

第４図　ＳＥ8085土層断面図（１：40）

SK8081　調査区中央部北辺で検出された土坑で東西1.7m、南北約2.0m、深さ約0.2mの浅い土坑で、遺物は土師器杯・甕の小片が少量出土したのみである。

(4)　平安時代前Ⅱ期の遺構

土坑13基、溝６条があるが、この時期から今回の調査区内では掘立柱建物はみられなくなる。

SK8046・8047　調査区西部で検出された土坑で、遺構の上部はほとんど削平され、近世以降の攪乱もうけているため詳細は分からないが、微細な土師器杯片などが出土しており、この段階のものと想定した。

SK8055　調査区中央部SB8062が廃絶した後に掘削された南北2.2m、幅0.7m、深さ約0.15mの細長い土坑である。土師器杯・皿・甕、須恵器蓋が少量出土している。

SK8065　調査区中央部にある。上面を一部SD8066に重複されているが、南北2.9m、東西2.1m、深さ0.7mとやや深い。遺物は少なく、土師器杯の小片が僅かに出土した。

SK8071下層　SB8062の南側に位置し、上層に平安時代中期の土器溜まりがあり、これをSK8071上層として区別した。底部の落ち込み状になったところから土師器杯・皿・台付皿・甕などが出土している。

SK6772・8086　調査区東部に第98次調査区に接して一部が検出されている。SK6772は、南北4.6mの長楕円形になる事が判明した。土師器、須恵器、灰釉陶器の小片が出土している。

SK6792・6794　調査区東部のSK6792・6794は、第98次調査で北端を確認している。重複関係ではSK6794の方が新しいと判断される。SK6792は、南北約5.0m、東西約4.0m以上、深さ約0.4mで、土師器杯・皿を中心に、土師器甕・長胴甕・竈片、須恵器台付杯（転用硯含む）・蓋・甕・壺、土錘・製塩土器などの遺物が整理箱で12箱分出土しており、多量の炭化材も含まれている。遺物は上下２層に分離して取り上げたが、遺物に形式差は認められなかった。SK6794は東西約2.0mで、土師器杯・皿、須恵器杯・台付杯・甕などが整理箱で９箱出土している。

SK8092　長径1.2m、深さ0.2mの小規模な土坑で土師器杯・甕片が出土している。

SK7929・7930・8093　調査区東部の南に位置する土坑である。SK7929・7930は第119次調査で大部分検出されている。SK8093は直径約5.5m、深さ0.5mの大型土坑で、土師器杯・皿・蓋・台付杯・高杯・台付鉢・甕・長胴甕・甑・竈片、黒色土器片、須恵器杯・台付杯・蓋・壺・甕、灰釉陶器椀・壺・皿、土錘などが出土しており、整理箱で８箱分になる。ただし、いずれも磨耗した破片が大半であり、他の土器溜まりの土坑とは様相が異なり、第119次調査で大半を検出しているSK7929・7930と同様の状況といえる。

SD6810　第98次調査でその北側の延長が確認されており、第119次調査ではSE7920以南で途絶している事が確認されている。第98次調査区では断面逆台形の区画溝的な性格が想定され、第119次調査の報文ではSE7920の排水溝的な性格も想定し得るとされている。今次調査では中央部で幅0.8m、断面が「U」字状の部分を延長2.3m分検出している。出土遺物は平安時代前Ⅱ期に相当すると考えられる土師器杯、須恵器台付杯・蓋・甕などの小片が少量出土しており、掘削時期がどこまで遡及できるかは明確ではないが、最終埋没はこの前Ⅱ期まで下るものと考えられる。

SD8053・8054　調査区西部で深さ５cm程度が痕跡的に確認された溝である。遺物は土師器杯片などが極少量出土したのみだが、後述するSD8064などの延長の位置にある事から、本来区

画溝的な性格をもっていた事が窺われるものである。

SD8063・8064　SD8053・8054を東に延長した位置にある同規模の溝である。ただしいずれも西端は調査区中央部南端でいったん途絶するようである。遺構の重複関係ではSD8064の方が古い。SD8063は延長約4.0m、幅1.2m、深さ0.5mで断面逆台形状になる。底部は土坑状の落ち込みがみられる。比較的多量の遺物が出土しており、土師器杯・皿・台付杯・台付皿や炭化材を中心に、他の土器溜まり土坑と同様の内容で整理箱８箱分が出土した。なお、この中には平安時代中期のものも多いが、遺構の掘削時期は前Ⅱ期まで遡るものと考えられる。SD8064はほぼ同規模で、深さ0.3 mになる。やはり土師器供膳具を中心に８箱の遺物が出土した。なお、これらの溝は東端で平安時代中期に埋没するSD1460やSK1459に接続し、鍛冶山西区画内を細分する区画施設をなしていたものと考えられる。

SD1456　平安時代初期のSD8077の東に延びる東西溝である。幅約1.0m、深さ0.25mで検出延長は3.5mである。遺物は先述の通り微細な土師器片等があるにすぎない。

⑸　平安時代中期の遺構

土坑10基、溝５条がある。

SK8049　調査区西部北端で検出された土坑で、深さ５㎝程度の痕跡のみの検出である。土師器杯小片が出土している。

SK8056～8059　調査区中央部の逆「Ｌ」字状になる区画溝の内側で集中して検出された土坑群で、いずれも深さ約0.2mの小規模なものだが、SK8058で４箱、SK8059で６箱の遺物が出土している。土師器杯・皿類の供膳具が中心で、炭化材が混入する。

SK8071上層～8073　当該期の区画溝からみて上記の土坑群の対照的な位置にあり、規模・時期的に近似する。SK8071上層は平安時代前Ⅱ期の遺物が廃棄された上面に、あるいは再掘削されてできた廃棄土坑とみられる。SK8071上層 で５箱、SK8072で２箱、SK8073で10箱の遺物が出土しており、土師器供膳具がその大半を占めている。

SK8083　調査区東部の小土坑で、長さ2.0m、幅1.0m、深さ0.2mで、土師器杯・台付鉢・甕・竈片・製塩土器、須恵器蓋・甕と炭化材、また底部で焼土塊を確認している。

SK8094　調査区東部のSK8093に接する土坑で、長さ3.0m、幅1.8m、深さ0.3mの楕円形のもので、土師器杯・皿・台付杯・把手付甕・竈片、須恵器杯・甕、灰釉陶器椀・壺・緑釉陶器、炭化材などや、土器類に錆着して角釘も少量出土している。

SD1459・1460・6750　この段階の溝は前段階のSD8053・8054・8063・8064とともに、鍛冶山西区画を細分する区画施設をなしていたものと考えられる。標記３条の溝は連続する南北方向の溝で、幅は1.1m前後だが、深さはSD1459が0.5m、SD1460は0.3m、SD6750が0.4mと一定しない。なお、SD6750は第98次調査区内まで延長し、この南北溝の連続は総延長約27mまで確認できる。遺物は極めて多く、平安時代中期の土師器杯・皿・台付杯・台付皿などの供膳具を中心に、黒色土器、須恵器、灰釉陶器、緑釉陶器と炭化材が整理箱に40箱以上出土した。遺構の重複関係では、SD1460が新しい。SD8063・8064とは直角に交わり、掘削時期は平安時代前Ⅱ期まで遡及して考え得る。

SD8066　SD1460などの東側に約2.5mの間隔をあけて並走する溝で、北端と南端は攪乱土坑などのために明瞭ではないが、検出長で4.9m、幅1.5m、深さは0.7mで、土師器杯・皿・台付杯・台付皿などの供膳具や須恵器、灰釉陶器、緑釉陶器や炭化材が13箱程出土し

ている。

SD8069　SD8063・8064の南側に約2.4mの間隔を開けて並走する溝で、同様に西端は未調査区の手前で途絶する。延長6.2m、幅1.6m、深さ0.5mで規模も近似する。土師器杯・皿類と須恵器、炭化材が整理箱で３箱出土している。

牛葉東区画の区画溝　以上のような平安時代前Ⅱ期から中期にかけて掘られたとみられる平行する溝は、時期が平安時代後Ⅰ期と若干下るものの、西接する牛葉東区画でもほぼ同様のものがみられる。版築等の痕跡を溝間の空閑地や溝埋土内に見いだせないものの、土塁状のものなどで区画内を細分していた可能性が考えられ、牛葉東区画に先行して鍛冶山西区画にこうした区画構造があり、平安時代中期～後Ⅰ期に区画溝が廃絶、埋没するとともに、牛葉東区画で同様の構造が成立する事は注目すべき事象といえよう。

⑹　近世の遺構

明治２年に焼失したという蓮光寺の関係とみられる遺構があり、墓壙５基、溝３条や階段状遺構などがある。

SX8079　調査区中央部南の大きく落ち込んだ中で、逆「L」字状の両側に側溝とみられる細い溝を伴った通路状の部分があり、その東端に人頭大程度の円礫を使って階段状に作られた部分がある。その北側の約0.6m程高くなった所には、直径15cm程度の小礫が並べられており、寺院への通路遺構であった可能性が考えられる。

SD8067・8068　通路状になるSX8079の前を横切り南北に延びる幅約1.0m、深さ約0.6mの断面逆台形のSD8068と、それに直交して西へ延びる同様の規模のSD8067がある。SD8068は第29次調査の際に周辺の攪乱土坑と一括で調査されているため出土遺物の様相は判別しにくいが、SD8067からは多量の一石五輪塔や石臼、石造地蔵尊の残欠が陶磁器類や瓦とともに出土している。

SD7961　第119次調査で検出された大規模な区画溝の西端の部分が確認されている。調査区南壁の観察ではこの部分で南側へ折れるようで、推定される区画の東西長は溝の内側で約14mになる。SD8067・8068共々近世寺院の施設を区画するものとみられる。

近世墓群　SD8067と8068の交点の南西側に集中する近世墓群である。1.0m×0.7mの長方形のプランをとるもの(SX1458・8070)、小さなピットに蔵骨器を伴って埋葬されるもの(SX8074)、一辺0.7mの略方形のプランのもの（SX8075・8076）の３形式に大きく分けられるようである。

SX1458・8070ではわずかに痕跡的に残った人骨がみられ、SX8070では埋土から長さ１寸ほどの多数の釘が出土している。SX8074は直径0.6mのピットに陶器無頸壺を蔵骨器として納め、その上に15×９cmの平瓦を蓋として載せている。内部にはほとんど風化した人骨と釘類がみられた。SX8075では残存状況が比較的良好な座屈した状態の人骨が出土し、左手首付近に念珠とみられる直径約３cmの穿孔された白玉が多数出土している。

これらの実年代観については、SX8074の蔵骨器が生産地とみられる瀬戸窯の編年観から19世紀中頃のものとみられ、他の近世墓も重複が全く無く、出土する釘もほぼ同一の物である事からいずれもおおむね同時期のものと推定される。

蓮光寺の寺域の区画に関連するとみられるSD7961の囲みの北西側にこれらの墓壙群は位置することになり、寺院と墓地の位置関係を考える上で好資料となろう。

3　遺　物

今回の調査では数多くの土器溜まり遺構が発見され、昨年度の第119次調査とは対照的に土師器類を中心として極めて大量の遺物が出土しており、また近世以降の瓦類や五輪塔などの石造物も大量に出土した。出土量は整理箱で総計約340箱に及ぶ。

土器溜まりの遺物は、斎宮跡の土師器編年で平安時代前Ⅰ期から中期頃のもので、大半は土師器供膳具である。以下時期を追って主要な一括資料について概述する。

(1)　平安時代前Ⅰ期の遺物

奈良時代後期から平安時代初期にかけては良好な資料がなく、一括性の高いものは平安時代前Ⅰ期の土器溜まりの資料から現れる。この時期の土器溜まりは調査区東半に集中する。

SK8057

小規模な土坑だが整理箱で４箱の遺物が出土している。土師器杯類は体部から口縁部がやや内弯するもの（杯Ｂ）が主体で、底部と体部の屈曲点から口縁部にかけてヨコナデして外反するもの（杯Ａ）は少量みられるのみである。土師器杯Ｂ（1～5）は口径12.5～13.5cmである。(5) は底部に直径約7mmの焼成後の穿孔が施されている。

土師器皿は口縁部が外反する皿Ａ（６・７）と、底部から口縁部にかけて緩やかに内弯する皿Ｂ（８・９）がある。皿Ａは口径およそ16.5～18.0cm、皿Ｂは15.5～16.5cm程度で、皿Ａに対しやや厚手となる。

須恵器では台付杯や甕の小片等があるが、台付杯には外側に向かって口縁部が開く (10) と、底部と体部が強い稜をもって上方に立ち上がる (11) がある。

SK8088

SK8087に重複する直径３ｍ程度の不整円形の土坑で、複数の土坑が重複する可能性もあるが、埋土断面観察等では明確な時期差は判別できていない。整理箱で33箱と多量の土器が出土している。

土師器

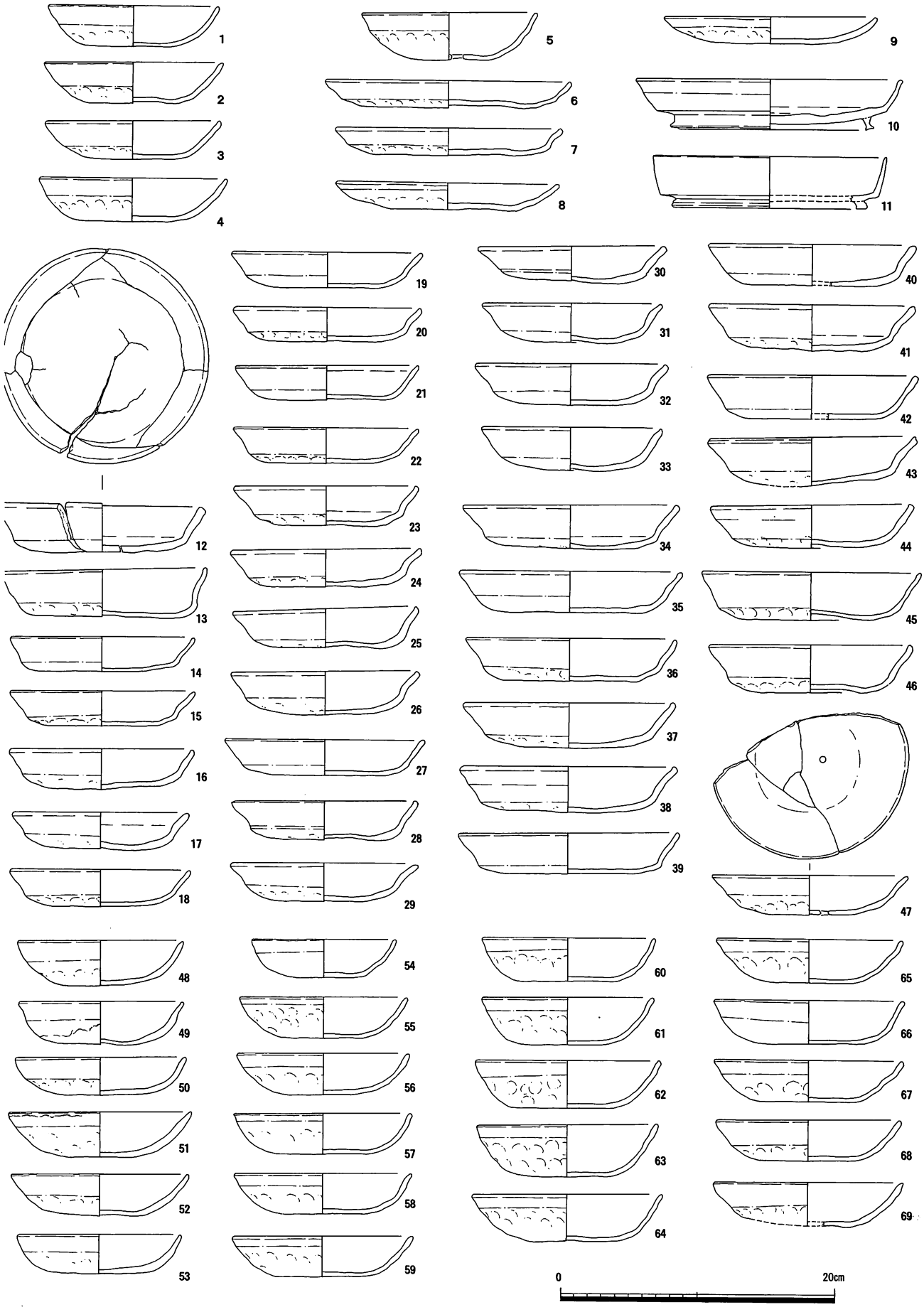
土師器供膳具では杯Ａ (12～47)・杯Ｂ (54～94) と「いなか風椀」と呼称される粗製の椀 (48～53)、皿Ａ (96～118)・皿Ｂ (119～166)、口縁部は内弯する形態ながら底部が丸みを持ち、深めで杯Ｂと皿Ｂの中間的な要素を持つ皿Ｃとでもいうべき形態のもの (167～171) がある。また、杯Ｂも底部が比較的平らに作られる傾向のもの (54～80) と、やや丸みを持つ傾向もの (81～94) がある。

杯Ａ

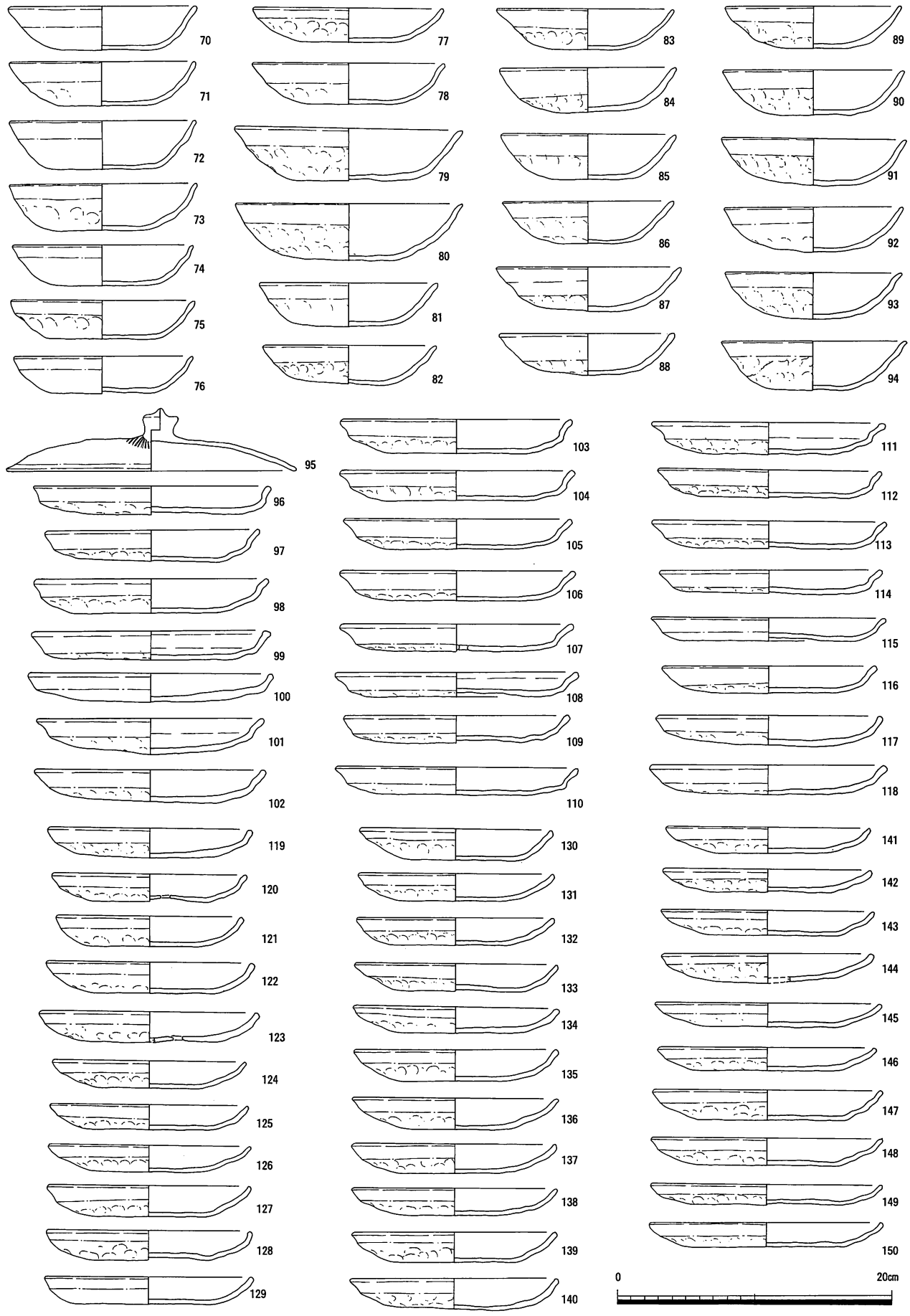
杯Ａには肉厚で、底部から体部への屈曲が強い (12・13) のようなものや器壁も薄く、体部から口縁部が緩やかに外反していく新相のものまで型式間の幅が看取されるが、主体となるのは依然器壁の厚みを保ちつつ体部から口縁部の反りがややルーズな外開きになる平安時代前Ⅰ期の特徴を有するものである。口径は13cm程度から約16cmまでの幅があり、法量的には口径13～14.5cm程度のものと、14.5～16cm程度のものの大小の二形式が想定されるが、径口指数（器高÷口径）は0.20を中心に分布している。なお、(12) は大きな亀裂がみられ、被熱による可能性も考えられる。また、(47) には底部に直径3.5mm程度の焼成後穿孔がみられる。

杯Ｂ

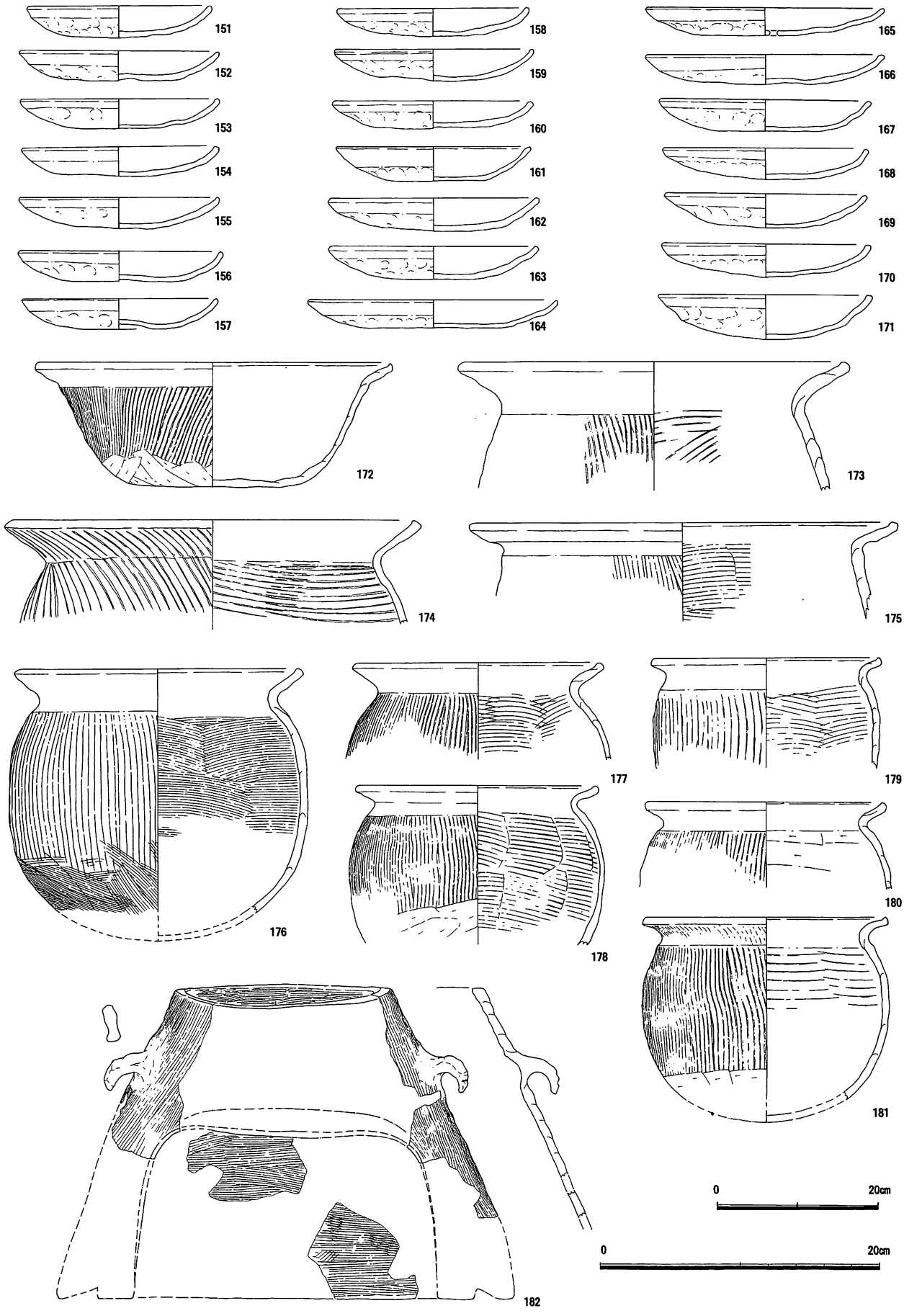
杯Ｂは大部分が直径約12～14cmの中に収まり、杯Ａよりやや小振りとなる。径口指数でみてもおよそ0.23を中心に分布し、先に見た底部の形状で差は表れない。ただし口径が (79・80) のように16.7cmになる大型のものや、(54) のような10.4cm程度の小型のものも少量みられる。また、(48～53) の粗製椀は底部から体部の変換点付近をはじめ全体に厚く、胎土には砂質が多く、色調もにぶい橙色系で粘土板接合痕が明瞭に



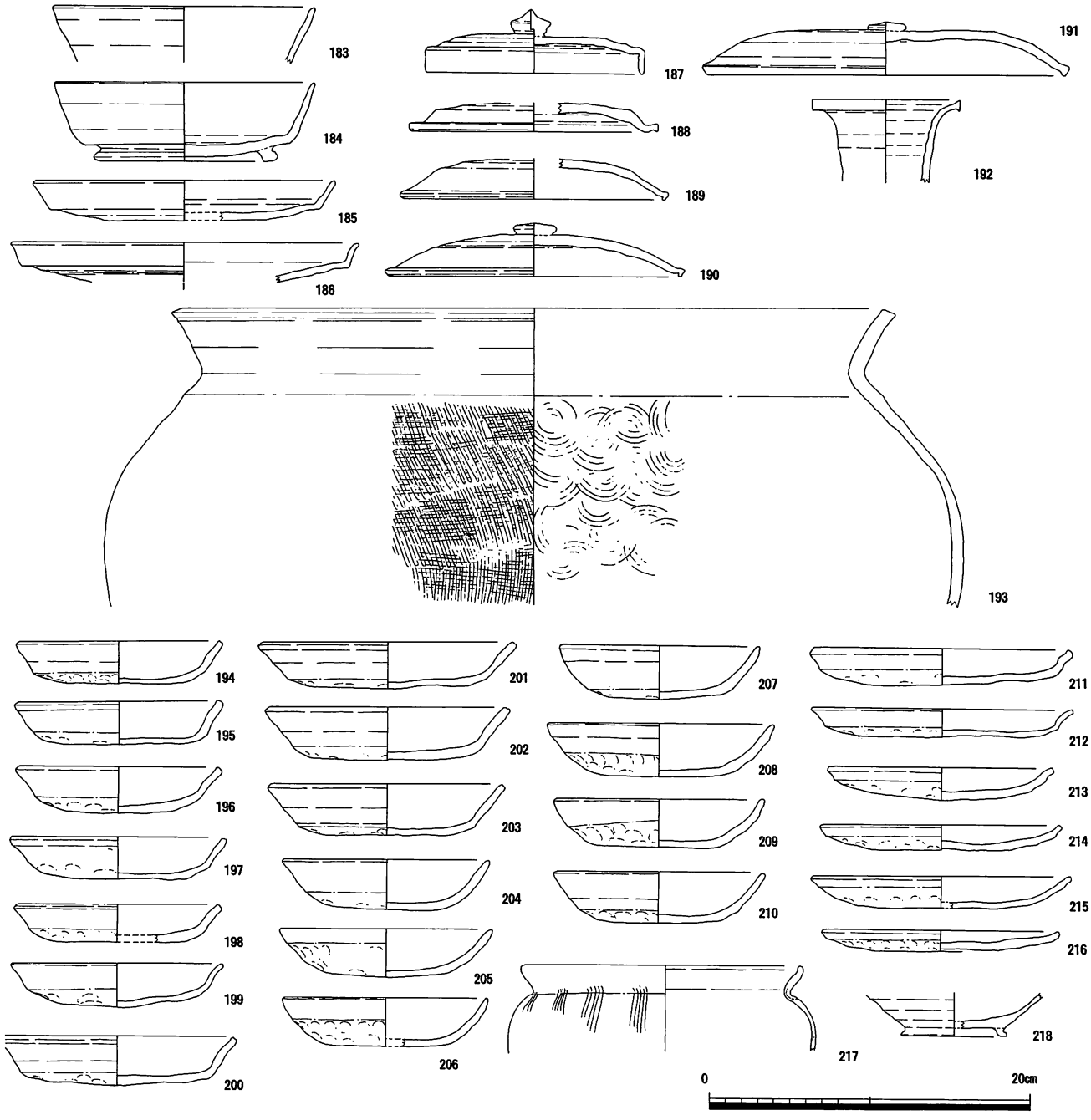
第５図　第124次調査　遺物実測図　ＳＫ8057：1～11　ＳＫ8088：12～69



第６図　第124次調査　遺物実測図　ＳＫ8088：70～150



第７図　第124次調査　遺物実測図　ＳＫ8088：151～182（182のみ 1：6）



第８図　第124次調査　遺物実測図　ＳＫ8088：183～193　ＳＫ8084：194～218

残るものもあるなど、杯Ｂとは明らかな差異が看取されるものの、口径・器高等の規格では杯Ｂと大差ない。斎宮跡周辺の土師器生産遺跡では、奈良時代後期までしか粗製椀の生産の実態が把握されていないが、SK8088の資料は完形に近いものが多く、杯Ｂに対し約２割の出土量がある事から、奈良期の混入の可能性は低いと考えられる。

皿　類　　皿Ａは口径15～18cmの幅があり、(96～100) のように形式的に前段階のものとみられるものも若干含まれるが、径口指数でおよそ0.20を中心に分布し、全体に法量的には区分は認められない。それに対し、皿Ｂは口径約14～16cmのものと16～18cmのものの大小二形式がある。全体に皿Ｂの方がやや小振りとなる。大型のものは径口指数およそ0.11、小型のものはおよそ0.14を中心に分布する。皿Ｃにも皿Ｂとほぼ同様の大小二形式があるが、径口指数が大型のもので0.12、小型のもので0.17前後とやや器高が高い傾向がある。なお、(120・165) には直径４㎜程度の焼成後穿孔がある。

供膳具の他に土師器では平底鉢 (172)、甕 (173～181)、竈 (182) がある。

平底鉢　　(172) は底部から体部が緩やかに開くように延び、やや内弯気味で端部をつまみ上げた口縁部をもつ。外面は体部に粗いタテハケ調整を施し、底部はケズリで整形される。内面は不明瞭だがナデ調整とみられる。

甕　類　　長胴甕とみられる(173～175)と、小型甕の(176～181)がある。長胴甕はいずれも口縁部ヨコナデ調整で端部が肥厚し、外面粗いタテハケ、内面横方向を中心としたハケ調整が施される。(175)は口径の約１／５しか残存していないが、肩のはらない体部から口縁部が直角に近い角度で屈曲し、頸部は強いヨコナデ調整のため凹線状になる。

中・小型甕は口径21cmの (176) と、およそ17cmを中心とした (177～181) に分けられる。基本的には口縁部ヨコナデ調整、体部外面タテハケ、内面ヨコハケで調整されるが、底部外面は不定方向のハケ調整のもの (176) とケズリ調整のもの (178・181) があり、内面調整も板ナデを施すもの (180) もある。

竈　　土坑内各所で破砕された状態で出土している。内外面粗いハケ調整を施し左右一対の把手が付く。破片の一部から焚口の部分に小規模な庇があった事が窺われる。

須恵器　　杯 (183・184)、盤 (185・186)、蓋 (187～191)、長頸壺 (192)、甕 (193) がある。形式的にいずれも東海系のもので、折戸10号窯式から黒笹14号窯式期に属するものとみられる。

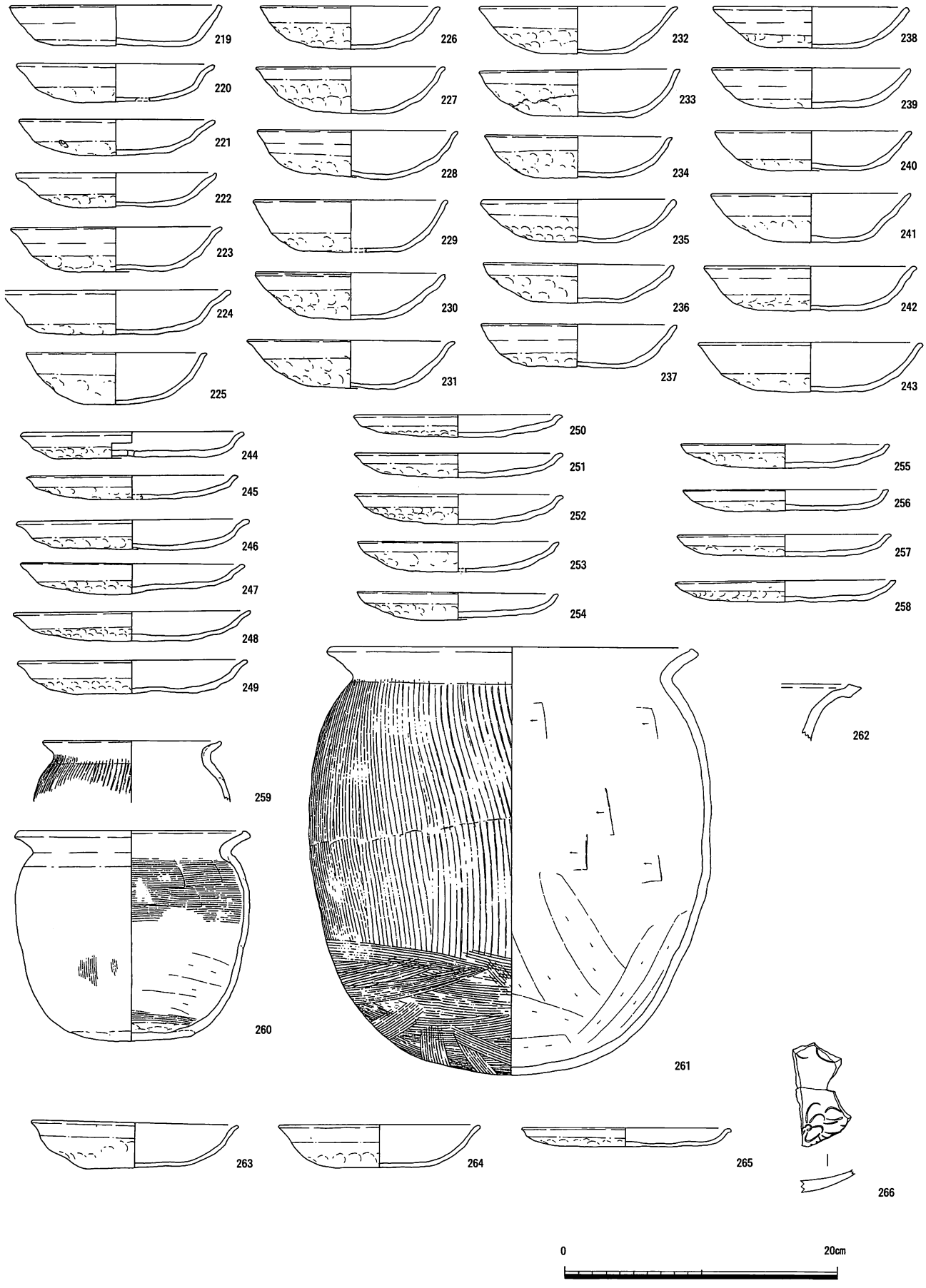
SK8084　　一部平安時代前Ⅱ期の遺物を含むものの、主体は前Ⅰ期のもので占められ、整理箱で７箱分が出土した。杯類は比較的小型の口径12.5～13.5cm程度のもの (194～198、203～207・209・210) と14～16cmの大型のもの (199～202・208) に明瞭に分かれる。

土師器杯　　杯Ａ (194～203) は径口指数が0.20、杯Ｂ (204～210) はおよそ0.24を中心に分布する。杯Ａは底部から体部にかけての屈曲が強く、器壁がやや厚手で、前Ⅰ期でも古相のものが多い。

皿　　皿類は皿Ａ (211・212) と皿Ｂ (214～216) があるが、(213) のように両者の中間的な形態のものもある。

甕　　(217) は口径約18.0cmの中型の甕で、立ち上がり気味の口縁部の端部を内側に丸くおさめ、体部外面には間隔をあけて粗いタテハケが、内面はナデ調整が施される。供膳具のものに比して新相を示し、混入の可能性もある。

須恵器椀　　(218) は平らな底部から体部が直線的に開くもので、外方へ踏ん張る形状の脚部を



第９図　第124次調査　遺物実測図　ＳＫ6792：219～262　ＳＫ6794：263～266

持つ。底部外面には糸切り痕が残る。

⑵　平安時代前Ⅱ期の遺物

この段階の資料は一定量出土しているが、第44次・第109次調査などの鍛冶山西区画の北西部に比較すると、調査区全体の量的割合は多くない。

SK6792

平成５年度の第98次調査で一部検出されている。土師器杯には杯Ａと杯Ｂがある。整理箱で12箱分の遺物が出土した。

土師器杯

杯Ａ（219～224）は口径14～16.5cmまでの幅があるが、大小の区別は看取されず、径口指数で0.20を中心にまとまる。杯Ｂ（225～243）は杯Ａより口径がやや小さく、13～15cmの範囲にほぼ収まる。また全体に器高も杯Ｂの方が高いが、前段階のSK8088などと比べるとその差は小さくなっている。（221）には直径約４cmの焼成前穿孔がある。

皿

皿Ａ（244～249）と皿Ｂ（250～258）があるが、法量上の差は見いだし難い。径口指数でもほぼ0.12で揃う。（244）の底部には直径約５mmの焼成前穿孔がみられる。

甕

小型甕（259・260）と、中型の甕（261）がある。（261）は長胴甕の系譜をひくものと考えられ体部外面を二段の粗いタテハケ調整を、底部は不定方向のハケメを施す。内面は上半を横方向の板ナデ、下半を上方向のケズリ調整で整形する。

須恵器壺

（262）は広口壺類の口縁部とみられるが、端部を断面蛇頭形に肥厚させる。

SK6792は、第98次調査区内での遺物出土量は少なく、今次調査区内でも特に埋土下部で多量の炭化材とともに遺物が集中してみられた。ただし土坑埋土上層と下部で明確な時期差は認められない。施釉陶器は出土していないが、土師器杯・皿類の形態から平安時代前Ⅱ期でも古段階（SK3714併行）に位置づけられる。

SK6794

SK6792同様、第98次調査区の延長を確認した。土師器杯・皿の他、内面にシャープな陰刻花文を見込み底部とその脇に施した緑釉陶器椀（266）が出土している。釉は光沢のある淡緑色で、黒笹14号窯式期併行のものの混入であろう。

緑釉陶器

SK8089

（273）は口縁部を欠損するが、内面のロクロナデ痕が比較的平滑に仕上げられているため蓋とした。天井部外面はロクロケズリが施される。

須恵器蓋

SD8063

平安時代前Ⅰ期の掘立柱建物が廃絶した後に掘削された溝の下部に投棄された資料である。溝埋土上層には平安時代中期の資料も混在するが、主体となるのは平安時代前Ⅱ期のものである。整理箱で８箱分の遺物が出土した。

供膳具の土師器では、杯Ａ（274～288）と杯Ｂ（289）があるが、形態上の区別はかなりくずれている。杯Ａは口径13～15.8cmで、器高はおよそ2.5～3cm、径口指数は平均で0.18程度で、器形の大小は見られない。SK6792などと比べて低平化の傾向は窺える。色調もやや淡橙色がかった明るいものが多い。

土師器杯

高杯の脚部（291）が出土している。脚部の直径は約4.5cmで外面には乱雑ながら面の面取りが縦方向に施される。

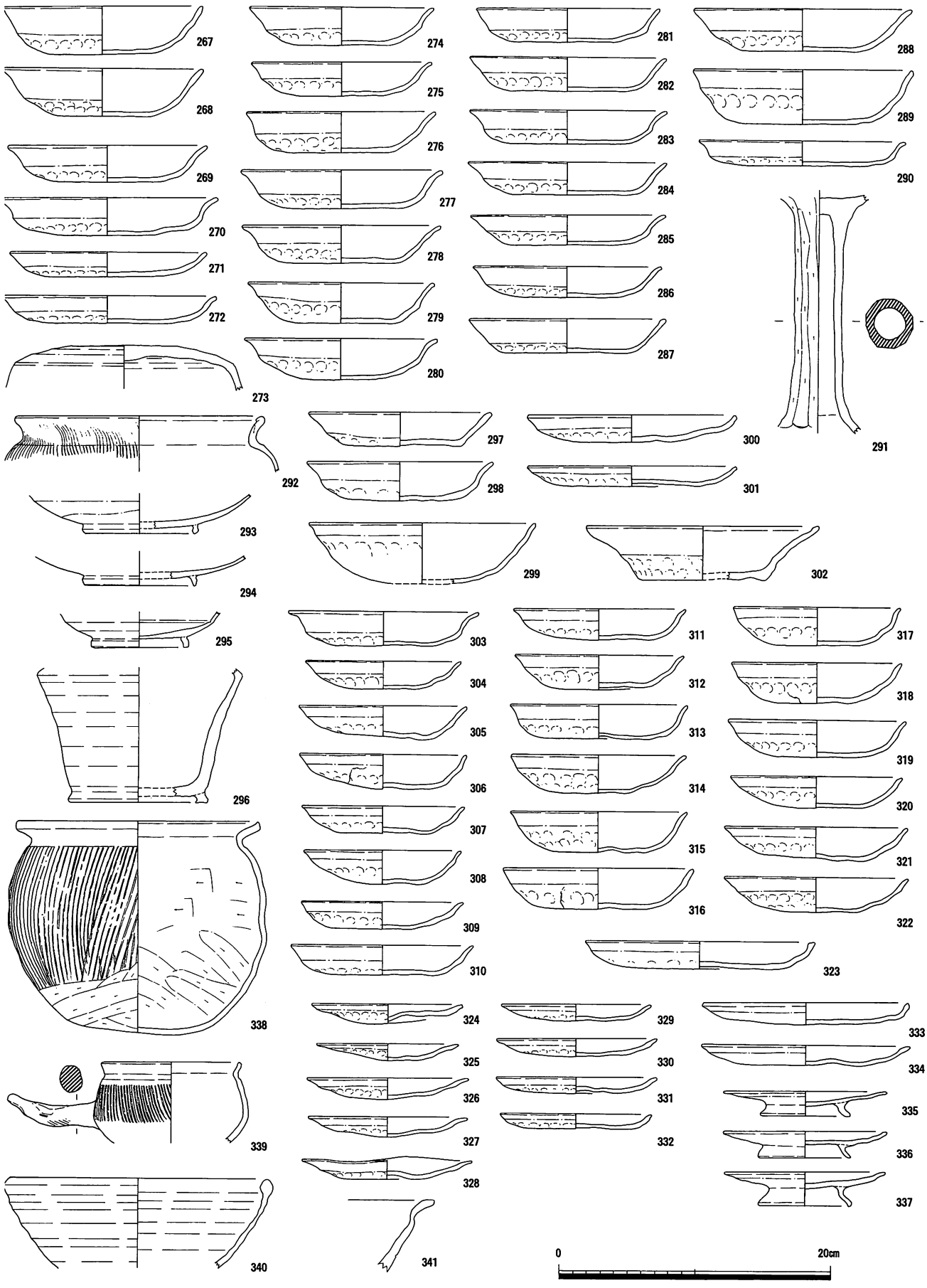
高杯

（292）は口径約18.0cmで、口縁端部は内側に丸くおさめ、外面に粗いタテハケ調整を間隔をあけて施す。

甕

灰釉・緑釉陶器

灰釉陶器皿（293・294）、緑釉陶器稜椀（295）がある。高台は（293）が端部を丸く収め、（294・295）が断面三日月形で施釉は漬け掛けで、黒笹90号窯式の新しい段階のものとみられる。



第10図　第124次調査　遺物実測図　ＳＫ8065：267～268　ＳＫ7930：269～272　ＳＫ8089：273
ＳＫ8063：274～296　ＳＫ8071：297～337

須恵器壺　(296) は長頸壺の体部である。灰褐色を呈し、焼成はやや軟調である。

SK8071下層　埋土が上下の２層に区分された土坑で、下層の平安時代前Ⅱ期に属するもの (297～302) をSK8071下層とした。土坑の掘形の相違は判然としなかった。土師器杯Ａ (297・298)、杯Ｂ (299)、皿Ｂ (300・301)、粗製の鉢 (302) が出土している。(302) は口縁部を幅広くヨコナデ調整し、底部外面は無調整である。

SK8093　調査区東部の大型の土坑からの出土遺物である (342～356)。他の土器溜まり土坑では完形品やそれに近い大型破片が重なって出土しているのに対し、この土坑は細かく破砕され、破断面も磨耗したものが多く、遺構の規模の割に出土量は８箱分と少ない。土器が廃棄される土坑の性格差が想定される。

灰釉陶器　遺構の項でも述べたが遺物の器種は多様である。灰釉陶器 (349～354) は施釉はすべて漬け掛けで、高台部の断面の形状が三日月形から台形に近い形まで幅があり、東海の生産地の編年で黒笹90号窯式から折戸53号窯式期までの幅が看取される。本土坑への土器投棄が平安時代前Ⅱ期の新しい段階から中期の初めにかけて行われたものと考えられる。

特殊な遺物とされるものでは、黒色土器の風字硯 (355) があるが、脚部は欠損し、磨耗のため表面の調整は不明である。(356) は須恵器の甕片で、内面に同心円の中心に十字を刻んだ車輪文状のタタキ目が施されている。

(3) 平安時代中期の遺物

遺構の項でもふれてきたが、今回の調査では、平安時代中期～後Ⅰ期の初頭にかけての土器溜まりの一括資料が極めて多く、斎宮内院部でのこの段階の変遷を考える上で貴重な資料群といえるものが多い。これまでの調査で、平安時代中期を境に建物がほとんどみられなくなっていく鍛冶山西区画での平安時代中期後半前後の資料は斎宮全体の大きなターニング・ポイントの指標ともいえるものである。

SK8058　調査区中央部の小規模な土坑で、整理箱で６箱分の遺物が出土している。

土師器杯　この段階になると杯Ａと杯Ｂの区分は困難になる。(357～384)は口縁部を強くヨコナデ調整して外反させる点から杯Ａの延長上に位置づけられようが、底部から体部にかけての境は不明瞭で、内弯気味に丸味を帯びる。(385・386) は杯Ｂの延長として区分した。杯Ａは口径が12.5～14.6cm (平均約13.6cm) で、器高は2.5cm前後に集中し、器形の小型化が進む。また大小の形式差はない。径口指数は0.18前後である。

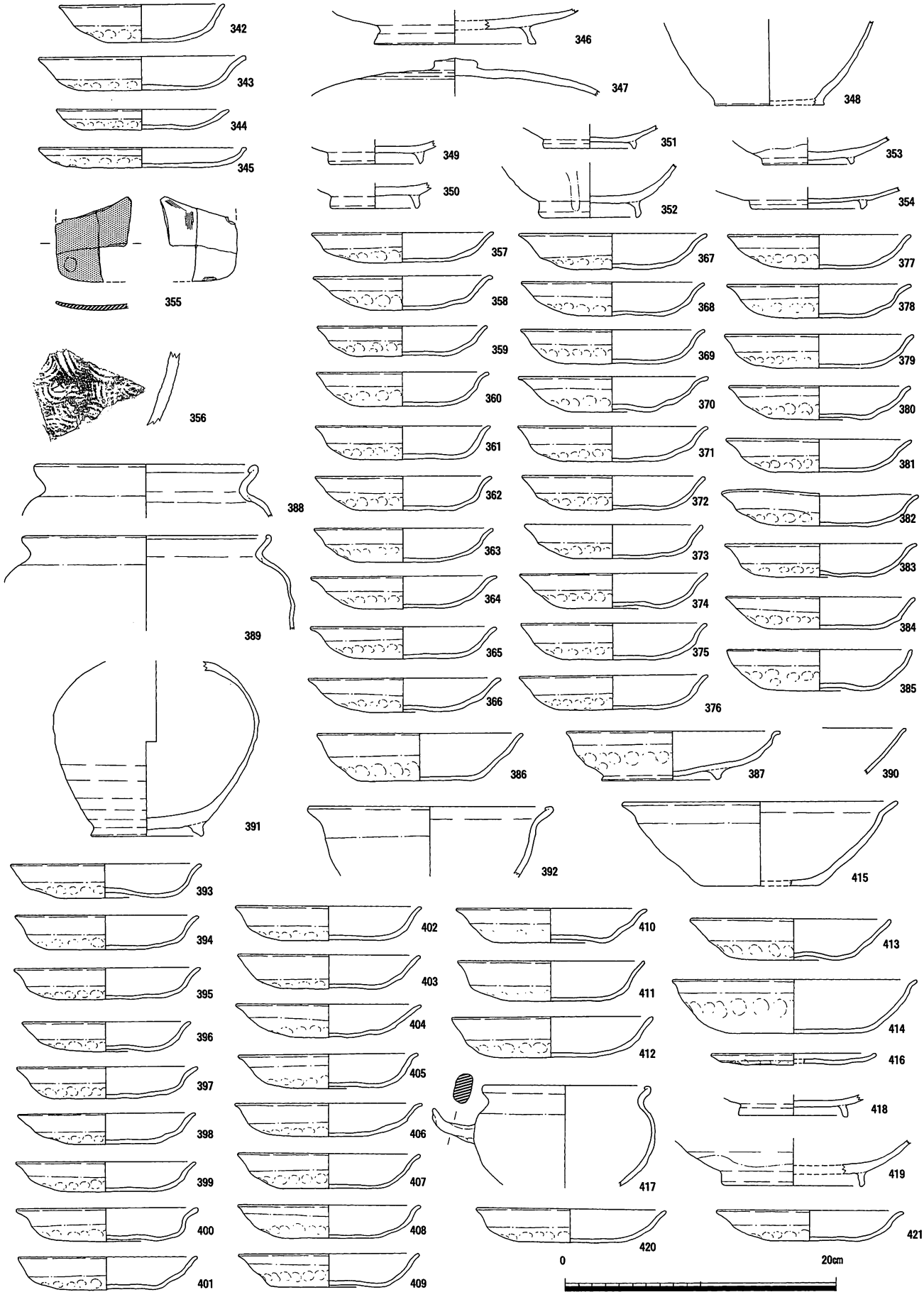
杯Ｂはいずれも径口指数0.23前後で杯Ａより深く、杯Ａ系譜のものに対して大型になる傾向がこの段階から定着していく。この両者について口径で標準偏差を算出すると約0.5) でバラツキも少ない。(387) は台付杯だが、杯Ｂに断面逆台形の高台を付したものである。

皿　土師器皿はほとんど破片も無く、実測できるものもなかった。

甕　(388・389) はいずれも口縁端部を丸く内側におさめるもので、口径は各々16.0cm、18.0cmである。(388) の体部外面には粗いタテハケ調整が残る。

灰釉陶器　椀 (390)、壺 (391) がある。(391) は全体に粗いロクロナデ痕が残り、体部外面下半は粗いロクロヘラケズリを施す。底部はロクロヘラ切り痕が残る。全面に釉薬が掛かり、部分的にたっぷりとした釉ダレがみられる。

黒色土器　大鉢 (526) の破片が出土しており、SD6750の破片に接合する。



第11図　第124次調査　遺物実測図　ＳＫ8093：342～356　ＳＥ8058：357～391　ＳＫ8094：392　ＳＫ8059：393～421

SK8059　SK8058に隣接する土器溜まり土坑で、重複関係からSK8058より新しい。整理箱で４箱分の遺物が出土している。

土師器杯　杯Ａ（393～413）と杯Ｂ（414）に分類したが、既に両者の形態差はほとんど無いものと考えられる。杯Ａは大型品（393・395・412・413）も含むが、大部分はSK8058と同一規格のものである。杯Ｂの形態のものは大型で、口径17.8cm、器高4.0cmである。

皿　杯に比べ少量である。（416）は口縁部をわずかにヨコナデするが、体部と底部の区分はなくなっている。

把手付甕　（417）は口径約12cmの小型の鍋の体部に、牛角状の把手を一本、内面からソケット状に接合したものである。外面の調整は磨耗のため明らかではない。斎宮においてもこれまで出土例の知られない器種である。

平底鉢　（415）は口縁部を緩やかに外曲させる。口径約20.0cmに対し底部径約8.6cmと口径の広がりが大きい。内外面ナデ調整される。

灰釉陶器　椀の高台の断面形が逆台形（418）ないしやや崩れた三角形（419）で、東海地方の編年観で折戸53号窯式（大原２号窯式）期のものとみられる。

SK8094
土師器鉢　（392）は口径約18.0cmの小型の鉢である。口縁端部を内側に丸く肥厚させ、内外面はナデ調製される。

SD8069　区画溝の廃絶時に投棄された資料である（422～424）。整理箱で３箱出土している。大部分は土師器杯類である。漆の皮膜が付着した土師器片がある。

SK8072　区画溝の角の部分に掘削された土坑である。大半が土師器杯・台付皿類で、整理箱で３箱分の遺物がある。杯Ａ系譜のものと杯Ｂ系譜のものの区別は判然としない。ほとんど円盤状に退化した皿（432）を伴う。

SK8071上層　平安時代前Ⅱ期の土器溜まり上に重複する中期の土器溜まりである（303～340）。

土師器杯　（303）は杯Ａで前代のものの混入と考えられるが、以下のものは杯Ａと杯Ｂの区別は明瞭ではない。杯類は口径11.5～14.0cm（平均12.7cm）、径口指数は0.19前後である。

皿　（323）は混入の可能性があるが、口径10.5～12.0cmの小型のもの（324～332）と、15cm前後の大型のもの（333・334）がある。

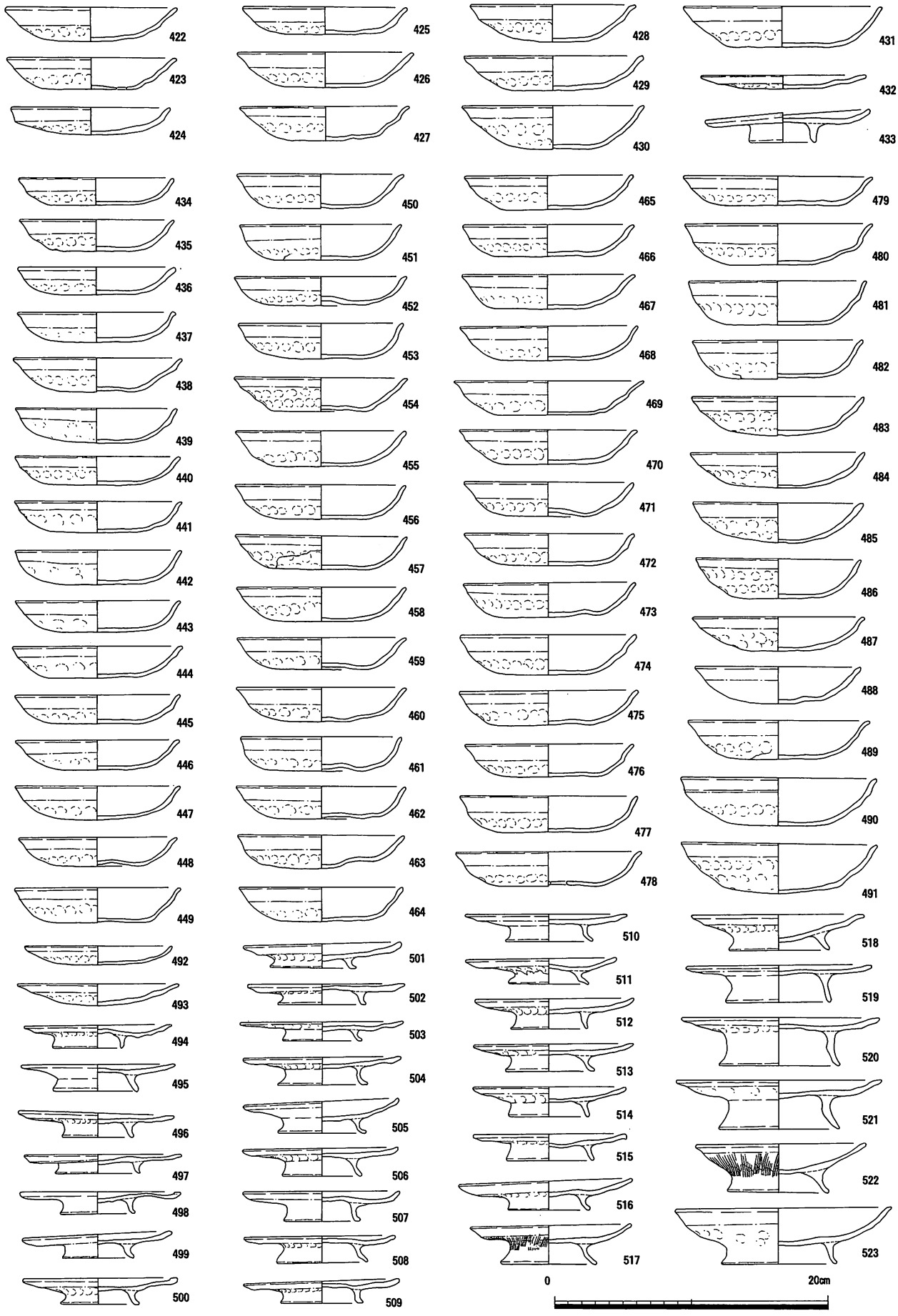
甕　口径約18cmの中型の甕（338）がある。口縁端部を軽くつまみあげ、体部外面は上半が粗いタテハケ調整、底部はヘラケズリ、内面は上半を板ナデ調整、下半をヘラケズリする。形式的に前代のものの混入の可能性がある。

把手付甕　（339）は口径10.0cmで、短い「く」の字状の口縁をもつ小型の甕に長さ約７cmの牛角状の把手が一本付くものである。

須恵器鉢　（340）は玉縁状口縁をもつ須恵器鉢で、京都篠窯系のものである。内弯気味の体部にはやや粗雑なロクロナデ痕が残り、口縁部も玉縁状に肥厚する程度の「潰れ玉縁」と呼ばれるものである。平安京の土器編年でⅢ期古段階から現れる形式である。生産地では西長尾５号窯跡出土資料と同形式とみられる。

SD6750　第98次調査でも確認された土坑状に落ち込む溝で、埋没時に投棄された状態で大量の土器が出土した。出土量は整理箱で17箱に及び、大半が供膳具の土師器である。

土師器杯　今回の出土資料で見てみると、土師器杯類の形態上の区分はほとんどみられないが、（483～491）のように底部を丸く作るタイプが目立つようになる。径口指数は、全体で約0.20になる。口径は11.2～13.8cm（平均で約12.3cm）で、標準偏差は0.57である。



第12図　第124次調査　遺物実測図　ＳＫ8069：422～424　ＳＫ8072：425～433　ＳＫ6750：434～523

なお、(478) の底部には直径約８㎜の焼成前穿孔がみられる。

台付皿　器高が低くかなり円盤状になった皿 (492・493) もあるが、大部分は台付皿になる。口径10.8～12.0cmほどの小型品 (494～515) と、12.0～15.0cmの大型品 (516～521) がある。皿部と高台部の接合は粗雑である。

台付杯　(522・523) がある。(522) は外面に高台接合のための粗いハケ調製が残る。(523) は口径15.7cmあり、杯としても大型である。

甕　(524) は口径約15.2cmで体部内外面ナデ調整、(525) は口径約19.0cmで、体部外面タテハケ調整、内面ヨコハケ調整される。いずれも口縁端部を丸く肥厚させる。

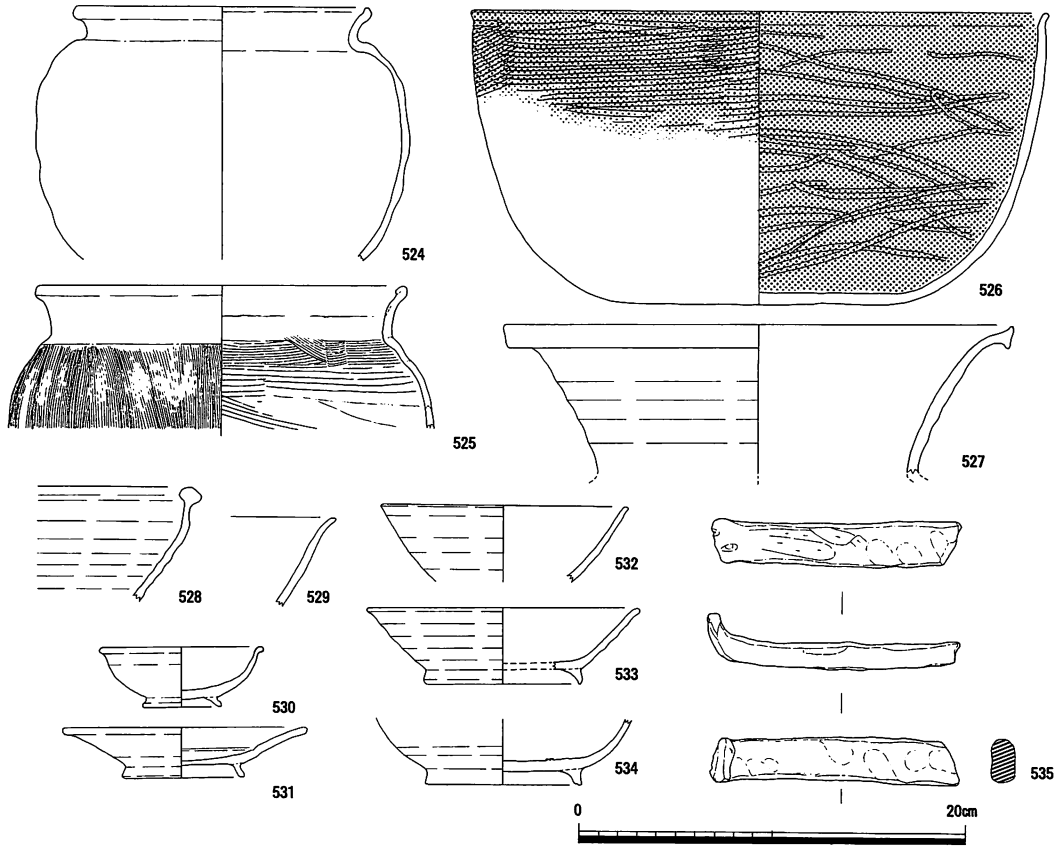
黒色土器鉢　(526) は口径29.8cm、器高15.4cmの大型の鉢で、口縁端部をかるく外反させる。底部はやや平底気味で、口縁外面と内面全体に粗いヘラミガキを施し、この範囲が黒化処理されている。斎宮跡では類例のみられない器種である。

須恵器鉢　(528) は玉縁状口縁を持つ鉢で、京都篠窯系のものである。SK8071上層の (340) に比べて口縁端部の折り返しが強く、形式的には黒岩１号窯跡出土資料に相当するものとみられる。平安京ではⅡ期新段階からⅢ期中段階頃までみられる資料である。

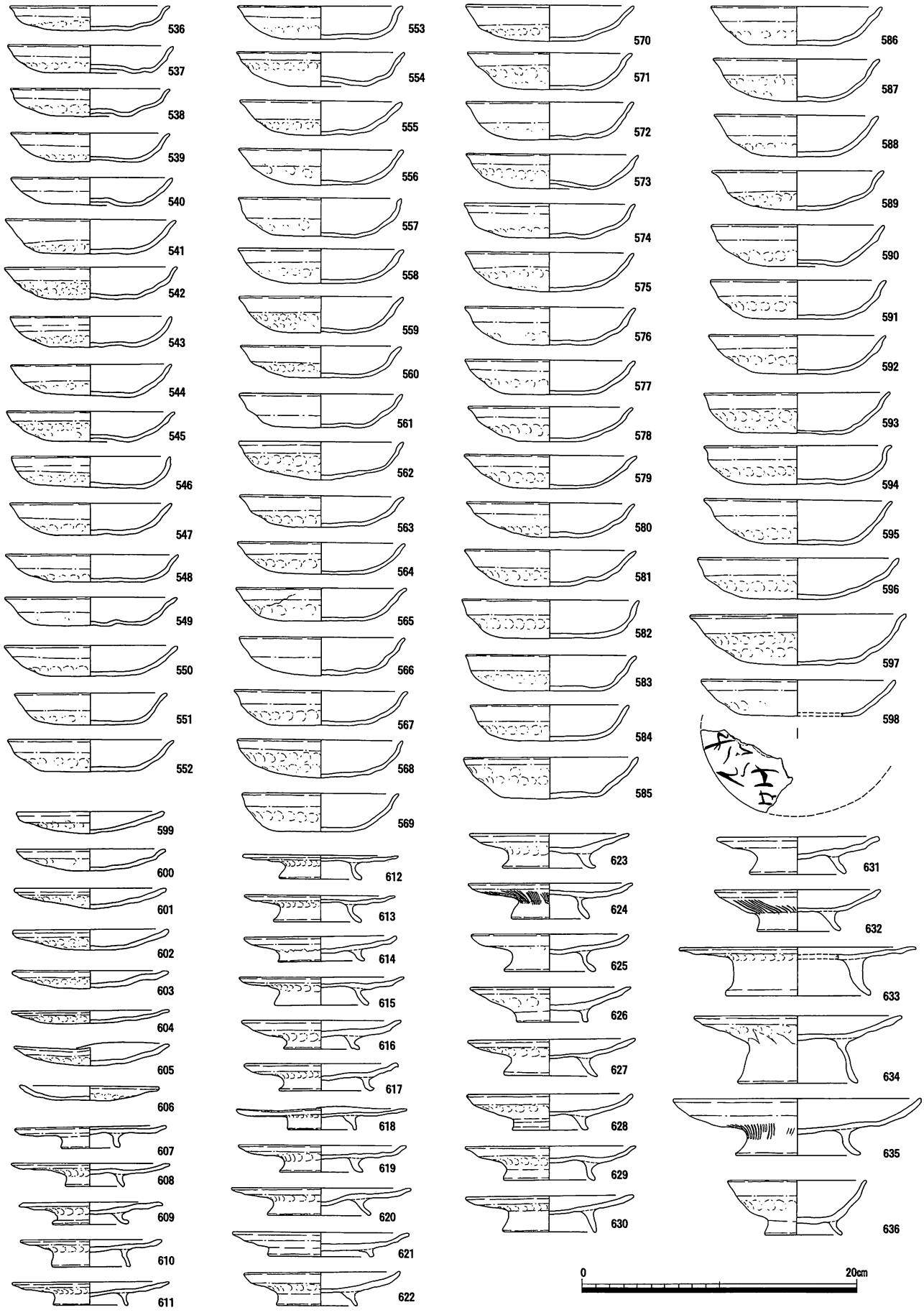
灰釉陶器　椀がある。高台はやや内弯気味になる三角形 (533) で、東海地方の編年観で黒笹90号（光ケ丘１号）窯式から折戸53号（大原２号）窯式期に相当するとみられる。

緑釉陶器　(530) は口径8.4cmの小型の椀で、釉はかなり剥落し、(531) は濃色の釉が部分的に斑状に掛かり内面は段を持つ。これらの素地は硬質で、東濃系のものとみられる。(534) は高台部底がわずかに沈線状にへこみ、素地は軟質で近江系とみられる。

貿易陶磁　(529) は越州窯系青磁椀で、口縁部片のみの出土である。均質にオリーブ色の釉が



第13図　第124次調査　遺物実測図　ＳＫ6750：524～535



第14図　第124次調査　遺物実測図　ＳＤ1460：536～636

掛かる。第109次調査出土の破片と酷似する。

不明土製品　(535) は端部が孫の手状に曲がった棒状土製品で、一端が欠損する。幅約２cm、厚さ約１cmで、端部には棒状工具による穿孔がみられる。先端部に磨耗がみられ、被熱の痕跡もみられ、火掻き棒などの用途が想定される。

SD1460
土師器杯　埋土の重複関係ではSD6750より新しいが、出土遺物は土師器供膳具が大半を占め、ほぼ同様の内容のものである。出土量は多く、整理箱30箱分になる。今回出土分でみると、土師器杯類は底部に丸みをもたせており、大小を除き一部やや深手に作るものもあるがほぼ単一の形式で、口径で11.0～12.8cmの小型のもの (536～584) と、13.0cmを越える大型のもの (585～588) に分けられる。大半を占める小型品の平均口径は、約12.2cm、標準偏差は約0.52でバラツキは少ない。この径口指数は約0.2である。

皿　口径10.2～11.5cmに収まる小型のものばかりである (599～606)。口縁部はヨコナデ調製し、わずかに屈曲するが全体にほぼ円盤状になる。

台付皿　皿にそのまま外反する高台を付けたものである。口径10.0～13.0cmの小型品 (607～632) と、15cmを越える大型品 (633～635) がある。高台に着目すると、小型品には口径に対し高台径の小さなもの(607・608)と、高台径が口径の1/2以上になるもの(609～632) があり、大型品は高台の大きさ・形態に大きな幅がある。

椀　(636) は唯一のもので、口径10.0cmと小型である。手びねりで整形される。

甕　(639) は口縁を内側に丸くおさめる一般的な小型甕だが、(637) は口縁部の屈曲が弱い小型品、(640) は口縁の屈曲が弱く、口縁端部に弱い折り返しが付くもので、斎宮跡では客体的な形式である。

把手付甕　(638) は小型の甕に牛角状の把手を一本付けるものである。外面は粗いタテハケ調製が施される。

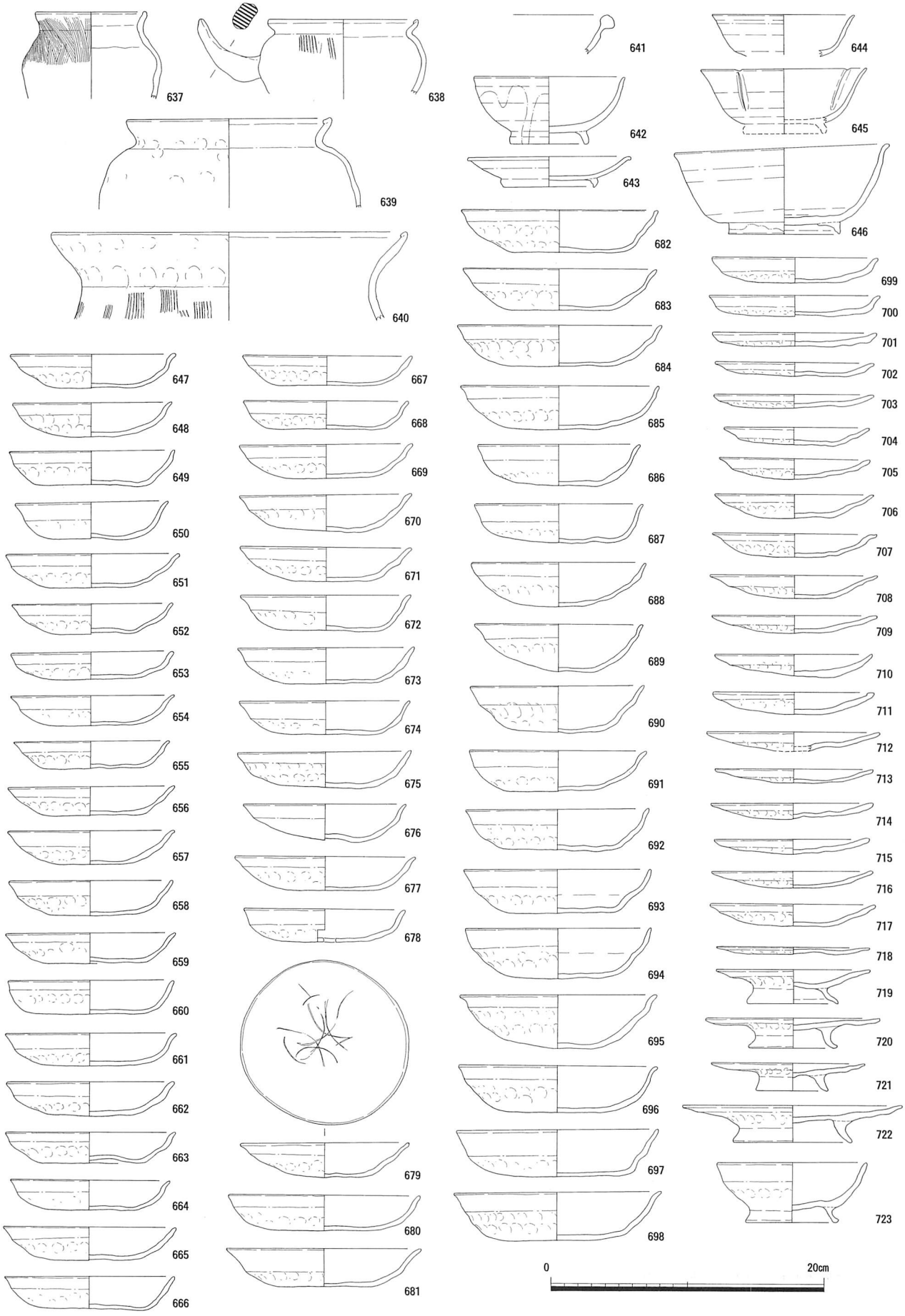
灰釉陶器　椀 (642) と皿 (643) がある。椀は高台の断面が弱い三日月形を呈するものの、体部は深く、丸椀形になる。皿は、高台が断面くずれた三角形あるいは台形状になる。釉は漬け掛けされ、いずれも折戸53号窯式期の範疇に含まれるものであろう。

緑釉陶器　椀 (644～646) が出土している。(644・645) は硬質の素地で、(645) は輪花状に３本の沈線がみられる。東濃系のものとみられる。(646) は深椀で、素地は硬質だが厚手で、高台内面に沈線状の凹みを巡らせており近江系のものとみられる。いずれも釉色は濃緑色で、斑状に微細な濃淡がみられる。

ひらがな墨書土器　(598) はひらがな習書とみられるもので、土師器杯体部外面に習書される。部分的に「ん」や、「け」または「は」とみられる文字があるが全体は判読できない。

SK8073
土師器杯　SK8071に接する土器溜まり土坑で、重複関係上の新旧は埋土の観察でも明確にできなかった。整理箱で10箱の遺物が出土した。土師器杯は、口径12.2～13.2cmの小型品 (647～679) と口径14cm以上の大型品 (680～685)、また、底部を深く丸く椀形に作るもの (686～698) がある。小型品に限ってみれば、平均口径は12.2cm、標準偏差は0.44と規格性が高い。(678) は内底面に整形時についたとみられる植物繊維の圧痕のようなものがある。大型品も口径平均14.4cm、標準偏差0.33と揃っている。椀形のものは平均口径13.5cm、標準偏差1.09とバラツキが大きい。

皿　皿 (699～718) が比較的破損せず含まれている。口径11.0～12.6cmの中に収まる。台付皿 (719～722) は少ないが大小二形式がある。



第15図　第124次調査　遺物実測図　ＳＤ1460：637～646　ＳＫ8073：647～723

椀　手びねりで作られた口径10.9cmの小型の椀（723）がある。

SD8066 土師器杯　区画施設とみられる溝の最終埋没に伴って投棄された土器溜まり資料である。整理箱で16箱分出土した。土師器杯類は、口径11.2～13.0cmの小型品（724～759）と14.6cmの大型品（760）、底部を丸く深く椀形につくるもの（761～766）に分けられる。

小型品の口径でみると平均は約12.0cm、標準偏差は0.47と規格的で小型化の傾向が強くなる。椀形のものは平均口径13.3cm、標準偏差は1.28ある。しかし径口指数は先述のSK8073の資料とともに0.24で一定している。

皿　円盤状に作る小型の皿がある（767～769）。

台付皿　口径10.7～13.2cmの小型品（770～782）、14.4cm以上の大型品に区分できる。大型品には短く太い高台が付く（783・784）と、高めの高台が付く（785・786）がある。

台付杯　手びねりの杯に高台を付け、浅い椀状に作るものである（787～789）。杯部は内弯するもの（787・789）と直線的に開くものがある（788）。

高杯　（790）は小型の高杯で白色に発色する精緻な胎土を用いる。内部が中空になる脚柱部は12方に面取りを行い、長さ4cmの透かし穴が切り込まれる。

甕　小型の甕がある。（795）は口縁端部を内側に丸く収め、（796）は口縁端部をやや肥厚させ、体部にタテハケ調製を施す。

ロクロ土師器　椀とみられるロクロ整形の土師器が数点みられる（791～794）。断面台形の太くしっかりした高台を持ち、内底面にロクロヘラ切り痕を残す（791～793）と、小さな高台部を持ち、底面の広い（794）に分けられるが、いずれもこれまでの斎宮跡の発掘調査では確認されていないタイプのものである。

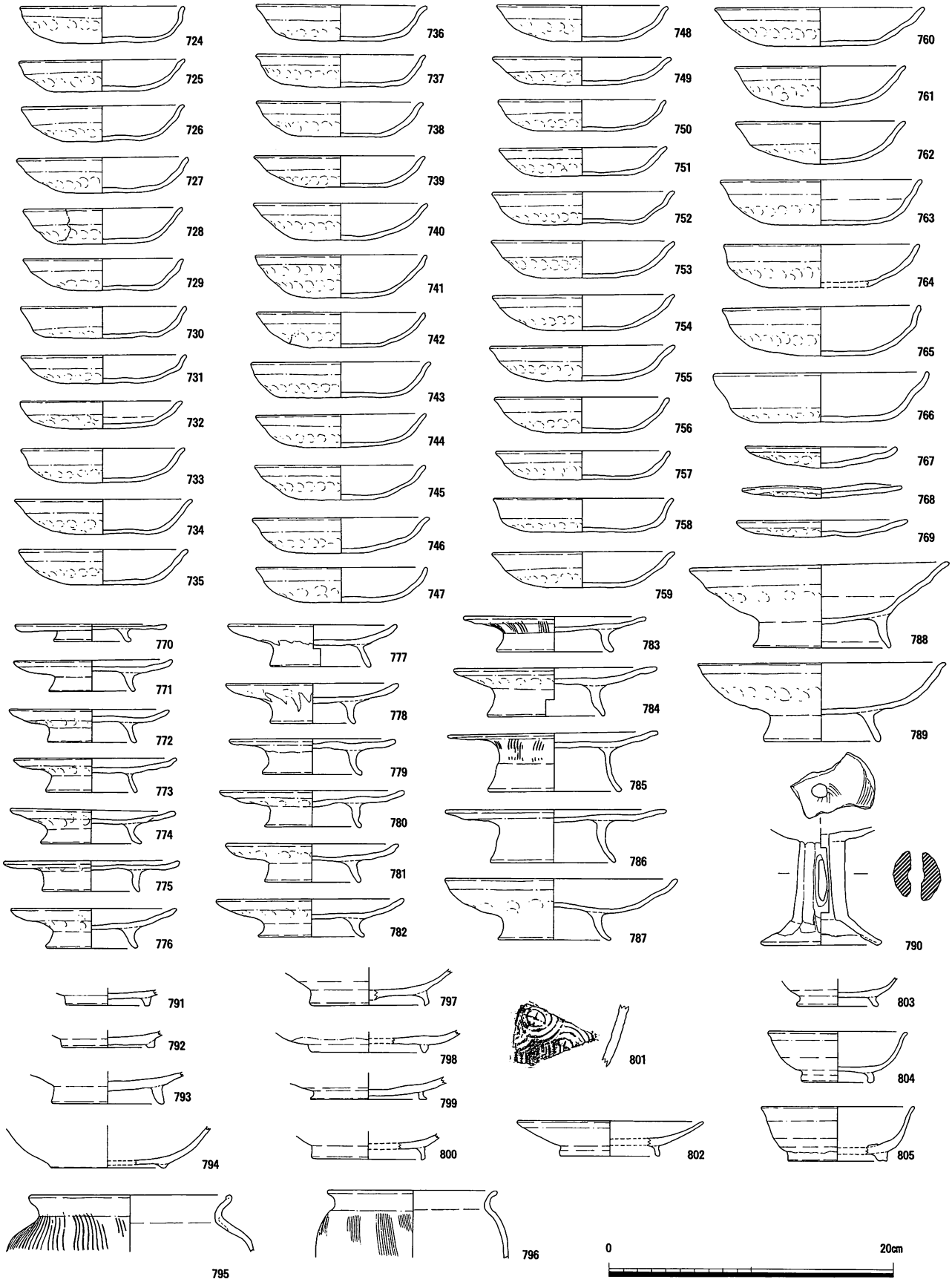
須恵器　高台の付く杯あるいは椀形態とみられるものが出土している（797～800）。また、内面に車輪文のタタキ目の付く甕（801）がある。

緑釉陶器　椀（803～805）と皿（802）がある。椀はいずれも小型で濃緑色の釉が掛かり、近江産と考えられるものである。

以上各期の遺物について土器溜まり資料を中心にみてきたが、炭化材を伴うものが多く、焼成後穿孔や被熱による可能性がある亀裂のあるものが少なからず今回の調査では確認されている。また、平安時代中期を中心に把手付甕や火掻き棒とみられる土製品など火に関わるとみられる遺物が多数見られる事が注目される。

平安時代中期の編年　今回の調査では、鍛冶山西区画ではまとまった量の平安時代中期の一括資料が出土しているが、口径や径口指数等を分析することで時期的に細分できると思われる。まずSK8058・8059は主体となる土師器杯の口径が13.5cm前後あり、それに対し、SK8071上層・8073、SD1460・6750・8066・8069・8073は、主体となる杯で口径約12.2cm前後となり差がある。なおSK8071上層では、実年代で西暦930～950年頃に比定される平安京Ⅲ期古段階以降に伴う須恵器鉢があり、「延喜通寶」を共伴した第95次調査のSX6666が平均口径12.7cm（標準偏差0.60）、第99次調査のSX6900が12.3cm（同0.52）である事、また後者のグループから台付皿が多量に含まれる事から、今回の中期の資料群の中ではSK8058等を前半、SK8071上層等を後半とみる事ができよう。

なお、後者でも椀形になる土師器杯を後Ⅰ期に連続するものと捉えると、これを一定量含むSD8066とSK8073の土器群ではSD8066に従来知られるものと形態は異なるもののロクロ土師器が含まれる事から中期後半でも末葉あるいは後Ⅰ期の基準的資料で



第16図　第124次調査　遺物実測図　ＳＫ8066：724～805

ある第37－４次調査のSE2000との中間的な位置づけが可能な資料と考えられる。

⑷　その他の遺物

特殊遺物として、平安時代中期の土器溜まりを中心に多くの種類のものがある。

緑釉陶器は186片、墨書土器は15片、硯類は円面硯片１点と転用硯類４点の出土をみている。墨書土器ではひらがなを習書したとみられる平安時代中期の資料があり、(814)は「□のころは」と３回ほど流麗な筆致で書いている。また（815）は多数の文字が想定されるが判読できない。これまでも平成４年度の第98次調査などで中期のひらがな習書土器は出土しているが、明らかに文節を意図していると判断されるものはこれまで少なく、書道史の上でも貴重な資料であろう。

緑釉陶器

墨書土器

この他、須恵器蓋上面に「膳」と墨書されたもの（816）があり、同じ鍛冶山地区の第46次調査でも須恵器杯に同様の墨書が施されたものが出土している。遺物は東海の編年観で折戸10号～井ケ谷78号窯式期に比定され、平安時代初期頃のものとみられる。また線刻土器では（817）のように土師器杯内面に「大」と読めるものがある。

京都系土師器

皿（810）がある。口縁端部を内側に丸く折り返す「て」の字口縁の小皿である。

土師器壺Ｅ

平城京土師器分類で壺Ｅとされる小型の容器が目立つ（811・812）。

石帯

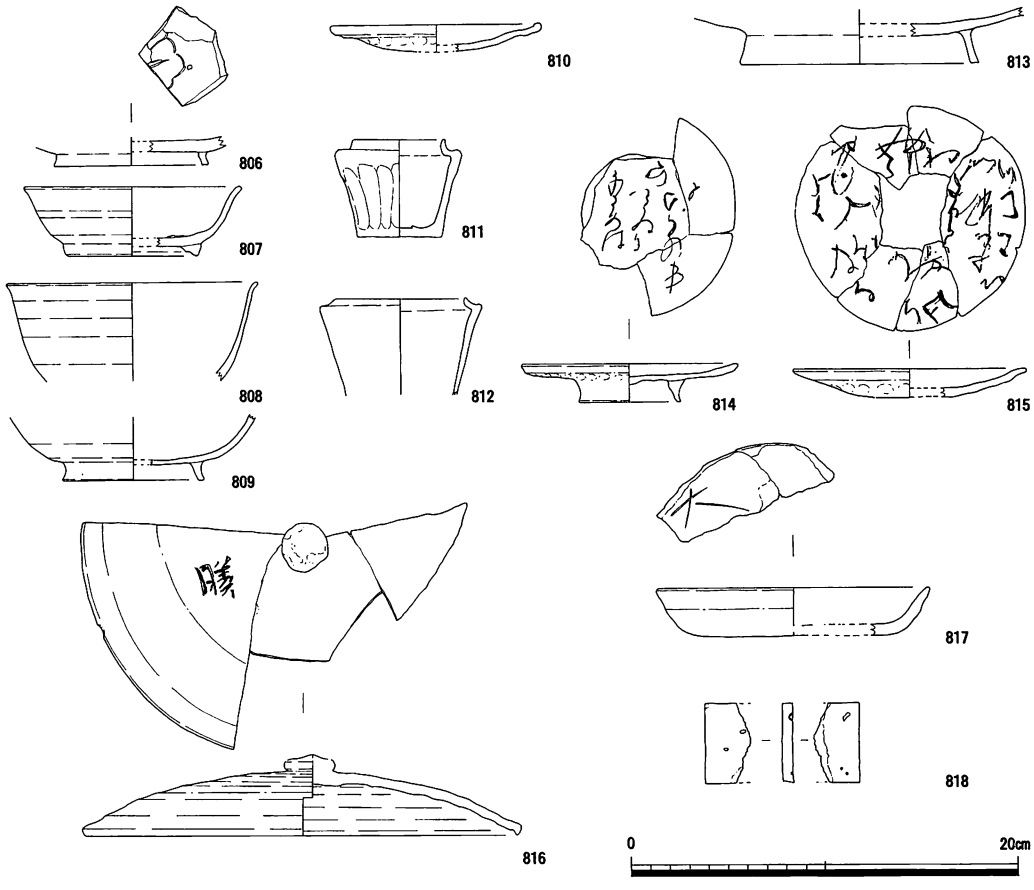
石帯は、巡方（818）が１点出土している。1/2ほど欠損しており、表面の風化も著しい。

製塩土器

製塩土器は志摩式のものが片出土しており、やはり土坑等の土器溜まりからとその周辺からの出土が多い。

土錘

牛葉東地区の第108次調査の際にも同様の傾向が認められたが、今回も土錘の出土が48個と多く、今回は図示していないが遺構出土のものも多い。漁労以外の使用方法も



第17図　第124次調査　遺物実測図

検討すべきかもしれない。

4　まとめ

今回の調査で鍛冶山西地区の調査は、近鉄線以北ではおおむね終了したといえる。特に、他の区画にはみられない柵列により構成される二重構造の内郭柵列の東辺を確認し、当区画の最初期の構造について新たな知見を得る事ができた。鍛冶山西区画の変遷については、これまで過去の発掘調査概報等で、その都度試案が提示されていたが、屋上屋を架す部分もあるものの、時期を再検討した主要遺構に今回の調査成果を加えて鍛冶山西区画の変遷を総括しておきたい。

(1)　第Ⅰ期の構造

奈良時代中期までの土坑等に重複して大規模な柵列による区画施設が成立する段階である。区画南辺については調査例が無く現段階では知り得ないが、北辺柵列は東西120m（40間）のSA6760の東端から南へSA6770が延び、SA6760からさらに東へ16間分SA2800が張り出す構造となる。そのため方格地割を構成する区画東辺道路は少なくともこの段階では成立していなかったと想定される。

この期の柵列及び、倉庫と推定される３間×３間の総柱建物SB6740・7385・8090以外の側柱建物は全て柱間寸法10尺（約３m）を基準としている点も後代と異なる。

内郭柵列は今次調査によって東西20間となる事が判明したが、これは外郭柵列北辺のSA6760（40間）のちょうど半分の長さになる。ただし、両者の東西中心軸は一致しておらず、外郭柵列西辺との間隔は８間、東辺とは12間と内郭柵列は西に寄った構造になる。

内郭内側の建物

内郭内では、北西隅に総柱建物SB7375と、今回並立する事が確認されたSB7385・8050があり、この２棟から現在確認されている柱穴で11間分南にSB6840・6841・6842の３棟の側柱建物となるとみられる大型掘立柱が見つかっている。近鉄線以南のデータは依然少ないが、内郭（区画）の中心的建物はこの間に想定するのが現状では妥当と考えられる。

内郭東側の建物

内郭柵列の外側では区画内最大の６間×４間で南北両面庇のつくSB7950が東側に建つ。この周辺ではSA2705に北側柱筋をあわせてSB8090と、そこから北へ30尺分間をあけてSB6740の２棟の倉庫と考えられる総柱建物が建つ。なお、内郭東辺柵列SA8080との間隔はSB7950で２間、SB8050で１間分しかない。また、この部分では斎宮跡最大級の大型井戸SE7920が設けられる。これは、井戸掘形の周囲に一辺約10mの方形の掘り込み地業を行なう、斎宮跡で他に類例の無い特殊な構造のものでもある。また、この井戸から延びるように北進して東へ直角に曲がるSD6810はこの段階まで遡る可能性がある。

内郭西側の建物

内郭柵列西側ではSA1411とSA7150の間に納まるように、SB7155・7160の２棟の東西棟が建てられる。内郭柵列北側では積極的にこの時期まで遡らせられる建物は認められない。

SB2790

鍛冶山中地区まで広がるSA2800の囲みの内部については未調査地も拡がっているため解明は進んでいないが、７尺等間の南北棟SB2790が区画北西隅に建てられる。

なお、区画東部の南北柵列SA6770は昨年の第119次調査ではわずかに検出されているが、第124次調査では連続を明らかにする事はできていない。

(2) 第Ⅱ期の構造

区画の大規模改革

この段階で鍛冶山西区画はかなり大規模な改変を受ける。まず最大の変化は内郭柵列が消失し、外郭柵列も全体に南へ約2.4m移動するとともに、鍛冶山中区画へ延びていたSA2800も廃絶して鍛冶山西地区の東辺区画道路が成立し、この部分が方格地割全体の構造に整合するようになる。内郭柵列の廃絶に伴い区画内部の建物配置は大きく変わるが、区画施設では内郭柵列SA7150を東へ4.6mずらした位置でSA7400が間仕切り的に設けられる。これは北辺柵列SA6780には接続せず、南端も近鉄線を越えずに途絶している事が判明している。

区画道路成立

このSA7400の付近では、前代のSB7155が８尺等間（約2.4m）の規模に縮小して５間×２間のSB7190に建て替えられる。また、これと40尺（11.8m）ずつ等間隔をおいてSB2680・2685が建てられる。

区画北部では、８尺間を基本とした東西棟がSB7370→1430の後、少し位置を南へずらして、SB7390へと３度建て替えられる。SB1430では南と西に庇が付くが、基本的には同規模程度のものである。この南側にはSB7382→7381→7380とSB8062→8061→8060の８尺等間、５間×２間の南北棟のグループが成立する。SB7370等の建て替えに対応する可能性は考えられる。

区画北東部では３間×２間のSB6726とSB6736が桁行の柱筋を揃（そろ）えて並び建つ。これらは各々SB6725と6735に建て替えられる。

区画東部では、前代の大型建物SB7950は建て替えられる事なく、その跡地にSB7918→7919とSB7947→7948の組合せで逆Ｌ字形の配置を構成する。これらの変更に伴って前代のSE7920はやや構造を簡略化してSE8085に変更される。井戸の南側ではSB7933→7934→8091の順に３間×２間の南北棟が建て替えられる。

SD6810

SD6810はこの段階まで存続すると考えられ、この南北溝の溝心とSA6790、先述のSA7400とSA2675の間隔は約28mでほぼ等しく、SD6810の溝底の絶対高も勾配がみられず、第Ⅱ期では区画溝的性格を強く持っていると考えられる。

建物の小型化

第Ⅱ期に入ると、区画西部のように同様の東西棟配置を継続する区域もみられる一方、SA2800の消失と区画東辺道路の成立により、区画自体が西へ縮小し、建物規模も柱間10尺のものがなくなり、柵列による二重構造の消失に現れるように区画全体の求心性が弱くなる。

総柱建物消失

また、この段階では前代のように倉庫と推定されるような総柱建物も廃絶し、所謂「土器溜まり」と呼ばれる土師器供膳具を中心とした土器の大量投棄場が出現するのも現在の知見ではこの時期である。

土器溜まり出現

ただしその分布は区画の北東と北西の柵列の際などに限られ、それ自身が祭祀や饗宴の場とは考えられず、何らかの使用後の廃棄場所と考えるべきであろう。また、区画北部及び中心部付近には土器溜まりは認められない。

(3) 第Ⅲ期の構造

今回は昨年度の第119次調査概報とは段階区分が異なるが、特に区画北部の建物配置の大きな変更に注目して画期を再検討した。

SA7400の後にSA7170・7171・7172が南へ延長して設けられるなど、基本的には前段踏襲しつつ、部分的にはいくつかの変更がみられる。

区画溝による

区画北部では、小土坑を「コ」の字形に連続させて新たに区画が設けられる。内々

細分

で東西約49m、SA6780との間隔は約35mである。この区画内部には従来このエリアが東西棟を主体としてきたのに変わって５間×２間を規模の基準とする南北棟がSB7412→7411→7410とSB6722→6721→6720の東西の２つのグループに分かれて認められる。未発掘ではあるが、この中間にもう１つのグループも想定し得る。なお、今回の調査では、東と南にこの溝に平行するような同規模の連続する土坑状の溝がみつかっており注目されるが、第105・109次調査では同様のものは確認されていない。

区画西部では、SB7191が前段階のSB7190を踏襲して同一規模で建て替えられるものの、その北側では東面庇をもつ南北棟SB2690に変更される。

区画東部の建物配置

区画東部では、依然「L」字形の建物配置が認められ、東西棟がSB7915→7916→7917の南面庇付きの５間×３間の建物、南北棟はSB7938→7939→7940の西面庇付きの４間×３間の建物で構成される。この北側にも南面庇付きのSB6730→6731→6732の３間×３間の建物がみられる。ただし、これにより第Ⅰ～Ⅱ期には存続した大型井戸は、少なくとも区画北東部からは消失する。規模や造作の点で斎宮跡の他地区の井戸とは際立ったものでだけに、この井戸の廃絶は大きな意味を持っているだろう。

先述の通りSA7170・7171・7172はSA7400を踏襲して設けられているが、南へ大きく延長されており、これまでに23間分まで確認されている。しかしこれによる区画内での機能上の変化については、区画南の調査例が少ない事もあって判断できない。

この時期にも、区画の北東と北西では大小様々な「土器溜まり」土坑がみられる。その中で最大級のSK2650もこの段階に属するものとみられる。しかしながら区画北部の「コ」字形区画内には目立った土器溜まりは存在しない。

鍛冶山西区画は第Ⅲ期以降急速に衰退し、第98次調査区や第109次調査区にわずかに残る小規模なものを除いて建物はほとんどみられなくなる。「土器溜まり」遺構も平安時代中期末葉頃のものを最後としており、当区画の機能低下を示している。

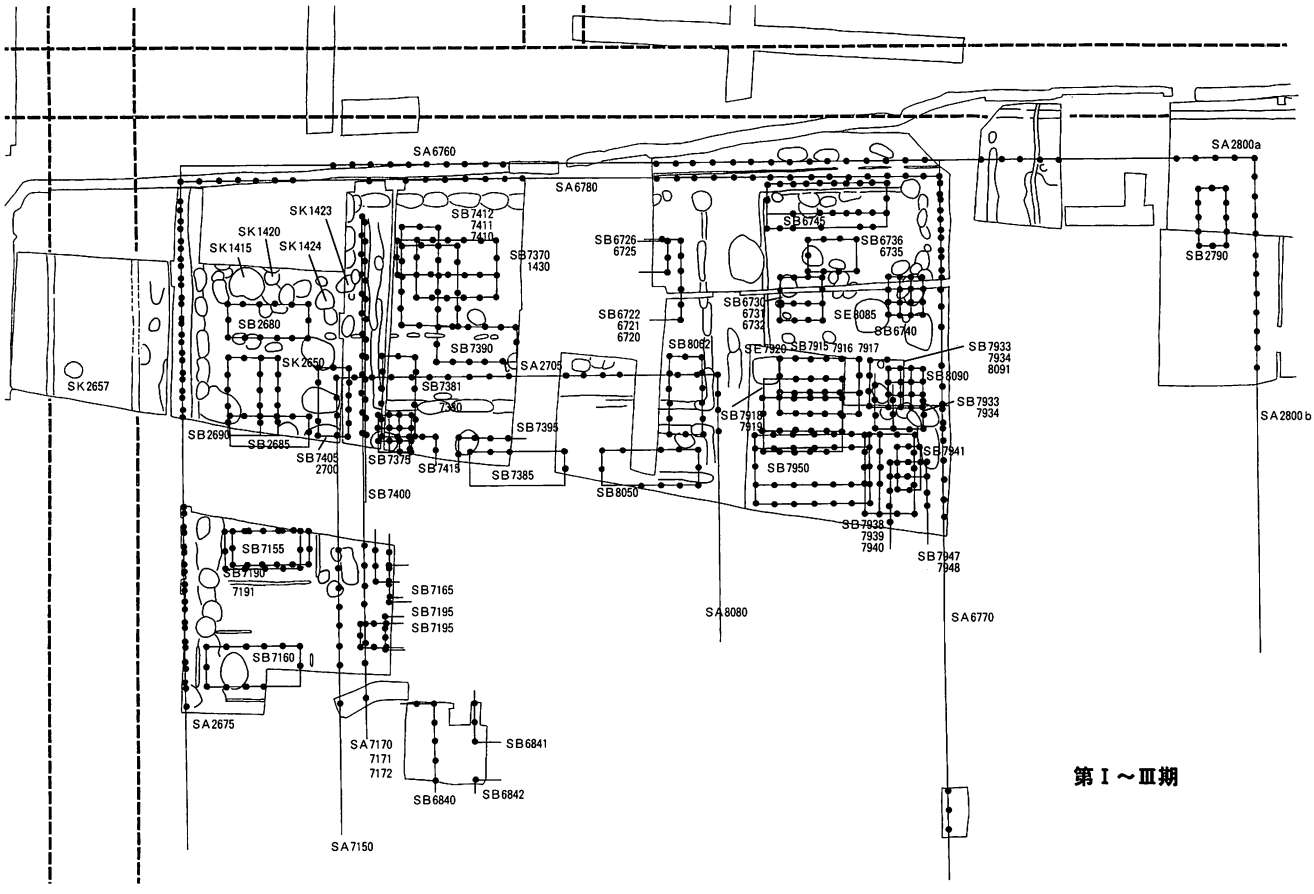
(4) 鍛冶山西区画における課題

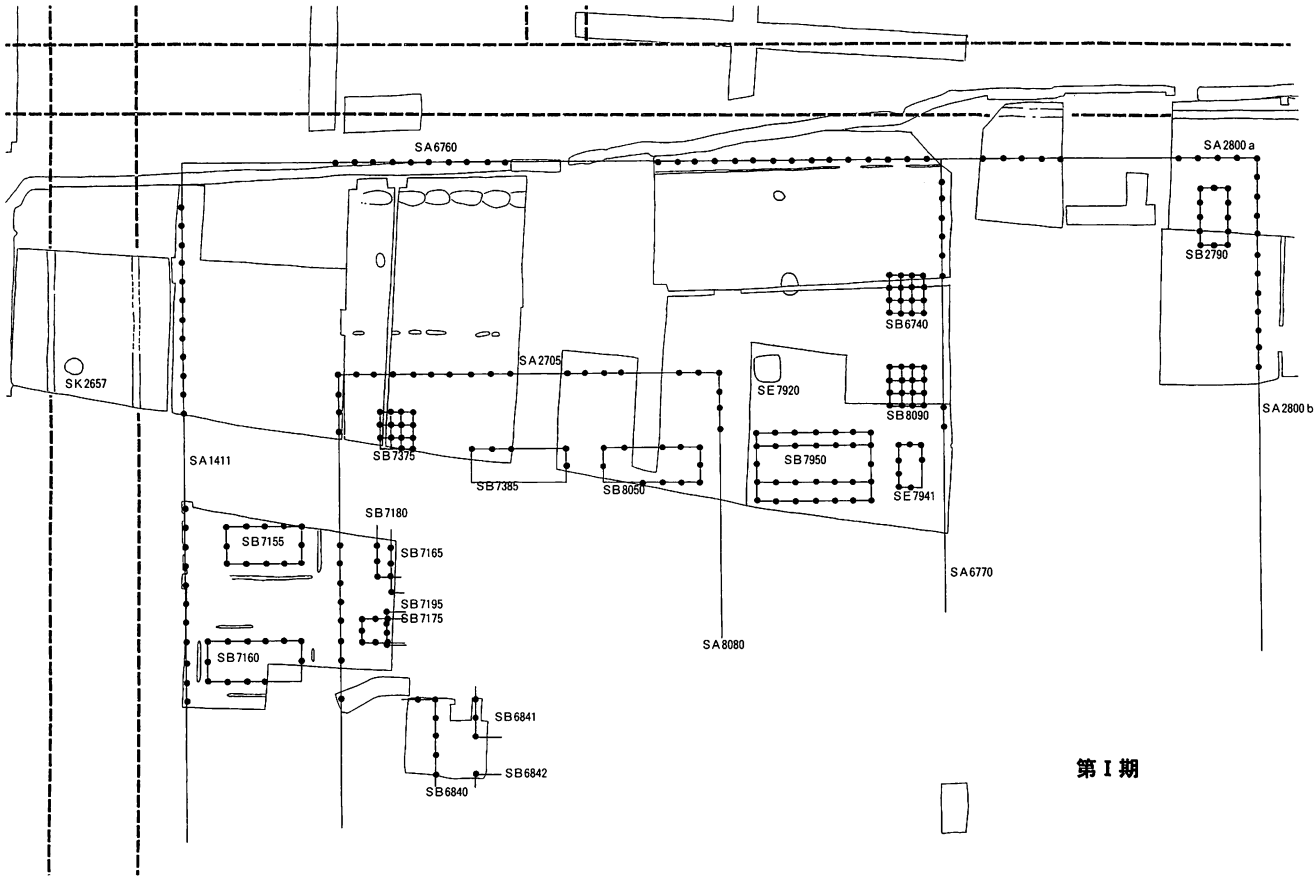
各期の時期

以上、鍛冶山西区画の変遷について、今次調査の知見を踏まえて整理した。この３段階の具体的な時期については、平成９年度の第119次調査の概要報告の中でもふれられてているが、第Ⅰ期は斎宮跡の土器編年で奈良時代後期に比定される。第Ⅱ期については、柱穴出土の遺物の検討結果と、この段階で最も新しいとみられるSB7380やSB8062が平安時代前Ⅱ期の溝や土坑に重複されており、平安時代初期から平安時代前Ⅰ期頃に比定され、第Ⅲ期はこの区画の建物の消失していく時期も勘案して、平安時代前Ⅱ期～中期におおむね比定できよう。

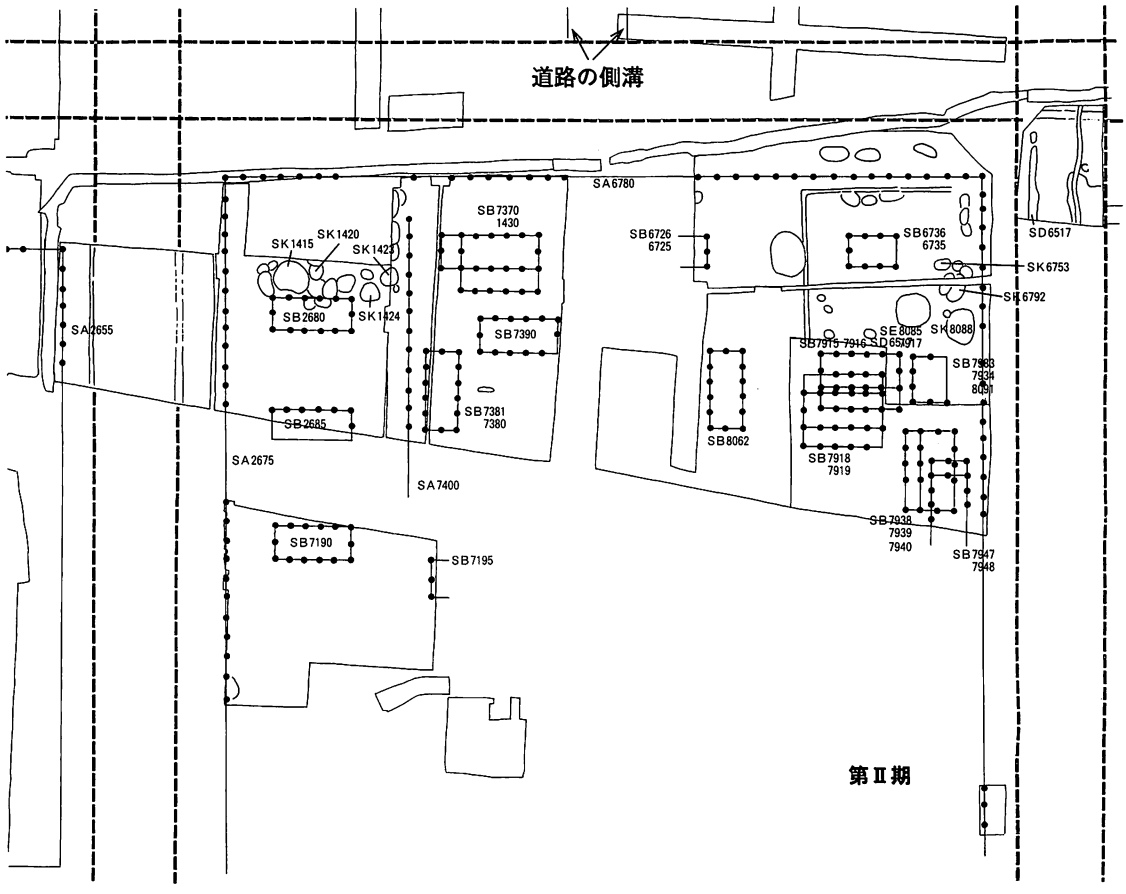
第Ⅰ期の細分

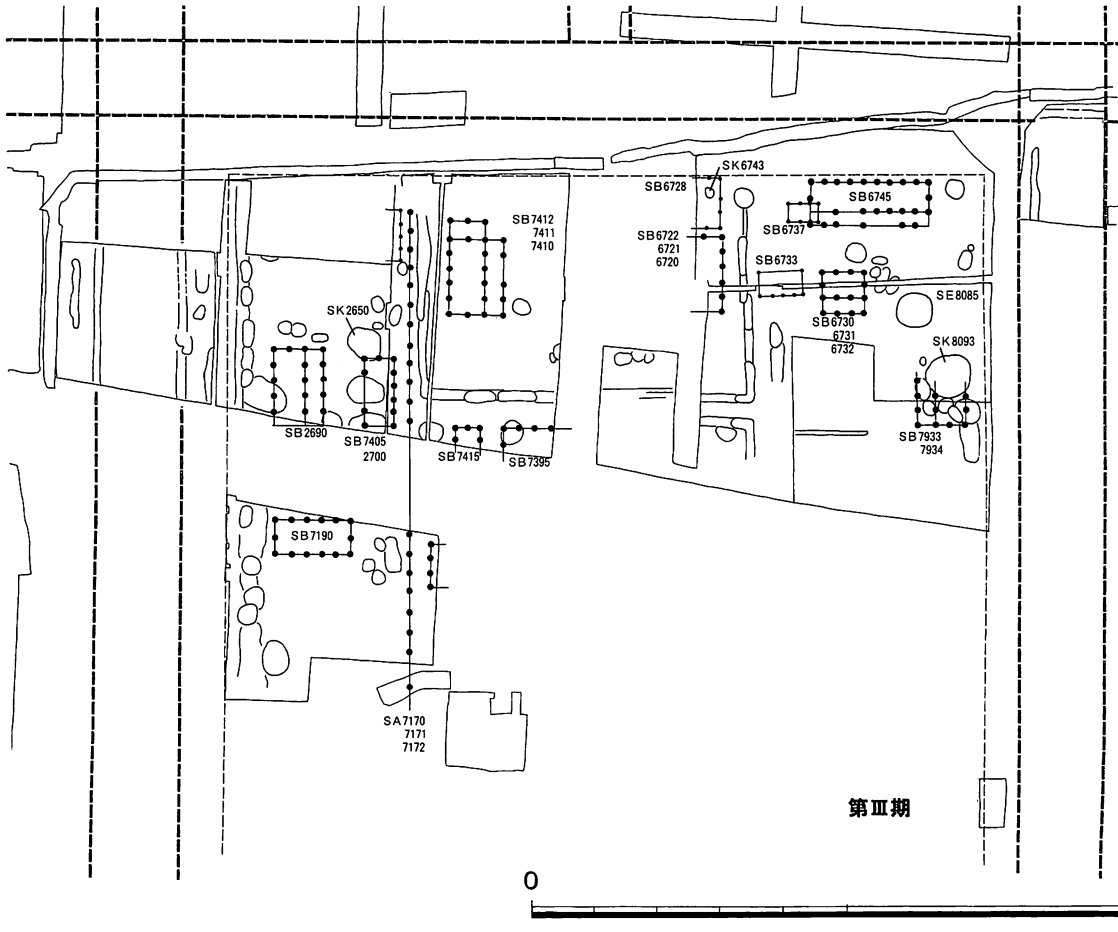
第Ⅱ期及び第Ⅲ期は、それぞれ３回程度の幅で掘立柱建物の建て替えが行われている事がわかる。また第Ⅰ期は外郭柵列SA6760と内郭柵列SA2705が外郭東西長で40間、内郭で20間と規模の上での整合性が高いにも拘わらず内郭が西に寄った構造となっている事、身舎の桁行柱筋を揃えるSB7385・7950・8050の建物群に対し、SA8080がSB8050と１間分しか離れておらず、やや不自然な事などから、第Ⅰ期の中でも少なくとも２段階程度の変遷が想定され得る。今回の調査の中で、南北柵列SA6770は確認されなかったが、少なくとも第119次調査区の中でもその延長は決して明確な形では確認されていない。あるいはSA1411・6760・2800の外郭柵列が先行し、内郭柵列及びこのSA6770が東西長で２：１となるよう後に付設されたと想定すれば、SB7950とそれに並ぶ





第18図　鍛冶山西区画遺構変遷図（１）





第19図　鍛冶山西区画遺構変遷図（２）

２棟はほぼ大区画の中央に位置していたと見る事ができる。

また、西接する牛葉東区画の近年の発掘調査による知見でも大型の柵列施設が成立し、内院的な機能を充実させるのが、鍛冶山西区画にやや遅れて平安時代初期頃からと推定されているが、これにより牛葉東区画との機能の分担あるいは振替が行われ、鍛冶山西区画の第Ⅱ期の変革となって現れていると考えるのが自然であろう。この第Ⅱ期の変革を延暦四年（785）に造斎宮長官に任じられた従五位上紀朝臣作良による斎宮の造営・整備によるものとみると、第Ⅰ期は宝亀二年（775）の造斎宮使鍛冶正従五位下氣太王の造営による光仁朝の段階に相当するとみられ、この間在任する酒人内親王・浄庭内親王の二人の斎王に第Ⅰ期の中の画期を当てる事が可能である。

土器溜まりの変遷

これまでの内院地区の区画の変遷は主要な掘立柱建物の変遷で語られる事が多かった。今回はこれに加えて、内院地区でも特徴的な遺構である「土器溜まり」の鍛冶山西区画での変遷もみてみたい。なお「土器溜まり」については、土師器供膳具を中心とした構成を持ち、炭化材や焼土塊などを共伴する事がある基本的には使用された状態での土器の大量投棄土坑を指すものとする。

第Ⅰ期

第Ⅰ期にあたる奈良時代後期の土器溜まりは現在発見されていない。

第Ⅱ期

第Ⅱ期のうち平安時代初期のものについては極めて小規模なもの以外ほとんど見つかっていない。前Ⅰ期になると区画北西部のSK1415・1423・1424・7420や、多くは区画北東部のSK6753・6792・8084・8088などがある。また区画北辺中央部には規模は大きくないがSK6743がある。

第Ⅲ期

平安時代前Ⅱ期のものは、区画北西部のSK2650・7430など大規模なものが出現する。SK6771・6772などの極めて小規模なものは区画北東部にも散見される。平安時代前・期末頃から中期になると、区画中央部よりのSK1459・8071・8073bなどの土抗やSD1460・6750・8069・8066などの区画溝の最終埋没過程に伴う投棄が目立つ。

以上のように主要なものでみていくと鍛冶山西区画内でも土器溜まりが特に作られる場所は時期により移動しており、これまでみてきた遺構の画期ともある程度整合している事が窺える。今後各建物群の性格を検討する上で重要な材料となるだろう。

牛葉東区画との比較

遺構の章でも述べたが、鍛冶山西区画の画期は牛葉東区画の画期と密接に連動したものである事が今回の調査でより一層明確になった。第Ⅱ期への変遷とともに牛葉東区画での柵列の囲みが成立し、第Ⅲ期の成立の頃には少なくとも牛葉東区画の柵列は消滅していたと考えられる。また、第Ⅲ期の成立とともに鍛冶山西区画で成立したとみられる２本平行する区画溝（土塁？）が中期末には埋没するのを受けて、牛葉東区画で後Ⅰ期に成立した事が窺える。しかしながら牛葉東区画の大部分が未調査の現段階ではこの２区画の機能上の変化を論じる事はできない。30年の厚みを持つ斎宮跡の発掘調査の歴史の積み重ねにより平安時代の斎宮中枢部、内院の構造に大きく迫りつつあるが、それにより我々に与えられた課題もまた大きいと言える。

（大川　勝宏）

［註］　平成７年度概報までこの部分に想定されていたSB6730は柱穴の遺物や建て替えの連続性を再検討した結果、平安時代初期以降のものとして判断することとした。

Ⅲ　第　126　次　調　査

（６ＡＧＵ　中西東地区）

１　はじめに

経　過　第126次調査は、昭和60年度にトレンチ調査を行った第58-7次調査の南側約35ｍの地点で実施した。調査面積は200㎡で、現況は休耕田の畑地である。

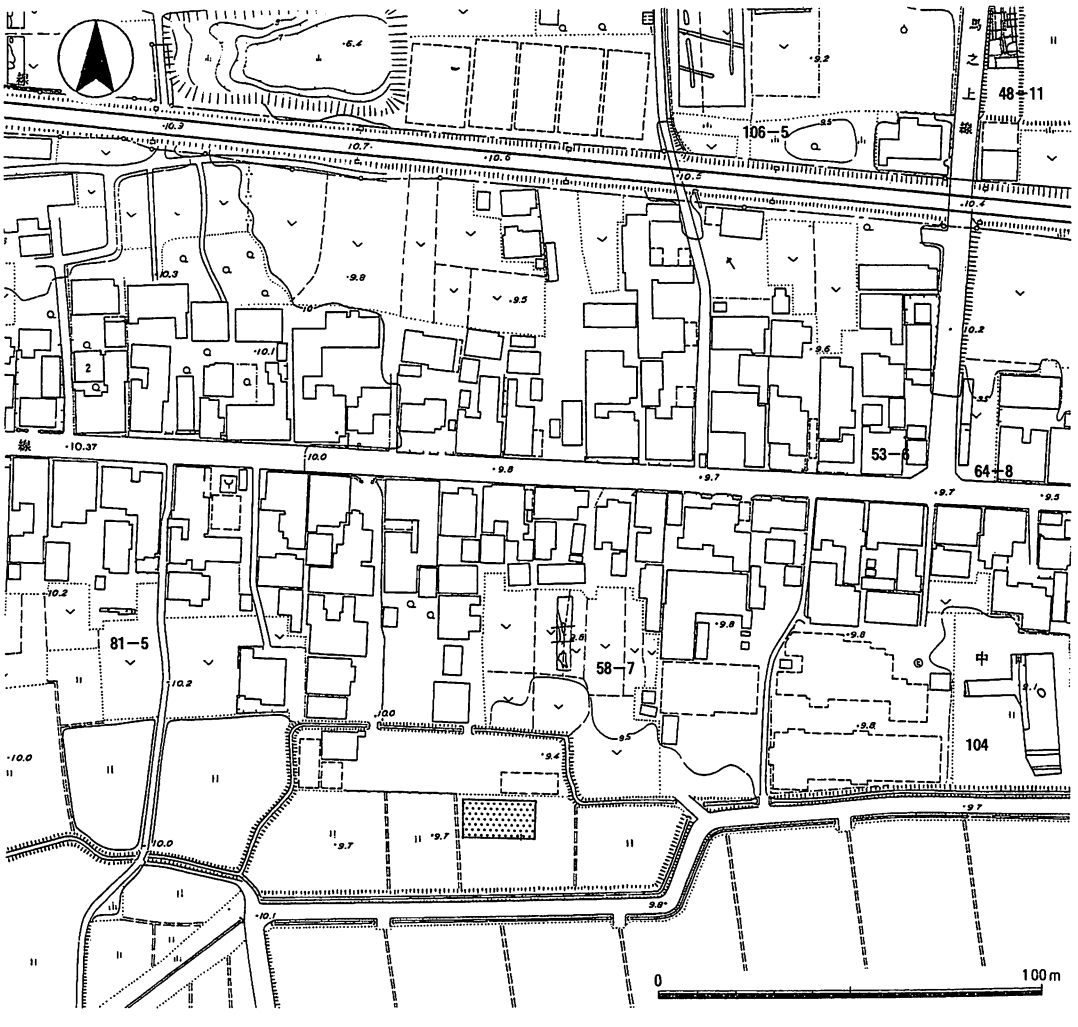
目　的　方格地割の南端の状況は、これまでの調査では南西隅の木葉山区画で八脚門が確認され、これにとりつく柵列が明らかになっているが、その他の区画では状況がはっきりとしていない。また、今回の調査地点の周辺での面的な調査は約120ｍ東へ離れた地点で第104次調査が実施されているのみである。このような状況であるため、今回の調査は方格地割南端の遺構の状況把握を目的として実施した。調査は平成10年10月19日から開始し、11月24日に埋め戻しが終了した。

現　況　現況の表土から遺構面までの深さは、西側で約0.3ｍ、東側で約0.4ｍである。遺構面は黄色土で捉えた。遺構検出面の標高は9.3ｍ前後である。遺構検出面までの基本的層位は、第１層褐灰色土（耕作土）、第２層褐灰色土（遺物包含層）である。

２　遺　構

(1)　室町時代の遺構

この時期の遺構には、溝１条がある。



第20図　第126次調査　調査査区位置図（１：2,000）

SD8098　調査区の東端にある溝である。北側では攪乱土抗と重複しているが溝の底部は残っている。溝の幅は検出面で2.8m、底で0.4m、検出面からの深さは0.4m前後である。溝の振りはN16°Wである。黒褐色土の埋土からは土師器皿・鍋、施釉陶器皿が出土しており、室町時代のものである。

(2) 時期不明の遺構

室町時代より新しく時期不明の遺構には、土坑１基、溝３条がある。

SK8095　調査区北西隅で検出した。調査区外へ続くため、その規模・性格は不明である。検出面からの深さは0.3mである。黒褐色土の埋土からの出土遺物はなく遺構の時期は不明である。

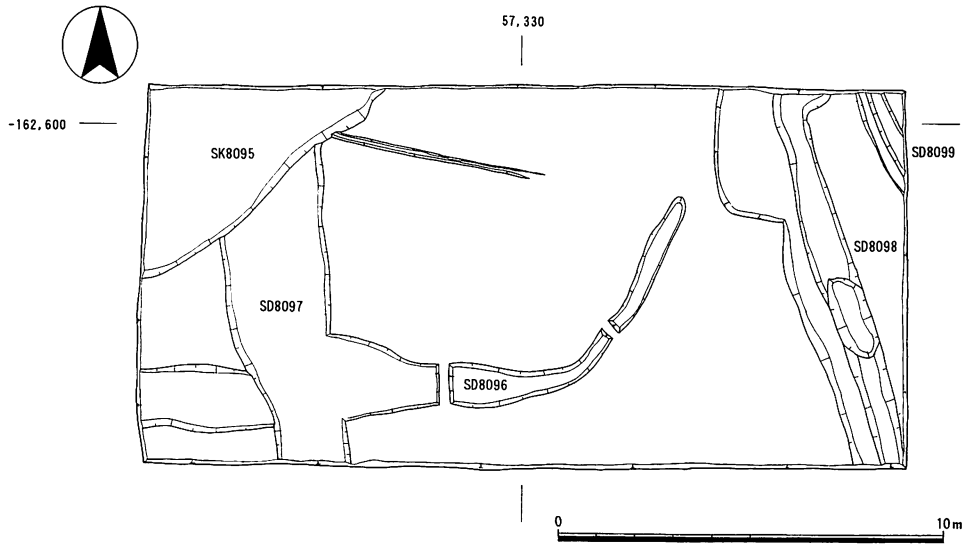
SD8096・8097 8099　SD8096は南西の隅で東西方向の溝と南北方向の溝が合流し、東へと続くが調査区の中央付近で北東方向に向きを変える。溝の幅は1.6m～1.9mであるが、徐々に溝幅も狭くなり途切れてしまう。SD8097はSD8096とほぼ直交する南北方向の溝であるが、重複の関係からSD8096より新しい。ともに遺構検出面からの深さは0.15m前後で非常に浅い。SD8097からは土師器皿・鍋が出土しているが細片のため、室町時代以降であろうが時期は判断しがたい。SD8097は北東隅で検出した溝で、検出面での溝の幅は0.5m前後、深さは検出面から0.2mと浅い。出土遺物はなく、時期は不明である。

３　遺　物

今回の調査では鎌倉時代から室町時代にかけての土器が出土しているが、遺物整理箱で３箱分と少ない。土師器皿・鍋、山茶椀、施釉陶器などがあるが、細片ばかりである。なお、遺物包含層から緑釉陶器と青磁椀が各１点出土している。

４　まとめ

今回の調査では、方格地割南端の東西道路あるいはその側溝、また、それにとりつくような遺構の検出を想定したが、検出されなかった。東西道路の南側溝はもう少し北に位置するのであろう。今後の周辺地域での発掘調査の進展とともに資料の蓄積をはかり、方格地割南端の状況を解明していく必要があろう。　（上村安生）



第21図　第126次調査　遺構実測図（１：200）

第３表　第124次調査掘立柱建物・柵列一覧表

遺構番号	規　　模	棟方向	桁行 (m)	梁行 (m)	柱間寸法 桁行	柱間寸法 梁行	時　　期	備　　考
ＳＡ2705	20	Ｅ４°Ｎ	60.0	—	3.0	—	奈良後期	第44・109次調査の延長
ＳＡ8080	(4)	Ｎ４°Ｗ	(12.0)	—	3.0	—		
ＳＢ6740	３×３	Ｎ４°Ｗ	6.3	5.4	2.1	1.8		総柱建物
ＳＢ7385	５×２	Ｅ４°Ｎ	15.0	6.0	3.0	3.0		
ＳＢ8050	５×２	Ｅ４°Ｎ	15.0	6.0	3.0	3.0		
ＳＢ8090	３×３	Ｎ４°Ｗ	6.3	5.4	2.1	1.8		総柱建物
ＳＡ6770	(6)	Ｎ４°Ｗ	(18.0)	—	3.0	—	平安初期	第98・119次調査の延長
ＳＢ8060	５×２	Ｎ４°Ｗ	12.0	4.8	2.4	2.4		
ＳＢ8061	５×２	Ｎ４°Ｗ	12.0	4.8	2.4	2.4		
ＳＢ8091	３×２	Ｎ４°Ｗ	7.2	4.8	2.4	2.4		
ＳＢ7915	５×３	Ｅ４°Ｎ	12.0	8.1	2.4	2.7	平安前Ｉ期	南庇出2.4m、ＳＢ7919より新
ＳＢ7916	５×３	Ｅ４°Ｎ	12.0	8.4	2.4	2.7		南庇出3.0m、ＳＢ7915より新
ＳＢ7917	５×３	Ｅ４°Ｎ	12.0	8.1	2.4	2.7		南庇出2.7m、ＳＢ7916より新
ＳＢ8062	５×２	Ｎ４°Ｗ	12.0	4.8	2.4	2.4		

第４表　第124次調査遺物観察表

報告書番号	出土遺構	器種	計測値(cm)		調整・技法の特徴	胎土	焼成	色調	残存度	備考	登録番号
1	ＳＫ8057	土師器 杯	口径 器高	12.4 3.0	口：ヨコナデ、外：ナデ・オサエ、 内：ナデ	密	良	内外：橙2.5ＹＲ6／6	2／5		Ｒ692
2	ＳＫ8057	土師器 杯	口径 器高	13.0 3.0	口：ヨコナデ、外：ナデ・オサエ、 内：ナデ	密	良	内外：橙7.5ＹＲ6／6	2／5		Ｒ693
3	ＳＫ8057	土師器 杯	口径 器高	12.8 2.8	口：ヨコナデ、外：ナデ・オサエ、 内：ナデ	密	良	内外：橙5ＹＲ6／6	完形		Ｒ685
4	ＳＫ8057	土師器 杯	口径 器高	13.6 3.2	口：ヨコナデ、外：ナデ・オサエ、 内：ナデ	密	良	内外：橙5ＹＲ6／8	3／5		Ｒ690
5	ＳＫ8057	土師器 杯	口径 器高	12.8 3.5	口：ヨコナデ、外：ナデ・オサエ、 内：ナデ	密	良	内外：橙5ＹＲ6／6	4／5	底：穿孔	Ｒ688
6	ＳＫ8057	土師器 皿	口径 器高	18.0 2.0	口：ヨコナデ、外：ナデ・オサエ、 内：ナデ	密	良	内外：橙5ＹＲ6／8	7／10		Ｒ687
7	ＳＫ8057	土師器 皿	口径 器高	16.6 2.0	口：ヨコナデ、外：ナデ・オサエ、 内：ナデ	密	良	内外：橙5ＹＲ6／8	9／10		Ｒ686
8	ＳＫ8057	土師器 皿	口径 器高	16.4 2.0	口：ヨコナデ、外：ナデ・オサエ、 内：ナデ	密	良	内外：明赤褐5ＹＲ5／8	9／10		Ｒ694
9	ＳＫ8057	土師器 皿	口径 器高	15.4 2.0	口：ヨコナデ、外：ナデ・オサエ、 内：ナデ	密	良	内外：橙5ＹＲ6／6	7／10		Ｒ689
10	ＳＫ8057	須恵器 高台付杯	口径 高台径 器高	19.4 14.8 3.7	内外：ロクロナデ、底外：ロクロケズリ、 底内：ナデ、高台貼付ナデ	密	良	内外：灰白5Y7／1	口60		Ｒ684
11	ＳＫ8057	須恵器 杯	口径 高台径 器高	17.0 14.0 3.7	内外ロクロナデ、 腰：ロクロケズリ、高台貼付ナデ	密	良	内外：灰10Y6／1	3／10		Ｒ691
12	ＳＫ8088	土師器 杯	口径 器高	15.3 3.6	口：ヨコナデ、外：ナデ・オサエ、 内：ナデ	密	良	外：明赤褐5ＹＲ5／6～浅黄橙10ＹＲ8／4 内：明赤褐5ＹＲ5／6	ほぼ 完形	大きな亀裂	Ｒ571
13	ＳＫ8088	土師器 杯	口径 器高	15.1 3.8	口：ヨコナデ、外：ナデ・オサエ、 内：ナデ	密	良	内外：橙2.5ＹＲ7／6	4／5		Ｒ648
14	ＳＫ8088	土師器 杯	口径 器高	13.5 2.5	口：ヨコナデ、外：ナデ・オサエ、 内：ナデ	密	良	内外：橙5ＹＲ7／6	4／5		Ｒ642
15	ＳＫ8088	土師器 杯	口径 器高	13.5 2.6	口：ヨコナデ、外：ナデ・オサエ、 内：ナデ	密	良	内外：橙5ＹＲ6／6	9／10		Ｒ630
16	ＳＫ8088	土師器 杯	口径 器高	13.6 3.0	口：ヨコナデ、外：ナデ・オサエ、 内：ナデ	密	良	外：橙5ＹＲ7／6 内：橙7.5ＹＲ7／6～オリーブ黒5Y3／1	完形	内：黒化部分	Ｒ535
17	ＳＫ8088	土師器 杯	口径 器高	13.1 2.8	口：ヨコナデ、外：ナデ・オサエ、 内：ナデ	密	良	外：黒褐5ＹＲ3／1 内：明赤褐5ＹＲ5／6	完形		Ｒ583
18	ＳＫ8088	土師器 杯	口径 器高	13.2 2.7	口：ヨコナデ、外：ナデ・オサエ、 内：ナデ	密	良	内外：にぶい黄橙10ＹＲ7／4、明赤褐5ＹＲ5／6	7／10		Ｒ665
19	ＳＫ8088	土師器 杯	口径 器高	13.8 2.6	口：ヨコナデ、外：ナデ・オサエ、 内：ナデ	密	良	内外：橙7.5ＹＲ7／6	完形		Ｒ664
20	ＳＫ8088	土師器 杯	口径 器高	13.7 2.6	口：ヨコナデ、外：ナデ・オサエ、 内：ナデ	密	良	外：橙5ＹＲ6／6 内：橙7.5ＹＲ6／6	完形		Ｒ585
21	ＳＫ8088	土師器 杯	口径 器高	13.3 2.5	口：ヨコナデ、外：ナデ・オサエ、 内：ナデ	密	良	内外：橙7.5ＹＲ7／6	3／5		Ｒ643
22	ＳＫ8088	土師器 杯	口径 器高	13.4 2.6	口：ヨコナデ、外：ナデ・オサエ、 内：ナデ	密	良	内外：橙5ＹＲ6／8	完形		Ｒ660
23	ＳＫ8088	土師器 杯	口径 器高	13.4 3.0	口：ヨコナデ、外：ナデ・オサエ、 内：ナデ	密	良	外：橙5ＹＲ6／8 内：橙7.5ＹＲ7／6	完形		Ｒ543
24	ＳＫ8088	土師器 杯	口径 器高	13.8 2.9	口：ヨコナデ、外：ナデ・オサエ、 内：ナデ	密	良	外：明赤褐5ＹＲ5／6 内：橙5ＹＲ6／8	7／10		Ｒ545
25	ＳＫ8088	土師器 杯	口径 器高	13.6 3.1	口：ヨコナデ、外：ナデ・オサエ、 内：ナデ	密	良	外：にぶい橙5ＹＲ6／4 内：橙5ＹＲ6／6	7／10		Ｒ529
26	ＳＫ8088	土師器 杯	口径 器高	13.9 3.2	口：ヨコナデ、外：ナデ・オサエ、 内：ナデ	密	良	外：橙7.5ＹＲ6／6～褐灰10ＹＲ4／1 内：橙5ＹＲ6／6	3／5	外：粘土接合痕	Ｒ589
27	ＳＫ8088	土師器 杯	口径 器高	14.5 2.6	口：ヨコナデ、外：ナデ・オサエ、 内：ナデ	密	良	内外：橙7.5ＹＲ6／6	4／5		Ｒ639
28	ＳＫ8088	土師器 杯	口径 器高	13.7 3.0	口：ヨコナデ、外：ナデ・オサエ、 内：ナデ	密	良	内外：橙2.5ＹＲ6／6	9／10	底外：粘土のひび割れ	Ｒ528
29	ＳＫ8088	土師器 杯	口径 器高	13.8 2.8	口：ヨコナデ、外：ナデ・オサエ、 内：ナデ	密	良	内外：明赤褐5ＹＲ5／6	3／5		Ｒ592
30	ＳＫ8088	土師器 杯	口径 器高	13.9 3.0	口：ヨコナデ、外：ナデ・オサエ、 内：ナデ	密	良	外：にぶい橙7.5ＹＲ7／4 内：にぶい橙7.5ＹＲ6／4	7／10	ゆがみ	Ｒ527
31	ＳＫ8088	土師器 杯	口径 器高	13.2 3.0	口：ヨコナデ、外：ナデ・オサエ、 内：ナデ	密	良	外：橙7.5ＹＲ6／6 内：にぶい黄橙10ＹＲ7／3	7／10		Ｒ569
32	ＳＫ8088	土師器 杯	口径 器高	14.2 3.1	口：ヨコナデ、外：ナデ・オサエ、 内：ナデ	密	良	内外：橙5ＹＲ6／6	4／5		Ｒ596
33	ＳＫ8088	土師器 杯	口径 器高	13.2 3.2	口：ヨコナデ、外：ナデ・オサエ、 内：ナデ	密	良	内外：橙5ＹＲ6／6	完形		Ｒ570
34	ＳＫ8088	土師器 杯	口径 器高	15.7 3.3	口：ヨコナデ、外：ナデ・オサエ、 内：ナデ	密	良	内外：橙5ＹＲ6／6	ほぼ 完形		Ｒ584
35	ＳＫ8088	土師器 杯	口径 器高	16.2 3.0	口：ヨコナデ、外：ナデ・オサエ、 内：ナデ	密	良	内外：橙2.5ＹＲ6／8	1／2		Ｒ634
36	ＳＫ8088	土師器 杯	口径 器高	15.2 3.1	口：ヨコナデ、外：ナデ・オサエ、 内：ナデ	密	良	内外：明赤褐5ＹＲ5／6	1／2		Ｒ518
37	ＳＫ8088	土師器 杯	口径 器高	15.5 3.3	口：ヨコナデ、外：ナデ・オサエ、 内：ナデ	密	良	内外：橙5ＹＲ7／8	完形		Ｒ582
38	ＳＫ8088	土師器 杯	口径 器高	15.6 3.4	口：ヨコナデ、外：ナデ・オサエ、 内：ナデ	密	良	外：明赤褐2.5ＹＲ5／6 内：明赤褐2.5ＹＲ5／8	7／10		Ｒ564
39	ＳＫ8088	土師器 杯	口径 器高	16.0 3.0	口：ヨコナデ、外：ナデ・オサエ、 内：ナデ	密	良	外：橙5ＹＲ6／6、にぶい黄橙10ＹＲ7／3 内：橙5ＹＲ6／6	4／5		Ｒ661
40	ＳＫ8088	土師器 杯	口径 器高	15.2 3.1	口：ヨコナデ、外：ナデ・オサエ、 内：ナデ	密	良	外：明赤褐2.5ＹＲ5／8 内：橙2.5ＹＲ6／8	7／10		Ｒ593
41	ＳＫ8088	土師器 杯	口径 器高	14.9 3.5	口：ヨコナデ、外：ナデ・オサエ、 内：ナデ	密	良	外：橙5ＹＲ6／8 内：明赤褐5ＹＲ5／8	9／10		Ｒ556
42	ＳＫ8088	土師器 杯	口径 器高	15.0 3.2	口：ヨコナデ、外：ナデ・オサエ、 内：ナデ	密	やや 粗	内外：明赤褐5ＹＲ5／6	3／5		Ｒ673
43	ＳＫ8088	土師器 杯	口径 器高	15.3 3.6	口：ヨコナデ、外：ナデ・オサエ、 内：ナデ	密	良	外：明赤褐5ＹＲ5／6 内：明赤褐5ＹＲ5／6～浅黄橙10ＹＲ8／4	3／5		Ｒ604
44	ＳＫ8088	土師器 杯	口径 器高	14.5 3.2	口：ヨコナデ、外：ナデ・オサエ、 内：ナデ	密	良	外：明赤褐5ＹＲ5／6～橙5ＹＲ6／6 内：明赤褐5ＹＲ5／6	完形	底外：茶褐色の付着物	Ｒ568
45	ＳＫ8088	土師器 杯	口径 器高	15.8 3.5	口：ヨコナデ、外：ナデ・オサエ、 内：ナデ	密	良	内外：橙5ＹＲ7／6	4／5		Ｒ645
46	ＳＫ8088	土師器 杯	口径 器高	14.6 3.5	口：ヨコナデ、外：ナデ・オサエ、 内：ナデ	密	良	内外：浅黄橙7.5ＹＲ8／4	完形		Ｒ674
47	ＳＫ8088	土師器 杯	口径 器高	14.4 3.0	口：ヨコナデ、外：ナデ・オサエ、 内：ナデ	密	良	内外：明赤褐5ＹＲ5／6～灰5Y4／1	3／5	底：上から径5㎜の焼成後穿孔	Ｒ602
48	ＳＫ8088	土師器 杯	口径 器高	12.4 3.3	口：ヨコナデ、外：ナデ・オサエ、 内：ナデ	密	良	外：にぶい褐7.5ＹＲ5／4～橙7.5ＹＲ7／6 内：にぶい黄橙10ＹＲ7／4	1／2	いなか椀系	Ｒ572
49	ＳＫ8088	土師器 杯	口径 器高	12.2 3.2	口：ヨコナデ、外：ナデ・オサエ、 内：ナデ	密	良	内外：浅黄橙10ＹＲ8／3	7／10	外：粘土接合痕	Ｒ536
50	ＳＫ8088	土師器 杯	口径 器高	12.7 2.8	口：ヨコナデ、外：ナデ・オサエ、 内：ナデ	密	良	外：橙7.5ＹＲ7／6 内：橙7.5ＹＲ6／6	ほぼ 完形		Ｒ595

報告書番号	出土遺構	器種	計測値(cm)		調整・技法の特徴	胎土	焼成	色調	残存度	備考	登録番号
51	SK8088	土師器杯	口径 器高	13.6 3.4	口：ヨコナデ、外：ナデ・オサエ、 内：ナデ	密	良	外：にぶい橙7.5YR7／4～灰白2.5YR8／2 内：にぶい橙7.5YR7／4～灰白10YR8／2	3／5		R551
52	SK8088	土師器杯	口径 器高	13.1 3.2	口：ヨコナデ、外：ナデ・オサエ、 内：ナデ	密	良	内外：橙5YR6／6	7／10	外：損耗	R563
53	SK8088	土師器杯	口径 器高	12.0 3.0	口：ヨコナデ、外：平滑なナデ、 内：ナデ	密	良	内外：灰白10YR8／2	完形		R558
54	SK8088	土師器杯	口径 器高	10.4 2.8	口：ヨコナデ、外：ナデ・オサエ、 内：ナデ	密	良	内外：明赤褐5YR5／6	4／5		R651
55	SK8088	土師器杯	口径 器高	12.2 3.0	口：ヨコナデ、外：ナデ・オサエ、 内：ナデ	密	良	内外：橙5YR6／8	完形		R801
56	SK8088	土師器杯	口径 器高	12.4 3.0	口：ヨコナデ、外：ナデ・オサエ、 内：ナデ	密	良	内外：橙5YR6／6	完形		R800
57	SK8088	土師器杯	口径 器高	12.8 3.0	口：ヨコナデ、外：ナデ・オサエ、 内：ナデ	密	良	外：橙7.5YR7／6、にぶい黄褐10YR5／4 内：橙7.5YR7／6、灰黄褐10YR4／2	完形		R627
58	SK8088	土師器杯	口径 器高	12.9 3.0	口：ヨコナデ、外：ナデ・オサエ、 内：ナデ	密	良	内外：橙5YR6／6	4／5		R513
59	SK8088	土師器杯	口径 器高	13.0 3.0	口：ヨコナデ、外：ナデ・オサエ、 内：ナデ	密	良	内外：明赤褐5YR5／4	ほぼ完形		R619
60	SK8088	土師器杯	口径 器高	12.5 3.2	口：ヨコナデ、外：ナデ・オサエ、 内：ナデ	密	良	内外：橙7.5YR7／6	完形		R628
61	SK8088	土師器杯	口径 器高	12.4 3.5	口：ヨコナデ、外：ナデ・オサエ、 内：ナデ	密	良	内外：橙2.5YR	9／10		R793
62	SK8088	土師器杯	口径 器高	13.4 3.5	口：ヨコナデ、外：ナデ・オサエ、 内：ナデ	密	良	内外：明赤褐2.5YR5／8	4／5		R620
63	SK8088	土師器杯	口径 器高	13.0 3.8	口：ヨコナデ、外：ナデ・オサエ、 内：ナデ	密	良	内外：橙5YR6／8	ほぼ完形		R626
64	SK8088	土師器杯	口径 器高	13.8 3.5	口：ヨコナデ、外：ナデ・オサエ、 内：ナデ	密	良	内外：灰黄褐10YR5／2、にぶい黄橙10YR7／3、橙7.5YR7／6	9／10		R638
65	SK8088	土師器杯	口径 器高	13.4 3.2	口：ヨコナデ、外：ナデ・オサエ、 内：ナデ	密	良	内外：橙5YR6／8、にぶい黄橙10YR7／3	完形		R667
66	SK8088	土師器杯	口径 器高	13.6 3.2	口：ヨコナデ、外：ナデ・オサエ、 内：ナデ	密	良	内外：橙5YR6／6	完形		R640
67	SK8088	土師器杯	口径 器高	13.6 3.0	口：ヨコナデ、外：ナデ・オサエ、 内：ナデ	やや粗	良	内外：橙5YR7／8	4／5		R622
68	SK8088	土師器杯	口径 器高	13.3 3.0	口：ヨコナデ、外：ナデ・オサエ、 内：ナデ	密	良	内外：明赤褐5YR5／8、橙7.5YR7／6	9／10		R678
69	SK8088	土師器杯	口径 器高	13.9 3.4	口：ヨコナデ、外：ナデ・オサエ、 内：ナデ	密	良	内外：橙5YR6／6	3／5		R603
70	SK8088	土師器杯	口径 器高	13.6 3.2	口：ヨコナデ、外：ナデ・オサエ、 内：ナデ	密	良	内外：橙7.5YR7／6	4／5		R663
71	SK8088	土師器杯	口径 器高	13.4 3.2	口：ヨコナデ、外：ナデ・オサエ、 内：ナデ	密	良	内外：橙7.5YR7／6	4／5		R681
72	SK8088	土師器杯	口径 器高	13.4 3.5	口：ヨコナデ、外：ナデ・オサエ、 内：ナデ	密	良	内外：橙5YR6／6、にぶい黄橙10YR7／2、暗灰N3／0	完形		R635
73	SK8088	土師器杯	口径 器高	13.5 3.4	口：ヨコナデ、外：ナデ・オサエ、 内：ナデ	密	良	内外：橙5YR6／8	完形		R522
74	SK8088	土師器杯	口径 器高	13.0 3.0	口：ヨコナデ、外：ナデ・オサエ、 内：ナデ	密	良	内外：にぶい黄橙10YR7／3	7／10		R646
75	SK8088	土師器杯	口径 器高	13.3 2.8	口：ヨコナデ、外：ナデ・オサエ、 内：ナデ	密	良	内外：浅黄橙7.5YR8／4	9／10		R647
76	SK8088	土師器杯	口径 器高	13.0 2.7	口：ヨコナデ、外：ナデ・オサエ、 内：ナデ	密	良	外：橙5YR7／6、橙7.5YR7／6 内：橙5YR7／6、灰5Y5／1	7／10		R655
77	SK8088	土師器杯	口径 器高	13.8 2.5	口：ヨコナデ、外：ナデ・オサエ、 内：ナデ	密	良	内外：橙5YR6／6	4／5		R792
78	SK8088	土師器杯	口径 器高	14.0 3.0	口：ヨコナデ、外：ナデ・オサエ、 内：ナデ	密	良	内外：にぶい褐7.5YR6／3	4／5		R514
79	SK8088	土師器杯	口径 器高	16.7 4.0	口：ヨコナデ、外：ナデ・オサエ、 内：ナデ	密	良	内外：明赤褐2.5YR5／6	4／5		R530
80	SK8088	土師器杯	口径 器高	16.7 4.2	口：ヨコナデ、外：ナデ・オサエ、 内：ナデ	密	良	内外：橙5YR6／6～浅黄橙10YR8／3	ほぼ完形		R533
81	SK8088	土師器杯	口径 器高	13.0 3.2	口：ヨコナデ、外：ナデ・オサエ、 内：ナデ	密	良	外：明赤褐2.5YR5／8～浅黄橙7.5YR8／4 内：明赤褐5YR5／6	完形		R557
82	SK8088	土師器杯	口径 器高	12.7 3.0	口：ヨコナデ、外：ナデ・オサエ、 内：ナデ	密	良	外：明赤褐5YR5／6 内：明赤褐5YR5／6～浅黄橙10YR8／3	完形	内：被熱による亀裂	R532
83	SK8088	土師器杯	口径 器高	13.3 3.0	口：ヨコナデ、外：ナデ・オサエ、 内：ナデ	やや粗	良	内外：明赤褐2.5YR5／8	ほぼ完形		R641
84	SK8088	土師器杯	口径 器高	12.9 3.3	口：ヨコナデ、外：ナデ・オサエ、 内：ナデ	密	良	内外：橙7.5YR6／6	7／10		R594
85	SK8088	土師器杯	口径 器高	12.7 3.3	口：ヨコナデ、外：ナデ・オサエ、 内：ナデ	密	良	内外：浅黄橙10YR8／3	完形	底外：黒斑	R544
86	SK8088	土師器杯	口径 器高	12.5 3.1	口：ヨコナデ、外：ナデ・オサエ、 内：ナデ	密	やや甘	外：橙7.5YR7／6 内：浅黄橙7.5YR8／6	完形	損耗	R547
87	SK8088	土師器杯	口径 器高	13.5 3.4	口：ヨコナデ、外：ナデ・オサエ、 内：ナデ	密	良	外：橙7.5YR7／6 内：浅黄橙10YR8／4	完形		R534
88	SK8088	土師器杯	口径 器高	12.8 3.1	口：ヨコナデ、外：ナデ・オサエ、 内：ナデ	密	良	外：浅黄橙10YR8／4 内：浅黄橙7.5Y8／4	完形	摩耗 外：剥離	R538
89	SK8088	土師器杯	口径 器高	12.8 3.1	口：ヨコナデ、外：ナデ・オサエ、 内：ナデ	密	やや甘	外：明赤褐5YR5／8～浅黄橙7.5YR8／6 内：橙5YR6／8	完形	損耗	R548
90	SK8088	土師器杯	口径 器高	13.2 3.3	口：ヨコナデ、外：ナデ・オサエ、 内：ナデ	密	良	内外：橙7.5YR6／6	4／5		R600
91	SK8088	土師器杯	口径 器高	13.3 3.4	口：ヨコナデ、外：ナデ・オサエ、 内：ナデ	密	良	外：にぶい橙7.5YR7／3 内：灰褐7.5YR5／2	9／10		R526
92	SK8088	土師器杯	口径 器高	12.9 3.4	口：ヨコナデ、外：ナデ・オサエ、 内：ナデ	密	良	内外：明赤褐5YR5／6	完形		R560
93	SK8088	土師器杯	口径 器高	12.9 3.5	口：ヨコナデ、外：ナデ・オサエ、 内：ナデ	密	良	内外：明赤褐5YR5／8	完形		R546
94	SK8088	土師器杯	口径 器高	13.5 3.6	口：ヨコナデ、外：ナデ・オサエ、 内：ナデ	密	良	外：橙5YR6／6 内：橙5YR6／6～浅黄橙7.5YR8／3	完形	亀裂 外：粘土接合痕	R590
95	SK8088	土師器蓋	口径 器高	21.0 4.6	口：ヨコナデ、外：ヘラミガキ、 内：ナデ、ツマミ貼付ナデ	密	良	内外：橙5YR6／6	2／5	外：摩滅 内：不鮮明な螺旋暗文	R802
96	SK8088	土師器皿	口径 器高	17.2 2.1	口：ヨコナデ、外：ナデ・オサエ、 内：ナデ	密	良	内外：橙7.5YR6／6	4／5		R549
97	SK8088	土師器杯	口径 器高	15.4 2.5	口：ヨコナデ、外：ナデ・オサエ、 内：ナデ	密	良	内外：橙2.5YR6／8	7／10		R633
98	SK8088	土師器皿	口径 器高	16.8 2.5	口：ヨコナデ、外：ナデ・オサエ、 内：ナデ	密	良	内外：橙5YR6／6	9／10		R618
99	SK8088	土師器皿	口径 器高	17.4 2.2	口：ヨコナデ、外：ナデ・オサエ、 内：ナデ	密	良	内外：橙5YR6／6	完形	底内：黒化部分	R539
100	SK8088	土師器皿	口径 器高	18.0 2.1	口：ヨコナデ、外：ナデ・オサエ、 内：ナデ	密	良	内外：橙5YR6／6	2／5		R607
101	SK8088	土師器皿	口径 器高	16.5 2.7	口：ヨコナデ、外：ナデ・オサエ、 内：ナデ	密	良	内外：橙7.5YR7／6	完形		R555
102	SK8088	土師器皿	口径 器高	16.6 2.6	口：ヨコナデ、外：ナデ・オサエ、 内：ナデ	密	良	内外：明赤褐5YR5／6	4／5		R550
103	SK8088	土師器皿	口径 器高	16.4 2.5	口：ヨコナデ、外：ナデ・オサエ、 内：ナデ	密	良	内外：浅黄橙7.5YR8／4、橙5YR6／8	7／10		R621

報告書番号	出土遺構	器種	計測値(cm)		調整・技法の特徴	胎土	焼成	色調	残存度	備考	登録番号
104	SK8088	土師器皿	口径 器高	17.0 2.2	口：ヨコナデ、外：ナデ・オサエ、内：ナデ	密	良	内外：橙5YR6／8	9／10		R519
105	SK8088	土師器皿	口径 器高	16.6 2.2	口：ヨコナデ、外：ナデ・オサエ、内：ナデ	密	良	内外：橙2.5YR6／8	7／10		R650
106	SK8088	土師器皿	口径 器高	17.0 2.2	口：ヨコナデ、外：ナデ・オサエ、内：ナデ	密	良	内外：橙5YR6／6	2／5		R796
107	SK8088	土師器皿	口径 器高	17.0 2.0	口：ヨコナデ、外：ナデ・オサエ、内：ナデ	密	良	外：橙7.5YR7／6、灰褐7.5YR6／2 内：橙7.5YR7／6、褐灰7.5YR5／1、灰褐7.5YR6／2	1／2	底：穿孔	R672
108	SK8088	土師器皿	口径 器高	18.0 1.9	口：ヨコナデ、外：ナデ・オサエ、内：ナデ	密	良	内外：明赤褐5YR5／6	1／2		R608
109	SK8088	土師器皿	口径 器高	16.4 2.0	口：ヨコナデ、外：ナデ・オサエ、内：ナデ	密	良	外：橙7.5YR7／6、明赤褐2.5YR5／8、橙7.5YR6／6 内：橙7.5YR6／6	9／10		R670
110	SK8088	土師器皿	口径 器高	17.6 2.0	口：ヨコナデ、外：ナデ・オサエ、内：ナデ	密	良	内外：橙5YR6／6	7／10		R652
111	SK8088	土師器皿	口径 器高	17.0 2.4	口：ヨコナデ、外：ナデ・オサエ、内：ナデ	密	良	内外：橙5YR6／8	完形		R540
112	SK8088	土師器皿	口径 器高	16.0 2.0	口：ヨコナデ、外：ナデ・オサエ、内：ナデ	密	良	内外：浅黄橙7.5YR8／4	完形		R662
113	SK8088	土師器皿	口径 器高	16.8 2.0	口：ヨコナデ、外：ナデ・オサエ、内：ナデ	密	良	内外：橙5YR6／8	7／10		R679
114	SK8088	土師器皿	口径 器高	16.2 2.0	口：ヨコナデ、外：ナデ・オサエ、内：ナデ	密	良	内外：にぶい黄橙7.5YR7／4	3／5		R597
115	SK8088	土師器皿	口径 器高	16.8 1.7	口：ヨコナデ、外：ナデ・オサエ、内：ナデ	密	良	内外：橙5YR6／6	4／5		R653
116	SK8088	土師器皿	口径 器高	15.3 2.0	口：ヨコナデ、外：ナデ・オサエ、内：ナデ	密	良	内外：橙5YR7／6	完形		R517
117	SK8088	土師器皿	口径 器高	16.2 2.2	口：ヨコナデ、外：ナデ・オサエ、内：ナデ	密	良	内外：橙5YR6／6	3／5		R561
118	SK8088	土師器皿	口径 器高	17.3 2.2	口：ヨコナデ、外：ナデ・オサエ、内：ナデ	密	良	内外：明赤褐5YR5／6	ほぼ完形		R598
119	SK8088	土師器皿	口径 器高	15.0 2.2	口：ヨコナデ、外：ナデ・オサエ、内：ナデ	密	良	外：橙5YR6／6 内：にぶい黄橙10YR7／3	完形	底外：剥離、大きなクラック２ヵ所	R599
120	SK8088	土師器皿	口径 器高	14.0 2.0	口：ヨコナデ、外：ナデ・オサエ、内：ナデ	密	良	内外：明赤褐5YR5／6	3／10	底：穿孔	R671
121	SK8088	土師器杯	口径 器高	13.4 2.2	口：ヨコナデ、外：ナデ・オサエ、内：ナデ	密	良	内外：橙5YR6／6	7／10		R668
122	SK8088	土師器皿	口径 器高	14.8 2.3	口：ヨコナデ、外：ナデ・オサエ、内：ナデ	密	良	内外：橙5YR6／8	9／10		R520
123	SK8088	土師器皿	口径 器高	15.5 2.3	口：ヨコナデ、外：ナデ・オサエ、内：ナデ					底：焼成後穿孔	R850
124	SK8088	土師器皿	口径 器高	14.0 2.0	口：ヨコナデ、外：ナデ・オサエ、内：ナデ	密	良	内外：橙5YR6／6	完形		R631
125	SK8088	土師器皿	口径 器高	14.4 1.8	口：ヨコナデ、外：ナデ・オサエ、内：ナデ	密	良	内外：橙5YR6／8	7／10		R666
126	SK8088	土師器皿	口径 器高	14.6 2.0	口：ヨコナデ、外：ナデ・オサエ、内：ナデ	密	良	外：橙2.5YR6／8 内：橙2.5YR6／8、にぶい黄橙2.5YR7／3	4／5		R632
127	SK8088	土師器皿	口径 器高	14.5 2.3	口：ヨコナデ、外：ナデ・オサエ、内：ナデ	密	良	内外：橙5YR6／8	ほぼ完形		R625
128	SK8088	土師器皿	口径 器高	14.8 2.2	口：ヨコナデ、外：ナデ・オサエ、内：ナデ	密	良	内外：橙2.5YR6／8	4／5		R521
129	SK8088	土師器皿	口径 器高	15.0 2.0	口：ヨコナデ、外：ナデ・オサエ、内：ナデ	密	良	内外：にぶい黄橙10YR7／3	3／5		R656
130	SK8088	土師器皿	口径 器高	14.0 2.3	口：ヨコナデ、外：ナデ・オサエ、内：ナデ	密	良	内外：橙2.5YR6／8	3／5		R629
131	SK8088	土師器杯	口径 器高	14.3 2.0	口：ヨコナデ、外：ナデ・オサエ、内：ナデ	密	良	外：明赤褐5YR5／6、にぶい橙7.5YR7／4、浅黄橙7.5YR8／4 内：橙5YR6／6、浅黄橙7.5YR8／4、橙.5YR7／6	完形		R682
132	SK8088	土師器皿	口径 器高	14.4 2.0	口：ヨコナデ、外：ナデ・オサエ、内：ナデ	密	良	内外：橙5YR6／8、橙7.5YR6／6	ほぼ完形		R617
133	SK8088	土師器皿	口径 器高	14.7 2.0	口：ヨコナデ、外：ナデ・オサエ、内：ナデ	密	良	内外：橙5YR6／6	9／10		R659
134	SK8088	土師器皿	口径 器高	15.2 2.0	口：ヨコナデ、外：ナデ・オサエ、内：ナデ	密	良	外：橙5YR6／8 内：橙5YR6／6	完形	ゆがみ・摩耗	R53
135	SK8088	土師器皿	口径 器高	14.8 2.3	口：ヨコナデ、外：ナデ・オサエ、内：ナデ	密	良	外：にぶい橙7.5YR7／4、明赤褐5YR5／6 内：橙7.5YR6／6、にぶい黄橙10YR7／4	4／5		R676
136	SK8088	土師器皿	口径 器高	15.0 2.3	口：ヨコナデ、外：ナデ・オサエ、内：ナデ	密	良	内外：橙7.5YR7／6	3／10		R794
137	SK8088	土師器皿	口径 器高	14.8 2.2	口：ヨコナデ、外：ナデ・オサエ、内：ナデ	密	良	内外：明赤褐5YR5／6	3／5		R680
138	SK8088	土師器皿	口径 器高	15.0 2.0	口：ヨコナデ、外：ナデ・オサエ、内：ナデ	密	良	外：橙7.5YR6／6 内：橙5Y6／8	9／10		R516
139	SK8088	土師器皿	口径 器高	14.8 2.2	口：ヨコナデ、外：ナデ・オサエ、内：ナデ	密	良	内外：橙5YR6／8	3／5		R637
140	SK8088	土師器皿	口径 器高	15.2 2.4	口：ヨコナデ、外：ナデ・オサエ、内：ナデ	密	良	外：にぶい黄橙10YR7／3 内：にぶい黄橙10YR7／4	4／5		R580
141	SK8088	土師器皿	口径 器高	15.7 1.9	口：ヨコナデ、外：ナデ・オサエ、内：ナデ	密	良	外：橙5YR6／6 内：橙5YR6／6、褐灰5YR5／1	完形		R669
142	SK8088	土師器皿	口径 器高	15.0 1.7	口：ヨコナデ、外：ナデ・オサエ、内：ナデ	密	良	外：橙5YR7／6 内：橙5YR6／8	完形		R559
143	SK8088	土師器皿	口径 器高	15.3 1.8	口：ヨコナデ、外：ナデ・オサエ、内：ナデ	密	良	内外：明赤褐5YR5／6	4／5		R644
144	SK8088	土師器皿	口径 器高	15.5 2.2	口：ヨコナデ、外：ナデ・オサエ、内：ナデ	密	良	外：橙5YR6／6～にぶい橙7.5YR7／3 内：橙5YR6／6～赤橙10R6／6	4／5	内：二次焼成による赤化	R531
145	SK8088	土師器皿	口径 器高	16.2 1.7	口：ヨコナデ、外：ナデ・オサエ、内：ナデ	密	良	内外：橙7.5YR7／6	完形		R649
146	SK8088	土師器皿	口径 器高	15.6 1.7	口：ヨコナデ、外：ナデ・オサエ、内：ナデ	密	良	外：橙.5YR7／6 内：橙5YR6／8、橙.5YR7／6	完形		R677
147	SK8088	土師器皿	口径 器高	16.4 2.2	口：ヨコナデ、外：ナデ・オサエ、内：ナデ	密	良	内外：橙5YR6／8、浅黄橙7.5YR8／4	9／10		R624
148	SK8088	土師器皿	口径 器高	16.6 2.0	口：ヨコナデ、外：ナデ・オサエ、内：ナデ	密	良	内外：橙5YR6／6	9／10		R657
149	SK8088	土師器皿	口径 器高	16.6 1.5	口：ヨコナデ、外：ナデ・オサエ、内：ナデ	密	良	内外：にぶい橙7.5YR7／3、橙7.5YR6／6	3／10		R799
150	SK8088	土師器皿	口径 器高	16.6 1.8	口：ヨコナデ、外：ナデ・オサエ、内：ナデ	密	良	内外：橙5YR6／8	2／5		R797
151	SK8088	土師器皿	口径 器高	13.5 2.4	口：ヨコナデ、外：ナデ・オサエ、内：ナデ	密	良	外：明赤褐5YR5／6 内：橙7.5YR7／6	3／5		R605
152	SK8088	土師器皿	口径 器高	14.5 2.2	口：ヨコナデ、外：ナデ・オサエ、内：ナデ	密	良	外：橙7.5YR7／6 内：にぶい黄橙10YR7／4	完形	外：摩耗、二次的な被熱	R542
153	SK8088	土師器皿	口径 器高	14.2 2.2	口：ヨコナデ、外：ナデ・オサエ、内：ナデ	密	良	内外：橙5YR6／8、浅黄橙7.5YR8／6	4／5		R636
154	SK8088	土師器皿	口径 器高	14.3 2.2	口：ヨコナデ、外：ナデ・オサエ、内：ナデ	密	良	外：橙5YR6／8 内：橙7.5YR7／6	完形		R581
155	SK8088	土師器皿	口径 器高	14.6 2.3	口：ヨコナデ、外：ナデ・オサエ、内：ナデ	密	良	外：橙7.5YR7／6 内：橙5YR6／6	1／2	底外：乾燥時の擦痕	R591

報告書番号	出土遺構	器種	計測値(cm)		調整・技法の特徴	胎土	焼成	色調	残存度	備考	登録番号
156	SK8088	土師器 皿	口径 器高	14.6 2.2	口：ヨコナデ、外：ナデ・オサエ、 内：ナデ	密	良	内外：橙5YR6／8	ほぼ完形		R675
157	SK8088	土師器 皿	口径 器高	14.1 2.2	口：ヨコナデ、外：ナデ・オサエ、 内：ナデ	密	良	内外：橙7.5YR7／6	ほぼ完形		R515
158	SK8088	土師器 皿	口径 器高	14.0 2.1	口：ヨコナデ、外：ナデ・オサエ、 内：ナデ	密	良	外：明赤褐5YR5／6～にぶい黄橙10YR7／3 内：明赤褐5YR5／6	3／5		R606
159	SK8088	土師器 皿	口径 器高	14.3 2.4	口：ヨコナデ、外：ナデ・オサエ、 内：ナデ	密	良	外：明赤褐2.5YR5／6 内：橙5YR6／8 黒化部分：赤灰2.5YR4／1	ほぼ完形	底内：黒化部分	R552
160	SK8088	土師器 皿	口径 器高	14.2 2.1	口：ヨコナデ、外：ナデ・オサエ、 内：ナデ	密	良	内外：橙5YR6／8	4／5		R541
161	SK8088	土師器 杯	口径 器高	14.0 2.5	口：ヨコナデ、外：ナデ・オサエ、 内：ナデ	密	良	内外：にぶい褐7.5YR6／3	7／10		R654
162	SK8088	土師器 皿	口径 器高	15.4 2.4	口：ヨコナデ、外：ナデ・オサエ、 内：ナデ	密	良	内外：橙5YR6／6	4／5		R554
163	SK8088	土師器 皿	口径 器高	15.0 2.4	口：ヨコナデ、外：ナデ・オサエ、 内：ナデ	密	良	内外：橙7.5YR6／6	完形		R579
164	SK8088	土師器 皿	口径 器高	18.0 2.0	口：ヨコナデ、外：ナデ・オサエ、 内：ナデ	密	良	内外：橙7.5YR7／6	2／5		R795
165	SK8088	土師器 皿	口径 器高	17.0 2.0	口：ヨコナデ、外：ナデ・オサエ、 内：ナデ	密	良	内外：橙7.5YR7／6	ほぼ完形		R623
166	SK8088	土師器 皿	口径 器高	16.9 2.2	口：ヨコナデ、外：ナデ・オサエ、 内：ナデ	密	良	内外：橙5YR6／6	4／5	外：損耗	R562
167	SK8088	土師器 皿	口径 器高	150 2.3	口：ヨコナデ、外：ナデ・オサエ、 内：ナデ	密	良	内外：橙2.5YR6／8	9／10		R791
168	SK8088	土師器 皿	口径	14.5 ～	口：ヨコナデ、外：ナデ・オサエ、 内：ナデ	密	良	外：浅黄橙7..5YR8／4 内：橙5YR7／6	3／5	外：損耗 内：やや赤化	R566
169	SK8088	土師器 皿	口径 器高	14.4 2.5	口：ヨコナデ、外：ナデ・オサエ、 内：ナデ	密	良	外：浅黄橙7.5YR8／4 内：橙7.5YR7／6	ほぼ完形	摩耗	R578
170	SK8088	土師器 皿	口径 器高	14.6 ～ 15.5	口：ヨコナデ、外：ナデ・オサエ、 内：ナデ	密	良	外：明赤褐2.5YR5／8 内：明赤褐5YR5／8	完形		R567
171	SK8088	土師器 皿	口径 器高	15.2 3.2	口：ヨコナデ、外：ナデ・オサエ、 内：ナデ	密	良	外：橙5YR6／6 内：橙5YR6／8	完形		R565
172	SK8088	土師器 平底鉢	口径 器高	25.7 9.2	口：ヨコナデ、体外：タテハケ、 底外：ヘラケズリ、内：ナデ	密	良	外：にぶい黄橙10YR7／4 内：にぶい黄橙10YR7／3	3／5	タテハケ：3本／cm	R576
173	SK8088	土師器 甕	口径	28.4	口：ヨコナデ、外：タテハケ、 内：ヨコハケ	密	良	内外：灰白2.5Y8／2	□30	タテハケ：4本／cm ヨコハケ：3本／cm	R586
174	SK8088	土師器 甕	口径	29.0	口：ヨコナデ、内外：ヘラミガキ	密	良	内外：にぶい黄褐10YR4／3	□10		R798
175	SK8088	土師器 長胴甕	口径	31.0	口：ヨコナデ、外：タテハケ 内：ヨコハケ	密	良	内外：浅黄橙10YR8／3	1／3	タテ・ヨコハケ4本／cm	R524
176	SK8088	土師器 甕	口径	21.0	口：ヨコナデ、体外上：タテハケ、 体外下：不定方向ハケ、 内：ヨコハケ	密	良	外：浅黄橙10YR8／3 内：浅黄橙10YR8／4	□25	タテハケ：3本／cm 不定・ヨコハケ：6本／cm 体外下：一部黒色物付着	R574
177	SK8088	土師器 甕	口径	18.3	口：ヨコナデ、外：タテハケ、 内：ヨコハケ	密	良	外：浅黄橙10YR8／3 内：淡黄2.5YR8／3	□65	タテハケ：3～4本／cm ヨコハケ：4本／cm 外：二次焼成でややもろい	R587
178	SK8088	土師器 甕	口径	17.2	口：ヨコナデ、体外上：タテハケ、 体外下：ヘラケズリ、内：ヨコハケ	密	良	外：橙5YR7／6～にぶい赤褐2.5YR4／4 内：明褐7.5YR5／6	□40	タテ・ヨコハケ：4本／cm 体外上：煤付着 外：二次焼成で赤変もろい	R577
179	SK8088	土師器 甕	口径	16.3	口：ヨコナデ、外：タテハケ、 内：ヨコハケ	密	良	外：にぶい黄橙10YR7／4～灰黄褐10YR5／2 内：灰白10YR8／2～褐灰10YR4／1	□30	タテ・ヨコハケ：3本／cm	R588
180	SK8088	土師器 甕	口径	17.5	口：ヨコナデ、外：タテハケ 内：板ナデ	密	良	外：灰白10YR8／2 内：浅黄橙10YR8／3	1／4	タテハケ4本／cm	R525
181	SK8088	土師器 甕	口径	17.4	口：ヨコナデ、体外上：タテハケ、 体外下：ケズリ、内：ヨコハケ	密	良	外：にぶい橙7.5YR7／4～赤橙10YR6／6 内：灰白10YR8／2	□30	タテハケ：3本／cm ヨコハケ：2本／cm 外：赤変	R575
182	SK8088	土師器 カマド	口径	23.3		密	やや軟	内外：褐灰10YR5／1	2／5		R601
183	SK8088	須恵器 杯	口径	16.3	ロクロナデ	密	良	内外：灰5Y6／1	□15		R573
184	SK8088	須恵器 高台付杯	口径 高台径 器高	16.2 11.2 5.0	内外：ロクロナデ、底外：ロクロケズリ、 底内：ナデ、高台貼付ナデ	密	良	内外：灰白5Y7／1	1／2		R615
185	SK8088	須恵器 盤	口径	18.7	口～内：ロクロナデ、外：ロクロケズリ	密	良	外：灰N6／ 内：灰白5Y7／1	3／10	ロクロ右回転	R611
186	SK8088	須恵器 盤	口径	21.6	口～内：ロクロナデ、外：ロクロケズリ	密	良	内外：灰白5Y7／1	□25	ロクロ右回転	R616
187	SK8088	須恵器 蓋	口径 器高	13.7 4.0	口～内：ロクロナデ、外：ロクロケズリ、 ツマミ貼付ナデ、外：釉	やや密	良	内：灰黄2.5Y6／2 外(釉)：灰オリーブ5Y6／2	1／2	ロクロ右回転 外：自然釉、付着物	R609
188	SK8088	須恵器 蓋	口径	15.4	口：ロクロナデ、外：ロクロケズリ、 内：ロクロナデ	やや密	良	内外：灰黄2.5Y6／2	1／5	口：灰カブリ	R683
189	SK8088	須恵器 蓋	口径	16.4	口～内：ロクロナデ、外：ロクロケズリ	密	良	内外：灰白5Y7／1	1／5	ロクロ右回転 口：灰カブリ	R610
190	SK8088	須恵器 蓋	口径 器高	18.3 3.3	口～内：ロクロナデ、外：ロクロケズリ、 内中央：ナデ、ツマミ貼付ナデ	密	良	外：灰N6／ 内：灰白5Y7／1	1／2	ロクロ右回転	R613
191	SK8088	須恵器 蓋	口径 器高	22.2 3.3	口～内：ロクロナデ、外：ロクロケズリ、 内中央：ナデ、ツマミ貼付ナデ	密	良	内外：灰黄2.5Y7／2	3／10	ロクロ右回転	R612
192	SK8088	灰釉陶器 細頸壺	口径	9.2	内外：ロクロナデ、釉	やや密	良	内外：灰白2.5Y7／1 釉：灰オリーブ7.5Y4／2	□30		R614
193	SK8088	須恵器 甕	口径	45.4	口：ヨコナデ、外：平行タタキ目(ヨコのちタテ)、内：同心円タタキ目	密	良	内外：灰白5Y7／1	□25	内下：ややすり消し	R523
194	SK8084	土師器 杯	口径 器高	12.6 2.7	口：ヨコナデ、外：ナデ・オサエ、 内：ナデ	やや密	良	内外：橙7.5YR7／6～にぶい黄褐10YR5／3、 (口一部)橙5YR6／6	3／4		R706
195	SK8084	土師器 杯	口径 器高	12.5 2.7	口：ヨコナデ、外：ナデ・オサエ、 内：ナデ	やや密	良	内外：橙5YR6／6～灰褐5YR5／2、 黄灰2.5Y5／1	ほぼ完形		R696
196	SK8084	土師器 杯	口径 器高	12.4 2.9	口：ヨコナデ、外：ナデ・オサエ、 内：ナデ	密	良	外：橙2.5YR6／6 内：橙5YR6／6	1／2		R703
197	SK8084	土師器 杯	口径 器高	13.2 2.6	口：ヨコナデ、外：ナデ・オサエ、 内：ナデ	粗	やや軟	内外：橙2.5YR6／8	9／10		R711
198	SK8084	土師器 杯	口径	12.4	口：ヨコナデ、外：ナデ・オサエ、 内：ナデ	密	良	内外：橙2.5YR7／8～灰黄褐10YR6／2	1／2		R714
199	SK8084	土師器 杯	口径 器高	13.2 2.8	口：ヨコナデ、外：ナデ・オサエ、 内：ナデ	粗	良	内外：にぶい黄橙10YR7／4～橙7.5YR7／6	ほぼ完形		R712
200	SK8084	土師器 杯	口径 器高	14.5 3.1	口：ヨコナデ、外：ナデ・オサエ、 内：ナデ	密	良	外：灰黄褐10YR6／2、(口一部)橙5YR6／6 内：にぶい黄橙10YR6／4	1／2		R700
201	SK8084	土師器 杯	口径 器高	15.7 2.9	口：ヨコナデ、外：ナデ・オサエ、 内：ナデ	密	良	内外：橙5YR6／6、(内底)褐灰10YR5／1	7／10		R701

報告番号	出土遺構	器種	計測値(cm)		調整・技法の特徴	胎土	焼成	色調	残存度	備考	登録番号
202	SK8084	土師器杯	口径 器高	14.7 3.4	口：ヨコナデ、外：ナデ・オサエ、 内：ナデ	密	良	外：にぶい褐7.5YR6／3 内：にぶい橙7.5YR6／4、橙2.5YR7／6	1／2		R699
203	SK8084	土師器杯	口径 器高	14.4 3.2	口：ヨコナデ、外：ナデ・オサエ、 内：ナデ	やや密	良	外：橙2.5YR7／6、黄灰2.5YR5／1 内：にぶい橙5YR6／4	1／2		R704
204	SK8084	土師器杯	口径 器高	12.9 3.1	口：ヨコナデ、外：ナデ・オサエ、 内：ナデ	やや密	良	外：橙5YR6／6、にぶい褐7.5YR5／3 内：にぶい橙7.5YR6／4	ほぼ完形		R695
205	SK8084	土師器杯	口径 器高	13.3 3.0	口：ヨコナデ、外：ナデ・オサエ、 内：ナデ	やや粗	良	内外：橙5YR7／6～橙2.5YR7／6	ほぼ完形		R713
206	SK8084	土師器杯	口径	12.8	口：ヨコナデ、外：ナデ・オサエ、 内：ナデ	やや密	良	外：にぶい橙7.5YR7／4～にぶい黄橙10YR6／3 内：にぶい橙10YR6／3	1／2		R710
207	SK8084	土師器杯	口径 器高	12.5 3.4	口：ヨコナデ、外：ナデ・オサエ、 内：ナデ	やや粗	やや不良	外：褐灰7.5YR5／1、(口)橙5YR6／6 内：橙5YR6／8	ほぼ完形		R698
208	SK8084	土師器杯	口径 器高	14.2 3.4	口：ヨコナデ、外：ナデ・オサエ、 内：ナデ	やや密	良	外：橙5YR7／6～橙2.5YR7／8 内：明黄褐10YR7／6、(口)橙5YR6／8	ほぼ完形		R707
209	SK8084	土師器杯	口径 器高	13.0 3.0	口：ヨコナデ、外：ナデ・オサエ、 内：ナデ	やや粗	良	内外：橙2.5YR6／8、(内底)灰褐5YR5／2	9／10		R709
210	SK8084	土師器杯	口径 器高	12.8 3.2	口：ヨコナデ、外：ナデ・オサエ、 内：ナデ	やや密	良	内外：橙5YR7／6～にぶい黄橙10YR6／4	2／5		R708
211	SK8084	土師器杯	口径 器高	15.8 2.3	口：ヨコナデ、外：ナデ・オサエ、 内：ナデ	密	良	内外：にぶい橙5YR6／4～灰褐5YR5／2、(外一部)褐灰10YR4／1	ほぼ完形		R702
212	SK8084	土師器杯	口径 器高	16.2 1.8	口：ヨコナデ、外：ナデ・オサエ、 内：ナデ・オサエ	密	良	内外：橙5YR6／8	3／10		R720
213	SK8084	土師器皿	口径 器高	13.6 2.1	口：ヨコナデ、外：ナデ・オサエ、 内：ナデ	やや密	良	外：にぶい黄褐10YR5／3、にぶい黄橙10YR7／4 内：にぶい黄橙10YR6／4	ほぼ完形		R697
214	SK8084	土師器皿	口径 器高	14.8 1.6	口：ヨコナデ、外：ナデ・オサエ、 内：ナデ	やや密	良	外：橙7.5YR7／6、黄灰2.5YR5／1 内：やや黄味がかった橙7.5YR7／6	1／2		R705
215	SK8084	土師器杯	口径 器高	16.0 2.0	口：ヨコナデ、外：ナデ・オサエ、 内：ナデ・オサエ	密	良	内外：灰黄褐10YR5／2	3／10		R716
216	SK8084	土師器皿	口径 器高	14.5 1.3	口：ヨコナデ、外：ナデ・オサエ、 内：ナデ	やや密	良	外：橙2.5YR7／8 内：橙2.5YR7／6～橙7.5YR7／6	7／10	ひずみ	R715
217	SK8084	土師器甕	口径	18.0	口：ヨコナデ、外：タテハケ、 内：ナデ	密	良	内外：にぶい黄橙10YR6／4	口20	摩耗	R717
218	SK8084	須恵器椀	口径 高台径	― 6.6	内外：ロクロナデ、底外：糸切り	密	良	内外：浅黄2.5Y7／3	高台30		R718
219	SK6792	土師器杯	口径 器高	15.4 3.1	口：ヨコナデ、外：ナデ・オサエ、 内：ナデ	密	良	外：にぶい橙7.5YR6／4 内：橙5YR6／6～浅黄橙7.5YR8／4	完形		R736
220	SK6792	土師器杯	口径 器高	14.4 2.9	口：ヨコナデ、外：ナデ・オサエ、 内：ナデ	密	良	外：にぶい黄橙10YR6／4 内：橙7.5YR6／6	7／10		R754
221	SK6792	土師器杯	口径 器高	14.2 2.7	口：ヨコナデ、外：ナデ・オサエ、 内：ナデ	密	良	内外：橙7.5YR6／8	9／10	損耗 体：焼成前穿孔	R757
222	SK6792	土師器杯	口径 器高	14.6 2.6	口：ヨコナデ、外：ナデ・オサエ、 内：ナデ	密	良	外：にぶい黄橙10YR7／4 内：にぶい橙7.5YR7／4	ほぼ完形	口端：弱い巻き込み	R751
223	SK6792	土師器杯	口径 器高	15.4 3.3	口：ヨコナデ、外：ナデ・オサエ、 内：ナデ	密	良	外：橙5YR6／6～灰黄褐10YR5／2 内：橙5YR6／6	1／2	損耗	R747
224	SK6792	土師器杯	口径 器高	16.5 3.3	口：ヨコナデ、外：ナデ・オサエ、 内：ナデ	密	良	内外：橙5YR6／8	1／2	損耗	R731
225	SK6792	土師器杯	口径 器高	13.5 ～ 14.0	口：ヨコナデ、外：ナデ・オサエ、 内：ナデ	密	良	外：にぶい黄橙10YR7／4 内：橙5YR6／6	ほぼ完形		R759
226	SK6792	土師器杯	口径 器高	13.2 3.1	口：ヨコナデ、外：ナデ・オサエ、 内：ナデ	密	良	外：橙7.5YR6／8～明黄褐10YR7／6 内：明黄褐10YR7／6	2／5		R744
227	SK6792	土師器杯	口径 器高	13.9 3.6	口：ヨコナデ、外：ナデ・オサエ、 内：ナデ	密	良	内外：にぶい黄橙10YR7／4	2／5		R745
228	SK6792	土師器杯	口径 器高	14.7 3.6	口：ヨコナデ、外：ナデ・オサエ、 内：ナデ	密	良	内外：橙7.5YR6／8	9／10		R758
229	SK6792	土師器杯	口径 器高	14.3 3.8	口：ヨコナデ、外：ナデ・オサエ、 内：ナデ	密	良	外：にぶい橙7.5YR6／4 内：橙7.5YR7／6	2／5		R732
230	SK6792	土師器杯	口径 器高	14.0 3.5	口：ヨコナデ、外：ナデ・オサエ、 内：ナデ	密	良	外：橙5YR6／6 内：橙5YR6／8	ほぼ完形	口端：凹線状 外：２段の指頭圧痕	R764
231	SK6792	土師器杯	口径 器高	15.0 3.6	口：ヨコナデ、外：ナデ・オサエ、 内：ナデ	密	良	外：橙7.5YR7／6 内：橙7.5YR7／6～黒N2／	完形	損耗 底内：損耗により器壁内の黒変部露出	R726
232	SK6792	土師器杯	口径 器高	14.5 3.5	口：ヨコナデ、外：ナデ・オサエ、 内：ナデ	密	良	外：明赤褐5YR5／6 内：明赤褐5YR5／6～橙7.5YR6／6	ほぼ完形		R752
233	SK6792	土師器杯	口径 器高	14.7 3.6	口：ヨコナデ、外：ナデ・オサエ、 内：ナデ	密	良	内外：橙5YR6／8	9／10	外：粘土接合痕	R760
234	SK6792	土師器杯	口径 器高	13.7 3.2	口：ヨコナデ、外：ナデ・オサエ、 内：ナデ	密	良	外：橙5YR6／6～にぶい黄橙10YR7／3 内：橙7.5YR6／6	7／10		R750
235	SK6792	土師器杯	口径 器高	14.1 3.2	口：ヨコナデ、外：ナデ・オサエ、 内：ナデ	密	良	内外：橙5YR6／6	完形		R735
236	SK6792	土師器杯	口径 器高	14.0 2.9	口：ヨコナデ、外：ナデ・オサエ、 内：ナデ	密	良	外：橙2.5YR6／6 内：橙7.5YR6／6	2／5		R748
237	SK6792	土師器杯	口径 器高	14.3 3.3	口：ヨコナデ、外：ナデ・オサエ、 内：ナデ	密	良	内外：橙7.5YR7／6	9／10		R753
238	SK6792	土師器杯	口径 器高	14.2 3.0	口：ヨコナデ、外：ナデ・オサエ、 内：ナデ	密	良	外：橙5YR6／6 内：橙7.5YR6／6	7／10		R740
239	SK6792	土師器杯	口径 器高	14.4 3.0	口：ヨコナデ、外：ナデ・オサエ、 内：ナデ	密	やや甘	外：橙5YR6／6 内：橙7.5YR7／6～黄灰2.5YR4／1	1／2	底内：摩耗	R762
240	SK6792	土師器杯	口径 器高	14.3 3.0	口：ヨコナデ、外：ナデ・オサエ、 内：ナデ	密	良	内外：橙7.5YR6／6	ほぼ完形		R763
241	SK6792	土師器杯	口径 器高	14.5 3.6	口：ヨコナデ、外：ナデ・オサエ、 内：ナデ	密	良	外：橙5YR6／6 内：明赤褐5YR5／6	3／5		R725
242	SK6792	土師器杯	口径 器高	15.4 3.3	口：ヨコナデ、外：ナデ・オサエ、 内：ナデ	密	良	外：橙5YR6／8～にぶい黄橙10YR6／4 内：橙7.5YR6／6～橙7.5YR7／6	1／2		R746
243	SK6792	土師器杯	口径 器高	16.2 3.6	口：ヨコナデ、外：ナデ・オサエ、 内：ナデ	密	良	外：にぶい褐7.5YR5／4 内：灰黄褐10YR5／2	1／2		R761
244	SK6792	土師器皿	口径 器高	16.2 2.0	口：ヨコナデ、外：ナデ・オサエ、 内：ナデ	密	良	外：にぶい橙7.5YR7／4～褐灰7.5YR4／1 内：にぶい橙7.5YR7／4	4／5	底：底部からの焼成後穿孔	R729
245	SK6792	土師器皿	口径 器高	15.6 1.8	口：ヨコナデ、外：ナデ・オサエ、 内：ナデ	密	良	内外：橙5YR7／6	2／5		R733
246	SK6792	土師器皿	口径 器高	16.8 2.2	口：ヨコナデ、外：ナデ・オサエ、 内：ナデ	密	良	内外：明赤褐5YR5／6	1／2		R730
247	SK6792	土師器皿	口径 器高	16.2 2.4	口：ヨコナデ、外：ナデ・オサエ、 内：ナデ	密	良	外：橙5YR6／8 内：橙5YR6／6	1／2	ゆがみ	R755
248	SK6792	土師器皿	口径 器高	17.3 2.2	口：ヨコナデ、外：ナデ・オサエ、 内：ナデ	密	良	外：橙5YR6／8 内：橙5YR6／8～橙7.5YR7／6	4／5	外：黒斑	R767
249	SK6792	土師器皿	口径 器高	16.8 2.5	口：ヨコナデ、外：ナデ・オサエ、 内：ナデ	密	良	外：橙5YR6／8 内：橙5YR6／6	2／5		R765
250	SK6792	土師器皿	口径 器高	15.1 1.7	口：ヨコナデ、外：ナデ・オサエ、 内：ナデ	密	良	内外：橙2.5YR6／8	ほぼ完形		R739
251	SK6792	土師器皿	口径 器高	15.2 1.8	口：ヨコナデ、外：ナデ・オサエ、 内：ナデ	密	良	外：浅黄橙10YR8／4～赤10R5／6 内：明赤褐5YR5／6～オリーブ黒5Y3／1	4／5	外：被熱による赤変	R728
252	SK6792	土師器皿	口径 器高	15.4 2.3	口：ヨコナデ、外：ナデ・オサエ、 内：ナデ	密	良	内外：橙5YR6／8	1／2		R766

報告書番号	出土遺構	器種	計測値(cm)		調整・技法の特徴	胎土	焼成	色調	残存度	備考	登録番号
253	SK6792	土師器 皿	口径 器高	14.9 2.2	口：ヨコナデ、外：ナデ・オサエ、 内：ナデ	密	良	外：橙5YR6／8 内：橙5YR6／8～にぶい黄橙10YR7／3	2／5		R749
254	SK6792	土師器 皿	口径 器高	14.8 2.1	口：ヨコナデ、外：ナデ・オサエ、 内：ナデ	密	良	内外：橙2.5YR6／8	ほぼ完形		R724
255	SK6792	土師器 皿	口径 器高	15.2 1.8	口：ヨコナデ、外：ナデ・オサエ、 内：ナデ	密	良	外：橙5YR6／6 内：橙7.5YR6／6	3／5		R743
256	SK6792	土師器 皿	口径 器高	15.0 1.6	口：ヨコナデ、外：ナデ・オサエ、 内：ナデ	密	良	外：橙7.5YR7／6 内：橙5YR6／6	ほぼ完形	損耗	R742
257	SK6792	土師器 皿	口径 器高	15.4 1.6	口：ヨコナデ、外：ナデ・オサエ、 内：ナデ	密	良	内外：橙2.5YR6／8	4／5		R727
258	SK6792	土師器 皿	口径 器高	16.2 1.6	口：ヨコナデ、外：ナデ・オサエ、 内：ナデ	密	良	外：橙5YR6／8 内：にぶい黄橙10YR7／4	9／10		R756
259	SK6792	土師器 甕	口径	12.9	口：ヨコナデ、外：タテハケ、 内：ナデ	密	良	外：灰黄褐10YR4／2～明赤褐2.5YR5／6 内：橙5YR6／6～にぶい黄褐10YR5／3	口50	タテハケ：4本／cm 外：二次焼成による赤変 内：損耗	R738
260	SK6792	土師器 甕	口径 最大径 器高	16.6 17.2 15.5	口：ヨコナデ、体外：タテハケ、 体内上：ヨコハケ、体内下：ケズリ、 底外：ナデ、底内：ハケ・ナデ	密	良	外：にぶい黄橙10YR7／3 内：浅黄橙10YR8／4	3／10	損耗、外：黒斑 タテ・ヨコハケ：5本／cm 底外：二次焼成による赤化	R737
261	SK6792	土師器 甕	口径 最大径 器高	26.6 29.6 31.5	口：ヨコナデ、外：タテハケ、 底外：不定方向ハケ、 体内上：板ナデ、体内下：ケズリ	密	良	内外：にぶい黄橙10YR7／4	7／10	タテハケ：5本／2cm 不定方向ハケ：6本／cm 外：部分的に黒変	R723
262	SK6792	須恵器 壺	残高	4.3	口：ヨコナデ、内外：ロクロナデ	密	良	外：灰7.5YR5／1 内：灰オリーブ5Y6／2	口13		R734
263	SK6794	土師器 杯	口径 器高	15.0 3.8	口：ヨコナデ、外：ナデ・オサエ、 内：ナデ	密	良	内外：明赤褐2.5YR5／6	7／10		R842
264	SK6794	土師器 杯	口径 器高	14.8 3.2	口：ヨコナデ、外：ナデ・オサエ、 内：ナデ	密	良	外：橙7.5YR7／6、にぶい黄橙10YR7／4、 褐灰10YR6／1 内：橙7.5YR7／6、にぶい黄橙10YR7／4	9／10		R844
265	SK6794	土師器 皿	口径 器高	15.2 1.4	口：ヨコナデ、外：ナデ・オサエ、 内：ナデ	密	良	内外：橙5YR6／6	ほぼ完形		R843
266	SK6794	緑釉陶器 椀	口径	―	内外：ロクロナデ後ロクロケズリ、 高台貼付ナデ	密	硬質	内外：浅黄2.5Y7／3 釉：ねこやなぎ色5－825	1／10	内：陰刻花文	R841
267	SK8065	土師器 杯	口径 器高	14.6 3.5	口：ヨコナデ、外：ナデ・オサエ、 内：ナデ	密	良	内外：橙5YR6／6	4／5		R424
268	SK8065	土師器 杯	口径 器高	14.5 3.5	口：ヨコナデ、外：ナデ・オサエ、 内：ナデ	密	良	内外：赤褐5YR4／8	9／10		R423
269	SK7930	土師器 杯	口径 器高	14.6 2.7	口：ヨコナデ、外：ナデ・オサエ、 内：ナデ・オサエ	密	良	内外：橙7.5YR6／6	3／5		R781
270	SK7930	土師器 杯	口径 器高	16.0 2.8	口：ヨコナデ、外：ナデ・オサエ、 内：ナデ・オサエ	密	良	内外：橙7.5YR6／6	2／5		R784
271	SK7930	土師器 皿	口径 器高	14.4 1.8	口：ヨコナデ、外：ナデ・オサエ、 内：ナデ・オサエ	密	良	内外：橙7.5YR6／6	7／10		R782
272	SK7930	土師器 皿	口径 器高	15.6 2.0	口：ヨコナデ、外：ナデ・オサエ、 内：ナデ・オサエ	密	良	内外：橙7.5YR6／6	1／2		R783
273	SK8089	須恵器蓋	口径 器高	― ―	口：ロクロナデ、外：ロクロケズリ、 内：ロクロナデ	密	良	内外：灰5Y6／1	2／5		R785
274	SK8063	土師器 杯	口径 器高	13.5 2.8	口：ヨコナデ、外：ナデ・オサエ、 内：ナデ・オサエ	密	良	内外：橙7.5YR7／6	4／5		R323
275	SK8063	土師器 杯	口径 器高	13.2 2.5	口：ヨコナデ、外：ナデ・オサエ、 内：ナデ・オサエ	密	良	内外：橙7.5YR6／6	9／10		R322
276	SK8063	土師器 杯	口径 器高	13.8 3.0	口：ヨコナデ、外：ナデ・オサエ、 内：ナデ	密	良	内外：橙7.5YR6／6	4／5		R510
277	SK8063	土師器 杯	口径 器高	14.8 2.8	口：ヨコナデ、外：ナデ・オサエ、 内：ナデ・オサエ	密	良	内外：にぶい橙7.5YR6／4	9／10		R329
278	SK8063	土師器 杯	口径 器高	14.6 2.8	口：ヨコナデ、外：ナデ・オサエ、 内：ナデ・オサエ	密	良	内外：橙7.5YR6／6	4／5		R321
279	SK8063	土師器 杯	口径 器高	13.6 3.0	口：ヨコナデ、外：ナデ・オサエ、 内：ナデ・オサエ	密	良	内外：橙7.5YR6／6	7／10		R328
280	SK8063	土師器 杯	口径 器高	14.2 3.0	口：ヨコナデ、外：ナデ・オサエ、 内：ナデ・オサエ	密	良	内外：橙7.5YR7／6	7／10		R326
281	SK8063	土師器 杯	口径 器高	13.4 2.5	口：ヨコナデ、外：ナデ・オサエ、 内：ナデ・オサエ	密	良	内外：橙5YR6／6	9／10		R331
282	SK8063	土師器 杯	口径 器高	14.4 2.5	口：ヨコナデ、外：ナデ・オサエ、 内：ナデ・オサエ	密	良	内外：橙7.5YR6／6	2／5		R320
283	SK8063	土師器 杯	口径 器高	14.4 2.5	口：ヨコナデ、外：ナデ・オサエ、 内：ナデ・オサエ	密	良	内外：橙7.5YR6／6	4／5	内外：煤付着	R324
284	SK8063	土師器 杯	口径 器高	14.6 2.4	口：ヨコナデ、外：ナデ・オサエ、 内：ナデ・オサエ	密	良	内外：にぶい黄橙10YR7／4	完形		R325
285	SK8063	土師器 杯	口径 器高	14.3 2.2	口：ヨコナデ、外：ナデ・オサエ、 内：ナデ・オサエ	密	良	内外：橙7.5YR6／6	9／10		R327
286	SK8063	土師器 杯	口径 器高	13.8 2.3	口：ヨコナデ、外：ナデ・オサエ、 内：ナデ	密	良	内外：橙7.5YR6／6	4／5		R511
287	SK8063	土師器 杯	口径 器高	14.4 2.5	口：ヨコナデ、外：ナデ・オサエ、 内：ナデ・オサエ	密	良	内外：にぶい黄橙10YR6／4	1／2		R330
288	SK8063	土師器 杯	口径 器高	15.8 3.1	口：ヨコナデ、外：ナデ・オサエ、 内：ナデ・オサエ	密	良	内外：にぶい黄橙10YR6／4	9／10		R332
289	SK8063	土師器 杯	口径 器高	15.8 4.0	口：ヨコナデ、外：ナデ・オサエ、 内：ナデ・オサエ	密	良	内外：橙7.5YR6／6	4／5		R333
290	SK8063	土師器 皿	口径 器高	15.0 1.8	口：ヨコナデ、外：ナデ・オサエ、 内：ナデ・オサエ	密	良	内外：橙7.5YR6／6	2／5		R319
291	SK8063	土師器 高杯	口径 底径	― ―	柱：内外：ヘラケズリ	密	良	内外：にぶい橙7.5YR7／4	脚80		R318
292	SK8063	土師器 甕	口径 器高	18.0 ―	口：ヨコナデ、外：ナデ・オサエ・タテハケ、内：ナデ・オサエ	密	良	内外：明黄褐10YR7／6	口20		R334
293	SK8063	灰釉陶器 台付皿	底径	8.0	内外：ロクロナデ、底外：糸切り痕？、 釉：つけ掛け	密	良	内外：灰黄2.5YR7／2 釉：灰オリーブ7.5YR6／2	2／5		R512
294	SK8063	灰釉陶器 台付皿	底径	8.0	内外：ロクロナデ、高台貼付ナデ	密	良	内外：灰黄2.5Y7／2	1／5		R509
295	SK8063	緑釉陶器 椀	高台径	6.5	内外：ロクロナデ、 体外：ロクロヘラケズリ、高台貼付ナデ	密	良	内外：にぶい黄2.5YR6／3 釉：(外)ねこやなぎ色5－825、(内)豌豆緑5－836	高台60	ロクロ左回転 ヘラミガキ	R805
296	SK8063	須恵器 壺	底径	10.0	内外：ロクロナデ、高台貼付ナデ	密	良	内外：灰褐5YR5／2	1／5		R508
297	SK8071	土師器 杯	口径 器高	13.6 2.5	口：ヨコナデ、外：ナデ・オサエ、 内：ナデ・オサエ	密	良	内外：浅黄橙7.5YR8／6	9／10		R226
298	SK8071	土師器 杯	口径 器高	13.8 2.9	口：ヨコナデ、外：ナデ・オサエ、 内：ナデ・オサエ	密	良	内外：橙5YR6／6	7／10		R231
299	SK8071	土師器 杯	口径 器高	16.8 4.5	口：ヨコナデ、外：ナデ・オサエ、 内：ナデ・オサエ	密	良	内外：橙5YR6／6	2／5		R233
300	SK8071	土師器 皿	口径 器高	15.8 2.0	口：ヨコナデ、外：ナデ・オサエ、 内：ナデ・オサエ	密	良	内外：橙5YR6／8	7／10		R227
301	SK8071	土師器 皿	口径 器高	15.2 1.5	口：ヨコナデ、外：ナデ・オサエ、 内：ナデ・オサエ	密	良	内外：明黄褐10YR7／6	4／5		R232

報告書番号	出土遺構	器種	計測値(cm)		調整・技法の特徴	胎土	焼成	色調	残存度	備考	登録番号
302	SK8071	土師器鉢	口径 器高	17.0 4.0	口：ヨコナデ、外：ナデ・オサエ、内：ナデ・オサエ	密	良	内外：橙7.5YR6／6	3／10	外：接合痕	R230
303	SK8071	土師器杯	口径 器高	14.2 2.5	口：ヨコナデ、外：ナデ・オサエ、内：ナデ・オサエ	密	良	内外：浅黄橙10YR8／4	3／5		R214
304	SK8071	土師器杯	口径 器高	11.6 2.1	口：ヨコナデ、外：ナデ・オサエ、内：ナデ・オサエ	密	良	内外：浅黄橙10YR8／3	1／2		R216
305	SK8071	土師器杯	口径 器高	12.4 2.5	口：ヨコナデ、外：ナデ・オサエ、内：ナデ・オサエ	密	良	内外：にぶい黄橙10YR7／3	完形	内：黒色物付着	R237
306	SK8071	土師器杯	口径 器高	12.4 2.5	口：ヨコナデ、外：ナデ・オサエ、内：ナデ・オサエ	密	良	内外：浅黄橙7.5YR8／4	7／10	外：接合痕 内：墨痕	R234
307	SK8071	土師器杯	口径 器高	12.0 2.0	口：ヨコナデ、外：ナデ・オサエ、内：ナデ	密	良	内外：にぶい黄橙10YR7／3	4／5	内外：黒色物付着	R249
308	SK8071	土師器杯	口径 器高	11.7 2.5	口：ヨコナデ、外：ナデ・オサエ、内：ナデ・オサエ	密	良	内外：浅黄橙10YR8／4	4／5		R224
309	SK8071	土師器杯	口径 器高	12.0 2.0	口：ヨコナデ、外：ナデ・オサエ、内：ナデ・オサエ	密	良	内外：にぶい黄橙10YR6／4	3／5		R257
310	SK8071	土師器杯	口径 器高	13.4 2.2	口：ヨコナデ、外：ナデ・オサエ、内：ナデ・オサエ	密	良	内外：にぶい黄橙10YR6／2	ほぼ完形		R259
311	SK8071	土師器杯	口径 器高	12.7 2.3	口：ヨコナデ、外：ナデ・オサエ、内：ナデ・オサエ	密	良	内外：浅黄橙10YR8／4	9／10	外：接合痕 内：黒色物付着	R235
312	SK8071	土師器杯	口径 器高	12.4 2.6	口：ヨコナデ、外：ナデ・オサエ、内：ナデ・オサエ	密	良	内外：浅黄橙10YR8／3	4／5	外：黒色物付着	R222
313	SK8071	土師器杯	口径 器高	13.0 2.5	口：ヨコナデ、外：ナデ・オサエ、内：ナデ・オサエ	密	良	外：にぶい黄橙10YR7／3 内：明黄褐10YR7／6	3／5		R220
314	SK8071	土師器杯	口径 器高	12.8 2.8	口：ヨコナデ、外：ナデ・オサエ、内：ナデ	密	良	内外：にぶい黄橙10YR7／4	7／10		R247
315	SK8071	土師器杯	口径 器高	13.0 3.0	口：ヨコナデ、外：ナデ・オサエ、内：ナデ・オサエ	密	良	外：褐灰10YR6／1 内：明黄褐10YR7／6	7／10	内：煤付着	R219
316	SK8071	土師器杯	口径 器高	13.9 3.0	口：ヨコナデ、外：ナデ・オサエ、内：ナデ・オサエ	密	良	内外：浅黄橙10YR8／3	完形	内外：黒色物付着 外：接合痕	R24
317	SK8071	土師器杯	口径 器高	12.2 2.8	口：ヨコナデ、外：ナデ・オサエ、内：ナデ	密	良	内外：褐灰10YR5／1	3／5		R244
318	SK8071	土師器杯	口径 器高	12.4 3.0	口：ヨコナデ、外：ナデ・オサエ、内：ナデ・オサエ	密	良	内外：にぶい黄橙10YR7／4	9／10	外：接合痕 内：黒色物付着	R238
319	SK8071	土師器杯	口径 器高	13.0 2.7	口：ヨコナデ、外：ナデ・オサエ、内：ナデ	密	良	内外：にぶい黄橙10YR7／3	7／10	内外：黒色物付着	R245
320	SK8071	土師器杯	口径 器高	12.6 2.3	口：ヨコナデ、外：ナデ・オサエ、内：ナデ・オサエ	密	良	内外：灰黄褐10YR6／2	完形	外：黒色物付着	R258
321	SK8071	土師器杯	口径 器高	13.4 2.5	口：ヨコナデ、外：ナデ・オサエ、内：ナデ・オサエ	密	良	内外：褐灰10YR4／1	完形		R236
322	SK8071	土師器杯	口径 器高	13.4 2.5	口：ヨコナデ、外：ナデ・オサエ、内：ナデ	密	良	内外：にぶい黄橙10YR7／4	7／10		R248
323	SK8071	土師器皿	口径 器高	15.8 2.0	口：ヨコナデ、外：ナデ・オサエ、内：ナデ・オサエ	密	良	内外：橙5YR6／8	7／10		R229
324	SK8071	土師器皿	口径 器高	11.2 1.5	口：ヨコナデ、外：ナデ・オサエ、内：ナデ・オサエ	密	良	内外：にぶい黄橙10YR7／4	7／10		R218
325	SK8071	土師器皿	口径 器高	10.6 1.2	口：ヨコナデ、外：ナデ・オサエ、内：ナデ・オサエ	密	良	内外：にぶい黄橙10YR7／4	3／5		R215
326	SK8071	土師器皿	口径 器高	12.0 1.6	口：ヨコナデ、外：ナデ・オサエ、内：ナデ	密	良	内外：にぶい黄橙10YR7／2	7／10	内：黒色物付着	R241
327	SK8071	土師器皿	口径 器高	11.8 1.5	口：ヨコナデ、外：ナデ・オサエ、内：ナデ・オサエ	密	良	内外：にぶい黄橙10YR7／3	4／5	内：黒色物付着	R243
328	SK8071	土師器皿	口径 器高	12.7 1.9	口：ヨコナデ、外：ナデ・オサエ、内：ナデ・オサエ	密	良	内外：にぶい黄橙10YR6／3	完形	ゆがみ 外：黒色物付着	R256
329	SK8071	土師器皿	口径 器高	11.0 1.2	口：ヨコナデ、外：ナデ・オサエ、内：ナデ・オサエ	密	良	内外：褐灰10YR6／1	3／5	外：黒色物付着	R239
330	SK8071	土師器皿	口径 器高	11.8 1.3	口：ヨコナデ、外：ナデ・オサエ、内：ナデ	密	良	内外：にぶい橙7.5YR7／4	4／5		R246
331	SK8071	土師器皿	口径 器高	11.8 1.2	口：ヨコナデ、外：ナデ・オサエ、内：ナデ	密	良	内外：にぶい黄橙10YR6／4	1／2		R252
332	SK8071	土師器皿	口径 器高	11.2 1.1	口：ヨコナデ、外：ナデ・オサエ、内：ナデ・オサエ	密	良	内外：にぶい黄橙10YR6／3	完形	内外：黒色物付着	R255
333	SK8071	土師器皿	口径 器高	15.0 1.6	口：ヨコナデ、外：ナデ・オサエ、内：ナデ・オサエ	密	良	内外：橙5YR6／8	7／10		R228
334	SK8071	土師器皿	口径 器高	15.2 1.5	口：ヨコナデ、外：ナデ・オサエ、内：ナデ・オサエ	密	良	内外：浅黄橙7.5YR8／6	7／10		R221
335	SK8071	土師器台付皿	口径 高台径 器高	12.0 6.6 1.8	口：ヨコナデ、外：ナデ・オサエ、内：ナデ、高台貼付ナデ	密	良	内外：浅黄橙10YR8／3	7／10	底：乱ヘラ切り痕	R250
336	SK8071	土師器台付皿	口径 高台径 器高	12.0 6.7 2.0	口：ヨコナデ、外：ナデ・オサエ、内：ナデ、高台貼付ナデ	密	良	内外：橙7.5YR7／6	7／10	内：黒色物付着	R251
337	SK8071	土師器台付皿	口径 高台径 器高	11.8 6.7 2.5	口：ヨコナデ、外：ナデ・オサエ、内：ナデ・オサエ、脚：ヨコナデ	密	良	内外：橙5YR7／6	9／10	内：黒色物付着	R240
338	SK8071	土師器甕	口径 器高	17.8 15.7	口：ヨコナデ、体外上：タテハケ、体外下：ヘラケケズリ、体内上：板ナデ、体内下：ヘラケズリ	密	良	内外：にぶい黄橙10YR7／4	7／10	タテハケ：9本／2.5cm 外：煤付着、二次焼成？	R223
339	SK8071	土師器把手付鍋	口径	10.0	口：ヨコナデ、外上：ハケメ、外下ナデ、内：ナデ	密	良	内外：浅黄橙10YR8／3	3／10		R831
340	SK8071	須恵器鉢	口径 器高	19.0	口：ヨコナデ、内外：ロクロナデ	密	良	内外：灰105Y6／1	3／10	玉縁口縁	R254
341	SK8071	須恵器壺	口径	―	口：ヨコナデ、内外：ロクロナデ	密	良	内外：灰10Y6／1	口10		R253
342	SK8093	土師器杯	口径 器高	12.0 2.8	口：ヨコナデ、外：ナデ・オサエ、内：ナデ・オサエ	密	良	内外：にぶい黄橙10YR7／2	7／10		R770
343	SK8093	土師器杯	口径 器高	15.2 2.6	口：ヨコナデ、外：ナデ・オサエ、内：ナデ・オサエ	密	良	内外：橙7.5YR7／6	3／5	口：黒色物付着	R768
344	SK8093	土師器皿	口径 器高	12.6 1.5	口：ヨコナデ、外：ナデ・オサエ、内：ナデ・オサエ	密	良	内外：浅黄橙7.5YR8／4	7／10		R769
345	SK8093	土師器皿	口径 器高	15.2 1.5	口：ヨコナデ、外：ナデ・オサエ、内：ナデ・オサエ	密	良	内外：橙7.5YR7／6	9／10		R771
346	SK8093	灰釉陶器台付皿	口径 底径 器高	― 12.0 ―	内外：ロクロナデ、貼付高台	密	良	内外：灰白2.5Y7／1 釉：灰オリーブ7.5Y6／2	1／5	内：自然釉	R774
347	SK8093	須恵器蓋	口径 器高	― ―	口：ロクロナデ、外：ロクロケズリ、内：ロクロナデ	密	良	内外：灰白5Y7／1	3／10		R772
348	SK8093	須恵器鉢	口径 底径 器高	― 8.0 ―	内外：ロクロナデ、底外：糸切り	密	良	内外：黄灰2.5Y5／1	高台20		R780

報告書番号	出土遺構	器種	計測値(cm)		調整・技法の特徴	胎土	焼成	色調	残存度	備考	登録番号
349	SK8093	灰釉陶器椀	口径 底径 器高	ー 6.8 ー	内外：ロクロナデ、底外：糸切り、貼付高台	密	良	内外：灰黄2.5Y7／2	高台80		R777
350	SK8093	灰釉陶器椀	口径 底径 器高	ー 6.3 ー	内外：ロクロナデ、貼付高台	密	良	内外：灰白2.5Y8／2	3／5	内：黒色物付着	R773
351	SK8093	灰釉陶器椀	口径 底径 器高	ー 6.7 ー	内外：ロクロナデ、底外：糸切り、貼付高台	密	良	内外：灰黄2.5Y6／2	高台100	内：自然釉	R776
352	SK8093	灰釉陶器椀	口径 底径 器高	ー 7.0 ー	内外：ロクロナデ、貼付高台、 釉：つけかけ	密	良	内外：灰白5Y7／1 釉：明オリーブ灰5GY7／1	高台50	内：釉	R779
353	SK8093	灰釉陶器椀	口径 底径 器高	ー 6.4 ー	内外：ロクロナデ、貼付高台、 釉：つけかけ	密	良	内外：浅黄2.5Y7／3 釉：明オリーブ灰5GY7／1	高台90	口：釉	R778
354	SK8093	灰釉陶器椀	口径 底径 器高	ー 8.0 ー	内外：ロクロナデ、貼付高台	密	良	内外：灰白7.5Y7／1	2／5		R775
355	SK8093	黒色土器 硯	残長辺 残短辺	5.4 3.0	全面ハケメ	密	良	内外：オリーブ黒7.5Y3／1	1／5	摩耗 高台剥離痕	R824
356	SK8093	須恵器 甕	口径	ー	外：格子タタキ、内：当て具痕(同心円に「+」)	密	良	内外：灰N6／0	胴部片		R825
357	SE8058	土師器 杯	口径 器高	13.4 2.2	口：ヨコナデ、外：ナデ・オサエ、 内：ナデ・オサエ	密	良	内外：にぶい黄橙10YR6／4	7／10		R273
358	SE8058	土師器 杯	口径 器高	13.2 2.5	口：ヨコナデ、外：ナデ・オサエ、 内：ナデ・オサエ	密	良	内外：明黄褐10YR6／6	9／10		R277
359	SE8058	土師器 杯	口径 器高	12.6 2.2	口：ヨコナデ、外：ナデ・オサエ、 内：ナデ・オサエ	密	良	内外：にぶい黄橙10YR6／4	4／5		R278
360	SE8058	土師器 杯	口径 器高	12.8 2.5	口：ヨコナデ、外：ナデ・オサエ、 内：ナデ・オサエ	密	良	内外：にぶい黄橙10YR7／4	9／10		R280
361	SE8058	土師器 杯	口径 器高	13.0 2.5	口：ヨコナデ、外：ナデ・オサエ、 内：ナデ・オサエ	密	良	内外：にぶい橙7.5YR7／4	7／10		R262
362	SE8058	土師器 杯	口径 器高	13.0 2.5	口：ヨコナデ、外：ナデ・オサエ、 内：ナデ・オサエ	密	良	内外：橙7.5YR7／6	9／10		R269
363	SE8058	土師器 杯	口径 器高	13.2 2.5	口：ヨコナデ、外：ナデ・オサエ、 内：ナデ・オサエ	密	良	内外：橙7.5YR7／6	4／5		R264
364	SE8058	土師器 杯	口径 器高	13.8 2.4	口：ヨコナデ、外：ナデ・オサエ、 内：ナデ・オサエ	密	良	内外：橙5YR6／8	4／5		R287
365	SE8058	土師器 杯	口径 器高	13.8 2.4	口：ヨコナデ、外：ナデ・オサエ、 内：ナデ・オサエ	密	良	内外：橙7.5YR7／6	3／5		R268
366	SE8058	土師器 杯	口径 器高	14.2 2.5	口：ヨコナデ、外：ナデ・オサエ、 内：ナデ・オサエ	密	良	内外：橙5YR6／8	1／2		R266
367	SE8058	土師器 杯	口径 器高	13.8 2.6	口：ヨコナデ、外：ナデ・オサエ、 内：ナデ・オサエ	密	良	内外：橙5YR6／8	ほぼ完形		R274
368	SE8058	土師器 杯	口径 器高	13.4 2.5	口：ヨコナデ、外：ナデ・オサエ、 内：ナデ・オサエ	密	良	内外：にぶい黄橙10YR6／4	4／5		R286
369	SE8058	土師器 杯	口径 器高	13.6 2.5	口：ヨコナデ、外：ナデ・オサエ、 内：ナデ・オサエ	密	良	内外：橙7.5YR6／6	7／10	底外：二次焼成	R284
370	SE8058	土師器 杯	口径 器高	14.0 2.6	口：ヨコナデ、外：ナデ・オサエ、 内：ナデ・オサエ	密	良	内外：橙7.5YR7／6	3／5	内：黒色物付着	R271
371	SE8058	土師器 杯	口径 器高	14.0 2.6	口：ヨコナデ、外：ナデ・オサエ、 内：ナデ・オサエ	密	良	内外：にぶい橙7.5YR6／4	9／10		R263
372	SE8058	土師器 杯	口径 器高	13.4 2.5	口：ヨコナデ、外：ナデ・オサエ、 内：ナデ・オサエ	密	良	内外：橙10YR6／6	ほぼ完形		R272
373	SE8058	土師器 杯	口径 器高	13.0 2.5	口：ヨコナデ、外：ナデ・オサエ、 内：ナデ・オサエ	密	良	内外：にぶい黄橙10YR6／4	4／5		R294
374	SE8058	土師器 杯	口径 器高	13.8 2.2	口：ヨコナデ、外：ナデ・オサエ、 内：ナデ・オサエ	密	良	内外：にぶい黄橙10YR6／4	3／5		R283
375	SE8058	土師器 杯	口径 器高	13.6 2.7	口：ヨコナデ、外：ナデ・オサエ、 内：ナデ・オサエ	密	良	内外：橙7.5YR7／6	7／10		R289
376	SE8058	土師器 杯	口径 器高	13.8 2.5	口：ヨコナデ、外：ナデ・オサエ、 内：ナデ・オサエ	密	良	内外：にぶい黄橙10YR6／4	9／10		R288
377	SE8058	土師器 杯	口径 器高	13.4 2.5	口：ヨコナデ、外：ナデ・オサエ、 内：ナデ・オサエ	密	良	内外：橙7.5YR7／6	7／10		R261
378	SE8058	土師器 杯	口径 器高	13.4 2.5	口：ヨコナデ、外：ナデ・オサエ、 内：ナデ・オサエ	密	良	内外：橙7.5YR6／6	9／10		R276
379	SE8058	土師器 杯	口径 器高	13.8 2.5	口：ヨコナデ、外：ナデ・オサエ、 内：ナデ・オサエ	密	良	内外：橙7.5YR7／6	2／5		R290
380	SE8058	土師器 杯	口径 器高	13.2 2.5	口：ヨコナデ、外：ナデ・オサエ、 内：ナデ・オサエ	密	良	内外：にぶい黄橙10YR7／4	9／10		R267
381	SE8058	土師器 杯	口径 器高	13.6 2.4	口：ヨコナデ、外：ナデ・オサエ、 内：ナデ・オサエ	密	良	内外：にぶい黄褐10YR5／4	9／10	外～口内：二次焼成	R285
382	SE8058	土師器 杯	口径 器高	14.3 2.4	口：ヨコナデ、外：ナデ・オサエ、 内：ナデ・オサエ	密	良	内外：橙7.5YR6／6	完形		R275
383	SE8058	土師器 杯	口径 器高	14.0 2.5	口：ヨコナデ、外：ナデ・オサエ、 内：ナデ・オサエ	密	良	内外：にぶい黄橙10YR6／4	4／5		R279
384	SE8058	土師器 杯	口径 器高	13.8 2.4	口：ヨコナデ、外：ナデ・オサエ、 内：ナデ・オサエ	密	良	内外：橙7.5YR7／6	7／10		R282
385	SE8058	土師器 杯	口径 器高	13.5 3.0	口：ヨコナデ、外：ナデ・オサエ、 内：ナデ・オサエ	密	良	内外：橙5YR6／8	2／5		R281
386	SE8058	土師器 杯	口径 器高	15.2 3.5	口：ヨコナデ、外：ナデ・オサエ、 内：ナデ・オサエ	密	良	内外：にぶい黄橙10YR6／4	9／10		R265
387	SE8058	土師器 台付杯	口径 高台径 器高	15.7 8.6 3.7	口：ヨコナデ、外：ナデ・オサエ、 内：ナデ・オサエ、脚：ヨコナデ	密	良	内外：にぶい橙7.5YR7／4	7／10		R270
388	SE8058	土師器 甕	口径 器高	16.0 ー	口：ヨコナデ、外：ナデ・オサエ・タテハケ、内：ナデ・オサエ	密	良	内外：にぶい黄橙10YR7／4	口20		R292
389	SE8058	土師器 甕	口径 器高	18.0 ー	口：ヨコナデ、外：ナデ・オサエ、 内：ナデ・オサエ	密	良	内外：にぶい橙7.5YR7／4	口20		R291
390	SE8058	灰釉陶器 椀	口径 器高	ー ー	ロクロナデ	密	良	内外：灰白5Y8／1 釉：灰白5Y7／2	口10		R293
391	SE8058	灰釉陶器 長頸壺	口径 高台径 器高	ー 8.2 ー	内外：ロクロナデ、張り付け高台	密	良	内外：灰白5Y7／1	2／5	底内：釉	R260
392	SK8094	土師器 鉢	口径 器高	18.0 ー	口：ヨコナデ、外：ナデ、 内：ナデ	密	良	内外：橙7.5YR7／6	口40		R788
393	SK8059	土師器 杯	口径 器高	13.8 2.5	口：ヨコナデ、外：ナデ・オサエ、 内：ナデ	密	良	内外：橙5YR6／6	7／10		R308

報告書番号	出土遺構	器種	計測値(cm)		調整・技法の特徴	胎土	焼成	色調	残存度	備考	登録番号
394	SK8059	土師器杯	口径 器高	13.4 2.5	口：ヨコナデ、外：ナデ・オサエ、 内：ナデ	密	良	内外：橙5YR6／6	2／5		R309
395	SK8059	土師器杯	口径 器高	13.6 2.3	口：ヨコナデ、外：ナデ・オサエ、 内：ナデ	密	良	外：にぶい黄褐10YR5／3 内：にぶい黄褐10YR5／3、黄灰2.5Y4／1	3／10		R311
396	SK8059	土師器杯	口径 器高	12.3 2.2	口：ヨコナデ、外：ナデ・オサエ、 内：ナデ	密	良	外：浅黄橙7.5YR8／4 内：浅黄橙7.5YR8／4、灰N4／0	4／5		R315
397	SK8059	土師器杯	口径 器高	13.2 2.3	口：ヨコナデ、外：ナデ・オサエ、 内：ナデ	密	良	内外：橙5YR6／8	7／10		R317
398	SK8059	土師器杯	口径 器高	13.0 2.3	口：ヨコナデ、外：ナデ・オサエ、 内：ナデ	密	良	内外：にぶい黄橙10YR7／3	9／10		R427
399	SK8059	土師器杯	口径 器高	13.2 2.2	口：ヨコナデ、外：ナデ・オサエ、 内：ナデ	密	良	内外：橙7.5YR7／6	4／5		R300
400	SK8059	土師器杯	口径 器高	13.2 2.5	口：ヨコナデ、外：ナデ・オサエ、 内：ナデ	密	良	内外：橙7.5YR6／6	7／10		R425
401	SK8059	土師器杯	口径 器高	13.6 2.5	口：ヨコナデ、外：ナデ・オサエ、 内：ナデ	密	良	内外：にぶい黄橙7.5YR7／4	9／10		R304
402	SK8059	土師器杯	口径 器高	13.6 2.5	口：ヨコナデ、外：ナデ・オサエ、 内：ナデ	密	良	内外：にぶい橙7.5YR6／4	4／5		R426
403	SK8059	土師器杯	口径 器高	13.4 2.5	口：ヨコナデ、外：ナデ・オサエ、 内：ナデ	密	良	内外：明黄褐10YR6／6	9／10		R302
404	SK8059	土師器杯	口径 器高	13.6 2.5	口：ヨコナデ、外：ナデ・オサエ、 内：ナデ	密	良	内外：にぶい橙7.5YR7／4	完形		R301
405	SK8059	土師器杯	口径 器高	13.2 2.5	口：ヨコナデ、外：ナデ・オサエ、 内：ナデ	密	良	内外：橙7.5YR7／6	7／10		R313
406	SK8059	土師器杯	口径 器高	13.8 2.5	口：ヨコナデ、外：ナデ・オサエ、 内：ナデ	密	良	内外：にぶい橙7.5YR6／4	3／5		R299
407	SK8059	土師器杯	口径 器高	13.4 2.6	口：ヨコナデ、外：ナデ・オサエ、 内：ナデ	密	良	内外：にぶい黄褐10YR6／3、褐灰10YR5／1	4／5		R428
408	SK8059	土師器杯	口径 器高	13.4 2.5	口：ヨコナデ、外：ナデ・オサエ、 内：ナデ	密	良	内外：浅黄橙7.5YR8／4	7／10		R310
409	SK8059	土師器杯	口径 器高	13.2 2.5	口：ヨコナデ、外：ナデ・オサエ、 内：ナデ	密	良	内外：橙7.5YR7／6	ほぼ完形		R298
410	SK8059	土師器杯	口径 器高	14.0 2.5	口：ヨコナデ、外：ナデ・オサエ、 内：ナデ	密	良	内外：にぶい黄橙10YR6／4	4／5		R430
411	SK8059	土師器杯	口径 器高	13.8 3.0	口：ヨコナデ、外：ナデ・オサエ、 内：ナデ	密	良	内外：にぶい褐7.5YR5／4	7／10		R305
412	SK8059	土師器杯	口径 器高	14.7 3.0	口：ヨコナデ、外：ナデ・オサエ、 内：ナデ	密	良	内外：にぶい黄橙10YR7／4	3／5		R429
413	SK8059	土師器杯	口径 器高	15.0 3.0	口：ヨコナデ、外：ナデ・オサエ、 内：ナデ	密	良	内外：橙7.5YR6／6	2／5		R314
414	SK8059	土師器杯	口径 器高	17.8 4.0	口：ヨコナデ、外：ナデ・オサエ、 内：ナデ	密	良	内外：にぶい黄橙10YR6／4	7／10		R306
415	SK8059	土師器鉢	口径 器高	20.0 6.2	口：ヨコナデ、外：ナデ・オサエ、 内：ナデ、底外：ナデ	密	良	内外：橙7.5YR7／6	3／10		R312
416	SK8059	土師器皿	口径 器高	12.0 0.8	口：ヨコナデ、外：ナデ・オサエ、 内：ナデ	密	良	内外：橙7.5YR7／6	2／5		R316
417	SK8059	土師器鍋	口径 器高	12.0	口：ヨコナデ、外：ナデ・オサエ、 内：ナデ・オサエ	密	良	内外：にぶい黄橙10YR6／4	3／10		R303
418	SK8059	緑釉陶器椀	高台径	8.0	外：ロクロナデ、内：ロクロナデ後ミガキ、高台貼付ナデ、底外：糸切り	密	軟質	内外：灰白2.5Y8／2 釉：浅緑840	高台100	底内外：トチン痕	R839
419	SK8059	灰釉陶器台付皿	底径	10.0	内外：ロクロナデ、体外：ロクロケズリ、 釉：つけかけ	密	良	内外：灰白2.5Y7／1 釉：灰オリーブ7.5Y6／2	1／5		R431
420	SK8059	土師器杯	口径 器高	13.8 2.5	口：ヨコナデ、外：ナデ・オサエ、 内：ナデ・オサエ	密	良	内外：橙7.5YR7／6	4／5		R790
421	SK8059	土師器杯	口径 器高	13.6 2.3	口：ヨコナデ、外：ナデ・オサエ、 内：ナデ・オサエ	密	良	内外：橙7.5YR7／6	4／5		R789
422	SK8069	土師器杯	口径 器高	12.4 2.5	口：ヨコナデ、外：ナデ・オサエ、 内：ナデ	密	良	内外：浅黄橙7.5YR8／4	2／5		R295
423	SK8069	土師器杯	口径 器高	12.2 2.3	口：ヨコナデ、外：ナデ・オサエ、 内：ナデ	密	良	内外：にぶい黄橙10YR7／4	7／10	底：穿孔	R296
424	SK8069	土師器皿	口径 器高	11.5 2.0	口：ヨコナデ、外：ナデ・オサエ、 内：ナデ	密	良	内外：にぶい橙10YR7／4	4／5		R297
425	SK8072	土師器杯	口径 器高	12.0 2.0	口：ヨコナデ、外：ナデ・オサエ、 内：ナデ	密	良	内外：にぶい黄橙10YR6／3	7／10		R420
426	SK8072	土師器杯	口径 器高	12.8 2.5	口：ヨコナデ、外：ナデ・オサエ、 内：ナデ	密	良	内外：にぶい黄橙10YR6／4	4／5		R422
427	SK8072	土師器杯	口径 器高	12.4 2.5	口：ヨコナデ、外：ナデ・オサエ、 内：ナデ	密	良	内外：明黄褐10YR6／6	完形		R416
428	SK8072	土師器杯	口径 器高	12.0 2.7	口：ヨコナデ、外：ナデ・オサエ、 内：ナデ	密	良	内外：にぶい黄橙10YR6／4、褐灰10YR5／1	9／10	内：煤付着	R419
429	SK8072	土師器杯	口径 器高	13.0 2.5	口：ヨコナデ、外：ナデ・オサエ、 内：ナデ	密	良	外：褐灰10YR4／1 内：にぶい黄橙10YR7／3、褐灰10YR4／1	7／10	内外：黒色物付着	R421
430	SK8072	土師器杯	口径 器高	13.2 3.2	口：ヨコナデ、外：ナデ・オサエ、 内：ナデ	密	良	内外：にぶい黄橙10YR6／4	9／10		R417
431	SK8072	土師器杯	口径 器高	14.2 3.0	口：ヨコナデ、外：ナデ・オサエ、 内：ナデ	密	良	内外：にぶい黄橙10YR6／4	9／10	外：黒色物付着	R414
432	SK8072	土師器皿	口径 器高	12.0 1.0	口：ヨコナデ、外：ナデ・オサエ、 内：ナデ	密	良	内外：にぶい黄橙10YR7／4	ほぼ完形		R415
433	SK8072	土師器台付皿	口径 高台径 器高	12.0 4.8 2.4	口：ヨコナデ、外：ナデ・オサエ、 内：ナデ、高台貼付ナデ	密	良	内外：明黄褐10YR6／6	口70 高台100		R418
434	SK6750	土師器杯	口径 器高	11.2 2.0	口：ヨコナデ、外：ナデ・オサエ、 内：ナデ・オサエ	密	良	内外：浅黄橙7.5YR8／4	ほぼ完形		R156
435	SK6750	土師器杯	口径 器高	11.2 2.3	口：ヨコナデ、外：ナデ・オサエ、 内：ナデ・オサエ	密	良	内外：橙5YR6／6	7／10		R174
436	SK6750	土師器杯	口径 器高	11.4 2.0	口：ヨコナデ、外：ナデ・オサエ、 内：ナデ・オサエ	密	良	内外：明黄褐10YR7／6	ほぼ完形		R132
437	SK6750	土師器杯	口径 器高	11.6 2.2	口：ヨコナデ、外：ナデ・オサエ、 内：ナデ	密	良	外：にぶい黄橙10YR6／4 内：橙7.5YR6／6	7／10		R120
438	SK6750	土師器杯	口径 器高	12.3 2.5	口：ヨコナデ、外：ナデ・オサエ、 内：ナデ・オサエ	密	良	内外：にぶい黄橙10YR7／4	完形		R149
439	SK6750	土師器杯	口径 器高	11.8 2.5	口：ヨコナデ、外：ナデ・オサエ、 内：ナデ	やや粗	良	内外：浅黄橙10YR8／3	7／10		R114
440	SK6750	土師器杯	口径 器高	12.0 2.1	口：ヨコナデ、外：ナデ・オサエ、 内：ナデ・オサエ	密	良	内外：にぶい黄橙10YR7／3	ほぼ完形		R155
441	SK6750	土師器杯	口径 器高	12.2 2.3	口：ヨコナデ、外：ナデ・オサエ、 内：ナデ・オサエ	密	良	内外：にぶい橙7.5YR7／4	9／10		R191
442	SK6750	土師器杯	口径 器高	12.0 2.5	口：ヨコナデ、外：ナデ・オサエ、 内：ナデ・オサエ	密	良	内外：にぶい黄橙10YR7／3	4／5		R171
443	SK6750	土師器杯	口径 器高	12.0 2.3	口：ヨコナデ、外：ナデ・オサエ、 内：ナデ・オサエ	密	良	内外：にぶい黄橙10YR7／3	4／5		R197
444	SK6750	土師器杯	口径 器高	12.4 2.3	口：ヨコナデ、外：ナデ・オサエ、 内：ナデ・オサエ	密	良	内外：浅黄橙10YR8／3	9／10		R190
445	SK6750	土師器杯	口径 器高	12.0 2.1	口：ヨコナデ、外：ナデ・オサエ、 内：ナデ・オサエ	密	良	内外：にぶい黄橙10YR7／3	4／5		R198

報告書番号	出土遺構	器種	計測値(cm)		調整・技法の特徴	胎土	焼成	色調	残存度	備考	登録番号
446	SK6750	土師器杯	口径 器高	12.0 2.2	口：ヨコナデ、外：ナデ・オサエ、 内：ナデ・オサエ	密	良	内外：にぶい黄橙10YR7／4	9／10		R194
447	SK6750	土師器杯	口径 器高	12.0 2.5	口：ヨコナデ、外：ナデ・オサエ、 内：ナデ・オサエ	密	良	内外：灰白2.5YR8／2	7／10		R131
448	SK6750	土師器杯	口径 器高	11.6 2.1	口：ヨコナデ、外：ナデ・オサエ、 内：ナデ・オサエ	密	良	内外：灰白10YR8／2	7／10		R136
449	SK6750	土師器杯	口径 器高	12.0 2.5	口：ヨコナデ、外：ナデ・オサエ、 内：ナデ・オサエ	密	良	内外：にぶい黄橙10YR6／4	9／10		R177
450	SK6750	土師器杯	口径 器高	12.2 2.5	口：ヨコナデ、外：ナデ・オサエ、 内：ナデ・オサエ	密	良	内外：浅黄橙10YR8／3	完形		R124
451	SK6750	土師器杯	口径 器高	11.7 2.6	口：ヨコナデ、外：ナデ・オサエ、 内：ナデ・オサエ	密	良	内外：にぶい橙7.5YR7／4	7／10	外：接合痕、黒色物付着	R167
452	SK6750	土師器杯	口径 器高	12.6 2.1	口：ヨコナデ、外：ナデ・オサエ、 内：ナデ・オサエ	密	良	内外：にぶい黄橙10YR7／4	完形		R183
453	SK6750	土師器杯	口径 器高	12.0 2.6	口：ヨコナデ、外：ナデ・オサエ、 内：ナデ・オサエ	密	良	内外：浅黄橙7.5YR8／4	完形		R129
454	SK6750	土師器杯	口径 器高	12.6 2.5	口：ヨコナデ、外：ナデ・オサエ、 内：ナデ・オサエ	密	良	内外：橙5YR6／6	1／2		R144
455	SK6750	土師器杯	口径 器高	12.4 2.6	口：ヨコナデ、外：ナデ・オサエ、 内：ナデ・オサエ	密	良	内外：浅黄橙10YR8／3	7／10	木質の圧痕	R152
456	SK6750	土師器杯	口径 器高	12.5 2.5	口：ヨコナデ、外：ナデ・オサエ、 内：ナデ・オサエ	密	良	内外：にぶい黄橙10YR6／4	ほぼ完形		R158
457	SK6750	土師器杯	口径 器高	12.6 2.5	口：ヨコナデ、外：ナデ・オサエ、 内：ナデ・オサエ	密	良	内外：橙7.5YR7／6	完形	外：接合痕	R125
458	SK6750	土師器杯	口径 器高	12.4 2.5	口：ヨコナデ、外：ナデ・オサエ、 内：ナデ・オサエ	密	良	内外：にぶい黄橙10YR7／3	9／10		R160
459	SK6750	土師器杯	口径 器高	12.4 2.3	口：ヨコナデ、外：ナデ・オサエ、 内：ナデ・オサエ	密	良	内外：にぶい黄橙10YR7／4	4／5		R208
460	SK6750	土師器杯	口径 器高	12.4 2.5	口：ヨコナデ、外：ナデ・オサエ、 内：ナデ・オサエ	密	良	内外：にぶい黄橙10YR6／4	9／10		R159
461	SK6750	土師器杯	口径 器高	11.7 2.5	口：ヨコナデ、外：ナデ・オサエ、 内：ナデ・オサエ	密	良	内外：にぶい黄橙10YR7／4	9／10		R143
462	SK6750	土師器杯	口径 器高	12.4 2.4	口：ヨコナデ、外：ナデ・オサエ、 内：ナデ・オサエ	密	良	内外：にぶい黄橙10YR7／4	7／10		R134
463	SK6750	土師器杯	口径 器高	12.2 2.4	口：ヨコナデ、外：ナデ・オサエ、 内：ナデ・オサエ	密	良	内外：橙7.5YR7／6	完形		R123
464	SK6750	土師器杯	口径 器高	12.0 2.5	口：ヨコナデ、外：ナデ・オサエ、 内：ナデ・オサエ	密	良	内外：浅黄橙10YR8／4	完形		R184
465	SK6750	土師器杯	口径 器高	12.2 2.5	口：ヨコナデ、外：ナデ・オサエ、 内：ナデ・オサエ	密	良	内外：浅黄橙10YR8／3	4／5		R179
466	SK6750	土師器杯	口径 器高	12.4 2.3	口：ヨコナデ、外：ナデ・オサエ、 内：ナデ・オサエ	密	良	内外：にぶい橙7.5YR7／4	完形		R182
467	SK6750	土師器杯	口径 器高	12.6 2.5	口：ヨコナデ、外：ナデ・オサエ、 内：ナデ・オサエ	密	良	内外：にぶい黄橙10YR6／4	7／10	外：接合痕、黒色物付着	R170
468	SK6750	土師器杯	口径 器高	13.0 2.5	口：ヨコナデ、外：ナデ・オサエ、 内：ナデ・オサエ	密	良	内外：にぶい黄橙10YR7／4	完形		R139
469	SK6750	土師器杯	口径 器高	13.8 2.5	口：ヨコナデ、外：ナデ・オサエ、 内：ナデ・オサエ	密	良	内外：にぶい橙7.5YR7／4	3／5		R188
470	SK6750	土師器杯	口径 器高	13.0 2.5	口：ヨコナデ、外：ナデ・オサエ、 内：ナデ・オサエ	密	良	内外：浅黄橙10YR8／4	9／10		R185
471	SK6750	土師器杯	口径 器高	12.4 2.5	口：ヨコナデ、外：ナデ・オサエ、 内：ナデ・オサエ	密	良	内外：にぶい黄橙10YR7／4	完形		R122
472	SK6750	土師器杯	口径 器高	12.4 2.4	口：ヨコナデ、外：ナデ・オサエ、 内：ナデ・オサエ	密	良	内外：にぶい黄橙10YR7／3	7／10		R147
473	SK6750	土師器杯	口径 器高	12.6 2.5	口：ヨコナデ、外：ナデ・オサエ、 内：ナデ・オサエ	密	良	内外：橙7.5YR6／8	7／10		R203
474	SK6750	土師器杯	口径 器高	12.9 2.9	口：ヨコナデ、外：ナデ・オサエ、 内：ナデ・オサエ	密	良	内外：浅黄橙7.5YR8／3	完形		R157
475	SK6750	土師器杯	口径 器高	13.0 2.5	口：ヨコナデ、外：ナデ・オサエ、 内：ナデ・オサエ	密	良	内外：にぶい橙5YR7／3	9／10		R196
476	SK6750	土師器杯	口径 器高	12.3 2.4	口：ヨコナデ、外：ナデ・オサエ、 内：ナデ・オサエ	密	良	内外：にぶい黄橙10YR6／4	3／5		R142
477	SK6750	土師器杯	口径 器高	13.0 2.7	口：ヨコナデ、外：ナデ・オサエ、 内：ナデ・オサエ	密	良	内外：にぶい黄橙10YR7／4	9／10		R140
478	SK6750	土師器杯	口径 器高	13.6 2.5	口：ヨコナデ、外：ナデ・オサエ、 内：ナデ・オサエ	密	良	内外：にぶい黄橙10YR7／3	1／2	底：径1.2cmの焼成後穿孔	R141
479	SK6750	土師器杯	口径 器高	13.7 2.1	口：ヨコナデ、外：ナデ・オサエ、 内：ナデ・オサエ	密	良	内外：にぶい黄橙10YR7／4	7／10		R128
480	SK6750	土師器杯	口径 器高	13.6 3.0	口：ヨコナデ、外：ナデ・オサエ、 内：ナデ・オサエ	密	良	内外：橙5YR6／6	7／10		R189
481	SK6750	土師器杯	口径 器高	12.8 3.2	口：ヨコナデ、外：ナデ・オサエ、 内：ナデ・オサエ	密	良	内外：にぶい黄橙10YR6／3	4／5		R202
482	SK6750	土師器杯	口径 器高	12.3 2.8	口：ヨコナデ、外：ナデ・オサエ、 内：ナデ・オサエ	密	良	内外：にぶい黄橙10YR7／3	7／10	外：接合痕	R169
483	SK6750	土師器杯	口径 器高	12.5 2.9	口：ヨコナデ、外：ナデ・オサエ、 内：ナデ	やや密	良	内外：浅黄橙10YR8／3	1／2	内外：灰カブリ	R115
484	SK6750	土師器杯	口径 器高	12.6 2.5	口：ヨコナデ、外：ナデ・オサエ、 内：ナデ	密	良	内外：浅黄橙10YR8／4	1／2		R112
485	SK6750	土師器杯	口径 器高	12.4 2.9	口：ヨコナデ、外：ナデ・オサエ、 内：ナデ	やや密	良	内外：にぶい黄橙10YR7／4	完形	口：黒色物付着	R117
486	SK6750	土師器杯	口径 器高	12.0 2.9	口：ヨコナデ、外：ナデ・オサエ、 内：ナデ	密	良	内外：黄灰2.5Y6／1	3／4		R113
487	SK6750	土師器杯	口径 器高	12.4 2.5	口：ヨコナデ、外：ナデ・オサエ、 内：ナデ・オサエ	密	良	内外：にぶい黄橙10YR6／4	完形		R178
488	SK6750	土師器杯	口径 器高	12.4 2.7	口：ヨコナデ、外：ナデ・オサエ、 内：ナデ	密	良	内外：にぶい黄橙10YR7／4	完形		R118
489	SK6750	土師器杯	口径 器高	13.2 2.8	口：ヨコナデ、外：ナデ・オサエ、 内：ナデ・オサエ	密	良	内外：にぶい黄橙10YR7／4	9／10	底：接合痕 内：中心に二次焼成？	R148
490	SK6750	土師器杯	口径 器高	14.2 3.5	口：ヨコナデ、外：ナデ・オサエ、 内：ナデ・オサエ	密	良	内外：にぶい橙7.5YR7／4	9／10		R209
491	SK6750	土師器杯	口径 器高	14.3 3.6	口：ヨコナデ、外：ナデ・オサエ、 内：ナデ	密	良	内外：浅黄橙10YR8／3	ほぼ完形	内外：灰カブリ	R111
492	SK6750	土師器皿	口径 器高	10.7 1.4	口：ヨコナデ、外：ナデ・オサエ、 内：ナデ・オサエ	密	良	内外：にぶい黄橙10YR7／3	9／10		R199
493	SK6750	土師器皿	口径 器高	11.8 1.6	口：ヨコナデ、外：ナデ・オサエ、 内：ナデ・オサエ	密	良	内外：橙7.5YR6／6	7／10		R201
494	SK6750	土師器台付皿	口径 高台径 器高	10.8 5.1 1.6	口：ヨコナデ、外：ナデ・オサエ、 内：ナデ・オサエ、脚：ヨコナデ	密	良	内外：にぶい橙7.5YR7／4	完形	口・高台：黒色物付着	R137
495	SK6750	土師器台付皿	口径 高台径	11.4 1.9	口：ヨコナデ、外：ナデ・オサエ、 内：ナデ、高台貼付ナデ	密	良	内外：にぶい橙7.5YR7／4	4／5		R121
496	SK6750	土師器台付皿	口径 高台径 器高	11.4 5.8 2.0	口：ヨコナデ、外：ナデ・オサエ、 内：ナデ・オサエ、脚：ヨコナデ	密	良	内外：橙7.5YR6／6	9／10		R172

報告書番号	出土遺構	器種	計測値(cm)		調整・技法の特徴	胎土	焼成	色調	残存度	備考	
497	SK6750	土師器 台付皿	口径 高台径 器高	11.5 6.2 1.4	口：ヨコナデ、外：ナデ・オサエ、 内：ナデ・オサエ、脚：ヨコナデ	密	良	内外：にぶい橙7.5YR7／4	4／5		R210
498	SK6750	土師器 台付皿	口径 高台径 器高	11.8 5.4 1.7	口：ヨコナデ、外：ナデ・オサエ、 内：ナデ・オサエ、脚：ヨコナデ	密	良	内外：浅黄橙7.5YR8／4	1／2		R173
499	SK6750	土師器 台付皿	口径 高台径 器高	10.9 5.1 1.9	口：ヨコナデ、外：ナデ・オサエ、 内：ナデ・オサエ、脚：ヨコナデ	密	良	内外：橙7.5YR7／6	9／10		R180
500	SK6750	土師器 台付皿	口径 高台径 器高	11.4 5.7 2.0	口：ヨコナデ、外：ナデ・オサエ、 内：ナデ・オサエ、脚：ヨコナデ	密	良	内外：橙5YR7／6	完形		R127
501	SK6750	土師器 台付皿	口径 高台径 器高	11.5 6.3 2.0	口：ヨコナデ、外：ナデ・オサエ、 内：ナデ・オサエ、脚：ヨコナデ	密	良	内外：にぶい黄橙10YR7／2	9／10		R126
502	SK6750	土師器 台付皿	口径 高台径 器高	11.6 6.5 1.5	口：ヨコナデ、外：ナデ・オサエ、 内：ナデ・オサエ、脚：ヨコナデ	密	良	内外：橙7.5YR7／6	4／5		R135
503	SK6750	土師器 台付皿	口径 高台径 器高	12.1 5.8 1.4	口：ヨコナデ、外：ナデ・オサエ、 内：ナデ・オサエ、脚：ヨコナデ	密	良	内外：にぶい橙7.5YR6／4	完形		R133
504	SK6750	土師器 台付皿	口径 高台径 器高	11.6 6.6 2.0	口：ヨコナデ、外：ナデ・オサエ、 内：ナデ・オサエ、脚：ヨコナデ	密	良	内外：にぶい黄橙10YR7／3	4／5	二次焼成？	R150
505	SK6750	土師器 台付皿	口径 高台径 器高	11.3 6.4 2.6	口：ヨコナデ、外：ナデ・オサエ、 内：ナデ・オサエ、脚：ヨコナデ	密	良	内外：橙7.5YR6／6	口60 高台100		R200
506	SK6750	土師器 台付皿	口径 高台径 器高	11.4 5.8 2.3	口：ヨコナデ、外：ナデ・オサエ、 内：ナデ・オサエ、脚：ヨコナデ	密	良	内外：浅黄橙10YR8／4	7／10		R192
507	SK6750	土師器 台付皿	口径 高台径 器高	11.4 5.6 2.2	口：ヨコナデ、外：ナデ・オサエ、 内：ナデ・オサエ、脚：ヨコナデ	密	良	内外：にぶい橙7.5YR7／4	完形		R181
508	SK6750	土師器 台付皿	口径 高台径 器高	11.0 6.6 2.0	口：ヨコナデ、外：ナデ・オサエ、 内：ナデ・オサエ、脚：ヨコナデ	密	良	内外：明黄褐10YR7／6	9／10		R164
509	SK6750	土師器 台付皿	口径 高台径 器高	11.4 6.0 2.8	口：ヨコナデ、外：ナデ・オサエ、 内：ナデ・オサエ、脚：ヨコナデ	密	良	内外：橙7.5YR7／6	完形		R162
510	SK6750	土師器 台付皿	口径 高台径 器高	11.8 6.4 2.0	口：ヨコナデ、外：ナデ・オサエ、 内：ナデ・オサエ、脚：ヨコナデ	密	良	内外：にぶい黄橙10YR7／3	7／10		R212
511	SK6750	土師器 台付皿	口径 高台径 器高	11.1 5.8 2.0	口：ヨコナデ、外：ナデ・オサエ、 内：ナデ・オサエ、脚：ヨコナデ	密	良	内外：にぶい橙7.5YR7／4	3／5		R145
512	SK6750	土師器 台付皿	口径 高台径 器高	11.7 5.6 2.2	口：ヨコナデ、外：ナデ・オサエ、 内：ナデ・オサエ、脚：ヨコナデ	密	良	内外：明黄褐１０YR7／6	3／5		R146
513	SK6750	土師器 台付皿	口径 高台径 器高	11.7 6.5 2.0	口：ヨコナデ、外：ナデ・オサエ、 内：ナデ・オサエ、脚：ヨコナデ	密	良	内外：灰白10YR8／2	4／5		R211
514	SK6750	土師器 台付皿	口径 高台径 器高	11.2 5.8 2.2	口：ヨコナデ、外：ナデ・オサエ、 内：ナデ・オサエ、脚：ヨコナデ	密	良	内外：浅黄橙10YR7／4	4／5		R187
515	SK6750	土師器 台付皿	口径 高台径 器高	11.2 6.4 2.0	口：ヨコナデ、外：ナデ・オサエ、 内：ナデ・オサエ、脚：ヨコナデ	密	良	内外：にぶい橙7.5YR7／4	3／5		R138
516	SK6750	土師器 台付皿	口径 高台径 器高	12.7 6.0 2.4	口：ヨコナデ、外：ナデ・オサエ、 内：ナデ・オサエ、脚：ヨコナデ	密	良	内外：にぶい黄橙10YR7／3	ほぼ 完形		R153
517	SK6750	土師器 台付皿	口径 高台径 器高	11.9 7.0 3.0	口：ヨコナデ、外：ナデ・オサエ・ タテハケ、 内：ナデ・オサエ、脚：ヨコナデ	密	良	内外：にぶい橙7.5YR7／4	9／10		R161
518	SK6750	土師器 台付皿	口径 高台径 器高	12.4 7.2 2.6	口：ヨコナデ、外：ナデ・オサエ、 内：ナデ、高台貼付ナデ	密	良	内外：浅黄橙10YR8／4	7／10		R116
519	SK6750	土師器 台付皿	口径 高台径 器高	13.4 7.5 2.7	口：ヨコナデ、外：ナデ・オサエ、 内：ナデ・オサエ、脚：ヨコナデ	密	良	内外：橙7.5YR7／6	口40 高台100		R195
520	SK6750	土師器 台付皿	口径 高台径 器高	14.3 8.7 3.5	口：ヨコナデ、外：ナデ・オサエ、 内：ナデ・オサエ、脚：ヨコナデ	密	良	内外：浅黄2.5YR8／4	完形		R154
521	SK6750	土師器 台付皿	口径 高台径 器高	15.0 8.8 3.6	口：ヨコナデ、外：ナデ・オサエ、 内：ナデ・オサエ、脚：ヨコナデ	密	良	内外：にぶい橙7.5YR7／4	口40 高台80		R130
522	SK6750	土師器 台付皿	口径 高台径 器高	12.3 7.4 3.6	口：ヨコナデ、外：ナデ・オサエ・ タテハケ、 内：ナデ・オサエ、脚：ヨコナデ	密	良	内外：にぶい黄橙10YR7／3	7／10		R163
523	SK6750	土師器 台付椀	口径 高台径 器高	15.7 8.2 4.2	口：ヨコナデ、外：ナデ・オサエ、 内：ナデ・オサエ、脚：ヨコナデ	密	良	内外：灰黄褐10YR6／2	3／5	内：布目圧痕	R186

報告番号	出土遺構	器種	計測値(cm)		調整・技法の特徴	胎土	焼成	色調	残存度	備考	登録番号
524	SK6750	土師器 甕	口径 器高	15.2 —	口：ヨコナデ、体内外：ナデ	密	良	内外：にぶい黄橙10YR7／4	2／5	内・外体上：黒色	R207
525	SK6750	土師器 甕	口径 器高	19.0	口：ヨコナデ、体外：タテハケ、 内：ヨコハケ	密	良	内外：にぶい黄橙10YR7／3	口40	内：接合痕	R204
526	SK6750	黒色土器 鉢	口径 器高	29.8 15.4	口：ヨコナデ、 体外上：ナデ後ヘラミガキ、 体外下～底外：ナデ、内：ヘラミガキ	密	良	外：オリーブ黒5Y3／1、にぶい黄橙10YR7／4 内：オリーブ黒5Y3／1	1／2		R834
527	SK6750	須恵器 甕	口径 器高	26.4 —	口：ヨコナデ、 内外：ロクロナデ	密	良	内外：灰白5Y7／2	口60		R206
528	SK6750	須恵器 鉢	口径 器高	— —	口：ヨコナデ、 内外：ロクロナデ	密	良	内外：灰7.5Y6／1	1／10	玉縁口縁	R205
529	SK6750	青磁 椀	口径 器高	— —	ロクロナデ	密	良	内外：鶯茶5－815			R851
530	SK6750	緑釉陶器 椀	口径 高台径 器高	8.5 4.0 3.0	外：ロクロケズリ、ロクロナデ、 内：ヘラミガキ	密	良	内外：灰N4／0 釉：萌葱色5－832	3／5		R849
531	SK6750	緑釉陶器 段皿	口径 高台径 器高	12.6 6.3 2.5	口～体：ロクロナデ、 底：ヘラミガキ、高台貼付ナデ	密	良	内外：苔色5－837	7／10		R845
532	SK6750	緑釉陶器 椀	口径	12.7	内外：ロクロナデ	密	良	内外：灰黄2.5Y7／2	口15		R21
533	SK6750	灰釉陶器 椀	口径 高台径 器高	14.0 8.0 4.0	口：ロクロナデ、高台貼付ナデ、 脚：ヨコナデ	密	良	内外：灰黄2.5YR6／2	2／5		R176
534	SK6750	緑釉陶器 椀	高台径	7.8	内外：ロクロナデ、貼り付け高台、 底外：糸切り痕	密	良	内外：灰黄褐10YR6／2 釉：香橄緑5－833	3／5	内：トチン痕、重ね焼痕	R819
535	SK6750	土製品	残長辺 残短辺	12.9 2.2	手づくね	密	良	浅黄橙10YR8／3、にぶい黄橙10YR6／3、赤橙10R6／6、にぶい赤橙10R6／4、暗赤灰10R4／1	完形		R820
536	SD1460	土師器 杯	口径 器高	11.5 1.8	口：ヨコナデ、外：ナデ・オサエ、 内：ナデ・オサエ	密	良	内外：浅黄橙10YR8／4	7／10		R89
537	SD1460	土師器 杯	口径 器高	12.0 2.0	口：ヨコナデ、外：ナデ・オサエ、 内：ナデ・オサエ	密	良	内外：灰白10YR8／2	9／10	底外：接合痕	R81
538	SD1460	土師器 杯	口径 器高	11.5 2.0	口：ヨコナデ、外：ナデ・オサエ、 内：ナデ	密	良	内外：浅黄橙10YR8／3	7／10		R104
539	SD1460	土師器 杯	口径 器高	11.5 2.1	口：ヨコナデ、外：ナデ・オサエ、 内：ナデ・オサエ	密	良	内外：浅橙5YR8／4	7／10	二次焼成？	R41
540	SD1460	土師器 杯	口径 器高	11.9 2.0	口：ヨコナデ、外：ナデ・オサエ、 内：ナデ	密	良	内外：にぶい黄橙7.5YR7／4	完形		R25
541	SD1460	土師器 杯	口径 器高	12.4 2.5	口：ヨコナデ、外：ナデ・オサエ、 内：ナデ・オサエ	密	良	内外：にぶい黄橙10YR6／4	完形		R68
542	SD1460	土師器 杯	口径 器高	12.5 2.3	口：ヨコナデ、外：ナデ・オサエ、 内：ナデ・オサエ	密	良	内外：橙7.5YR6／6	3／5		R82
543	SD1460	土師器 杯	口径 器高	11.7 2.2	口：ヨコナデ、外：ナデ・オサエ、 内：ナデ	やや 密	良	内外：にぶい黄橙10YR6／4	ほぼ 完形	外：黒色物付着	R2
544	SD1460	土師器 杯	口径 器高	11.6 2.2	口：ヨコナデ、外：ナデ・オサエ、 内：ナデ	やや 粗	良	内外：浅黄橙10YR8／3	ほぼ 完形		R13
545	SD1460	土師器 杯	口径 器高	12.2 2.2	口：ヨコナデ、外：ナデ・オサエ、 内：ナデ・オサエ	密	良	内外：にぶい黄橙10YR7／2	2／5		R79
546	SD1460	土師器 杯	口径 器高	11.4 2.2	口：ヨコナデ、外：ナデ・オサエ、 内：ナデ	やや 粗	やや 軟	内外：灰白2.5YR8／2	完形		R21
547	SD1460	土師器 杯	口径 器高	11.8 2.3	口：ヨコナデ、外：ナデ・オサエ、 内：ナデ・オサエ	密	良	内外：にぶい黄橙10YR7／4	1／2		R58
548	SD1460	土師器 杯	口径 器高	12.6 2.0	口：ヨコナデ、外：ナデ・オサエ、 内：ナデ・オサエ	密	良	内外：にぶい黄橙10YR6／4	4／5		R55
549	SD1460	土師器 杯	口径 器高	12.6 2.6	口：ヨコナデ、外：ナデ・オサエ、 内：ナデ	密	良	内外：にぶい黄橙10YR7／4	ほぼ 完形		R26
550	SD1460	土師器 杯	口径 器高	12.6 2.2	口：ヨコナデ、外：ナデ・オサエ、 内：ナデ・オサエ	密	良	内外：にぶい黄橙10YR7／4	3／5		R37
551	SD1460	土師器 杯	口径 器高	11.0 2.3	口：ヨコナデ、外：ナデ・オサエ、 内：ナデ・オサエ	密	良	内外：にぶい黄橙10YR7／4	9／10		R94
552	SD1460	土師器 杯	口径 器高	12.0 2.3	口：ヨコナデ、外：ナデ・オサエ、 内：ナデ・オサエ	密	良	内外：にぶい黄橙10YR7／3	1／2		R54
553	SD1460	土師器 杯	口径 器高	12.0 2.4	口：ヨコナデ、外：ナデ・オサエ、 内：ナデ・オサエ	密	良	内外：橙5YR7／6	完形		R48
554	SD1460	土師器 杯	口径 器高	12.2 2.5	口：ヨコナデ、外：ナデ・オサエ、 内：ナデ・オサエ	密	良	内外：浅黄橙7.5YR8／3	4／5		R78
555	SD1460	土師器 杯	口径 器高	11.8 2.5	口：ヨコナデ、外：ナデ・オサエ、 内：ナデ・オサエ	密	良	内外：明黄褐10YR7／6	9／10		R98
556	SD1460	土師器 杯	口径 器高	12.1 2.6	口：ヨコナデ、外：ナデ・オサエ、 内：ナデ	密	良	内外：にぶい橙7.5YR7／4	完形		R27
557	SD1460	土師器 杯	口径 器高	12.0 2.7	口：ヨコナデ、外：ナデ・オサエ、 内：ナデ	密	良	内外：浅黄橙10YR8／3	ほぼ 完形		R28
558	SD1460	土師器 杯	口径 器高	12.0 2.6	口：ヨコナデ、外：ナデ・オサエ、 内：ナデ	密	良	内外：橙7.5YR7／6	3／5		R107
559	SD1460	土師器 杯	口径 器高	11.9 2.6	口：ヨコナデ、外：ナデ・オサエ、 内：ナデ	やや 粗	良	内外：にぶい黄橙10YR7／4	1／2		R7
560	SD1460	土師器 杯	口径 器高	11.8 2.3	口：ヨコナデ、外：ナデ・オサエ、 内：ナデ・オサエ	密	良	内外：灰白10YR8／2	7／10	二次焼成？	R65
561	SD1460	土師器 杯	口径 器高	12.0 2.5	口：ヨコナデ、外：ナデ・オサエ、 内：ナデ	密	良	内外：にぶい黄橙10YR7／3	ほぼ 完形		R31
562	SD1460	土師器 杯	口径 器高	12.0 2.8	口：ヨコナデ、外：ナデ・オサエ、 内：ナデ	やや 密	良	内外：にぶい黄橙10YR7／4	3／5		R8
563	SD1460	土師器 杯	口径 器高	12.0 2.3	口：ヨコナデ、外：ナデ・オサエ、 内：ナデ・オサエ	密	良	内外：浅黄橙7.5YR8／4	完形		R45
564	SD1460	土師器 杯	口径 器高	12.2 2.3	口：ヨコナデ、外：ナデ・オサエ、 内：ナデ	密	良	内外：橙7.5YR7／6	3／5		R35
565	SD1460	土師器 杯	口径 器高	12.4 2.4	口：ヨコナデ、外：ナデ・オサエ、 内：ナデ・オサエ	密	良	内外：浅黄橙7.5YR8／3	4／5		R77
566	SD1460	土師器 杯	口径 器高	12.1 2.8	口：ヨコナデ、外：ナデ・オサエ、 内：ナデ	密	良	内外：にぶい黄橙10YR7／4	ほぼ 完形		R29
567	SD1460	土師器 杯	口径 器高	12.6 2.5	口：ヨコナデ、外：ナデ・オサエ、 内：ナデ・オサエ	密	良	内外：浅黄橙10YR8／3	7／10		R90
568	SD1460	土師器 杯	口径 器高	12.0 2.8	口：ヨコナデ、外：ナデ・オサエ、 内：ナデ	密	良	内外：浅黄橙10YR8／3	完形		R12
569	SD1460	土師器 杯	口径 器高	11.4 2.8	口：ヨコナデ、外：ナデ・オサエ、 内：ナデ・オサエ	密	良	内外：浅黄橙10YR8／4	4／5		R70
570	SD1460	土師器 杯	口径 器高	12.2 2.6	口：ヨコナデ、外：ナデ・オサエ、 内：ナデ・オサエ	密	良	内外：にぶい橙7.5YR7／4	9／10		R86
571	SD1460	土師器 杯	口径 器高	12.0 2.7	口：ヨコナデ、外：ナデ・オサエ、 内：ナデ・オサエ	密	良	内外：橙5YR7／6	1／2	外：剥離部分	R63
572	SD1460	土師器 杯	口径 器高	12.3 2.7	口：ヨコナデ、外：ナデ・オサエ、 内：ナデ	密	良	内外：浅黄橙10YR8／3	ほぼ 完形		R30

報告書番号	出土遺構	器種	計測値(cm)		調整・技法の特徴	胎土	焼成	色調	残存度	備考	登録番号
573	SD1460	土師器 杯	口径 器高	12.4 2.5	口：ヨコナデ、外：ナデ・オサエ、 内：ナデ・オサエ	密	良	内外：にぶい黄橙10YR6／3	3／5		R56
574	SD1460	土師器 杯	口径 器高	12.2 2.5	口：ヨコナデ、外：ナデ・オサエ、 内：ナデ・オサエ	密	良	内外：橙7.5YR7／6	4／5		R42
575	SD1460	土師器 杯	口径 器高	12.2 2.9	口：ヨコナデ、外：ナデ・オサエ、 内：ナデ	やや密	良	外：にぶい黄橙10YR7／4 内：浅黄橙10YR8／4	完形	底外：煤付着	R19
576	SD1460	土師器 杯	口径 器高	12.4 2.7	口：ヨコナデ、外：ナデ・オサエ、 内：ナデ・オサエ	密	良	内外：灰白10YR8／2	9／10		R53
577	SD1460	土師器 杯	口径 器高	12.4 2.5	口：ヨコナデ、外：ナデ・オサエ、 内：ナデ・オサエ	密	良	内外：にぶい黄橙10YR7／4	3／5		R36
578	SD1460	土師器 杯	口径 器高	12.0 2.5	口：ヨコナデ、外：ナデ・オサエ、 内：ナデ・オサエ	密	良	内外：にぶい黄橙10YR7／4	3／5		R39
579	SD1460	土師器 杯	口径 器高	12.6 2.4	口：ヨコナデ、外：ナデ・オサエ、 内：ナデ・オサエ	密	良	内外：橙7.5YR7／6	2／5		R66
580	SD1460	土師器 杯	口径 器高	12.2 2.5	口：ヨコナデ、外：ナデ・オサエ、 内：ナデ・オサエ	密	良	内外：浅黄橙10YR8／3	完形	内：黒色物付着	R38
581	SD1460	土師器 杯	口径 器高	12.5 2.6	口：ヨコナデ、外：ナデ・オサエ、 内：ナデ・オサエ	密	良	内外：にぶい黄橙10YR7／3	ほぼ完形		R93
582	SD1460	土師器 杯	口径 器高	12.8 2.8	口：ヨコナデ、外：ナデ・オサエ、 内：ナデ・オサエ	密	良	内外：にぶい黄橙10YR7／4	完形	二次焼成？ 外：接合痕 内：黒色物付着	R75
583	SD1460	土師器 杯	口径 器高	12.4 2.6	口：ヨコナデ、外：ナデ・オサエ、 内：ナデ・オサエ	密	良	内外：にぶい黄橙10YR7／3	完形	内外：黒色物付着	R72
584	SD1460	土師器 杯	口径 器高	11.5 2.6	口：ヨコナデ、外：ナデ・オサエ、 内：ナデ・オサエ	密	良	内外：浅黄橙10YR8／3	ほぼ完形		R92
585	SD1460	土師器 杯	口径 器高	12.7 3.0	口：ヨコナデ、外：ナデ・オサエ、 内：ナデ	やや密	良	外：灰白2.5Y8／2 内：浅黄2.5Y7／3	1／2		R5
586	SD1460	土師器 杯	口径 器高	12.3 2.8	口：ヨコナデ、外：ナデ・オサエ、 内：ナデ・オサエ	密	良	内外：にぶい黄橙10YR7／4	完形	内：黒色物付着	R74
587	SD1460	土師器 杯	口径 器高	12.0 3.1	口：ヨコナデ、外：ナデ・オサエ、 内：ナデ	やや密	良	内外：にぶい黄橙10YR6／4	完形	内：黒色物付着	R15
588	SD1460	土師器 杯	口径 器高	11.8 3.0	口：ヨコナデ、外：ナデ・オサエ、 内：ナデ	密	良	内外：浅黄橙10YR8／4	9／10		R100
589	SD1460	土師器 杯	口径 器高	12.4 2.8	口：ヨコナデ、外：ナデ・オサエ、 内：ナデ	やや粗	やや軟	内外：灰白2.5YR8／2	完形		R16
590	SD1460	土師器 杯	口径 器高	12.4 3.0	口：ヨコナデ、外：ナデ・オサエ、 内：ナデ	密	良	内外：にぶい黄橙10YR7／3	ほぼ完形		R102
591	SD1460	土師器 杯	口径 器高	12.6 2.8	口：ヨコナデ、外：ナデ・オサエ、 内：ナデ・オサエ	密	良	内外：浅黄橙7.5YR8／4	9／10		R73
592	SD1460	土師器 杯	口径 器高	12.8 2.8	口：ヨコナデ、外：ナデ・オサエ、 内：ナデ・オサエ	密	良	内外：にぶい橙7.5YR7／4	完形		R46
593	SD1460	土師器 杯	口径 器高	13.4 2.9	口：ヨコナデ、外：ナデ・オサエ、 内：ナデ	やや粗	やや軟	内外：灰白2.5Y8／2	ほぼ完形		R1
594	SD1460	土師器 杯	口径 器高	13.6 2.8	口：ヨコナデ、外：ナデ・オサエ、 内：ナデ・オサエ	密	良	内外：にぶい黄橙10YR7／3	7／10		R57
595	SD1460	土師器 杯	口径 器高	13.6 3.2	口：ヨコナデ、外：ナデ・オサエ、 内：ナデ・オサエ	密	良	内外：浅橙5YR8／4	7／10	二次焼成？	R40
596	SD1460	土師器 杯	口径 器高	14.5 3.0	口：ヨコナデ、外：ナデ・オサエ、 内：ナデ・オサエ	密	良	内外：にぶい黄橙10YR7／3	4／5		R76
597	SD1460	土師器 杯	口径 器高	15.6 3.7	口：ヨコナデ、外：ナデ・オサエ、 内：ナデ	やや粗	良	内外：にぶい黄橙10YR7／4	ほぼ完形		R11
598	SD1460		口径 器高	14.0 2.6	口：ヨコナデ、外：ナデ・オサエ、 内：ナデ	密	良	内外：灰白10YR8／2	1／5	外：墨痕	R840
599	SD1460	土師器 皿	口径 器高	10.8 1.6	口：ヨコナデ、外：ナデ・オサエ、 内：ナデ	密	良	内外：浅黄橙7.5YR8／4	完形		R33
600	SD1460	土師器 皿	口径 器高	11.0 1.6	口：ヨコナデ、外：ナデ・オサエ、 内：ナデ	密	良	内外：浅黄橙10YR8／3	完形		R32
601	SD1460	土師器 台付皿	口径 器高	11.0 1.5	口：ヨコナデ、外：ナデ・オサエ、 内：ナデ・オサエ	密	良	内外：にぶい黄橙10YR7／3	9／10	高台剥離	R85
602	SD1460	土師器 皿	口径 器高	10.2 1.0	口：ヨコナデ、外：ナデ・オサエ、 内：ナデ・オサエ	密	良	内外：橙5YR7／6	4／5		R62
603	SD1460	土師器 皿	口径 器高	11.3 1.5	口：ヨコナデ、外：ナデ・オサエ、 内：ナデ	やや密	良	外：にぶい黄橙10YR7／4 内：にぶい黄橙10YR7／3	9／10		R4
604	SD1460	土師器 皿	口径 器高	11.4 1.2	口：ヨコナデ、外：ナデ・オサエ、 内：ナデ	やや粗	良	内外：にぶい黄橙10YR7／4	完形		R17
605	SD1460	土師器 皿	口径 器高	11.5 0.9	口：ヨコナデ、外：ナデ・オサエ、 内：ナデ・オサエ	密	良	内外：にぶい橙7.5YR7／4	3／5		R96
606	SD1460	土師器 皿	口径 器高	11.2 1.5	口：ヨコナデ、外：ナデ・オサエ、 内：ナデ・オサエ	密	良	内外：にぶい黄橙10YR7／4	完形		R95
607	SD1460	土師器 台付皿	口径 高台径 器高	11.0 4.2 1.5	口：ヨコナデ、外：ナデ・オサエ、 内：ナデ・オサエ、脚：ヨコナデ	密	良	内外：浅黄橙10YR8／3	完形		R91
608	SD1460	土師器 台付皿	口径 高台径 器高	11.5 4.3 1.7	口：ヨコナデ、外：ナデ・オサエ、 内：ナデ・オサエ、脚：ヨコナデ	密	良	内外：浅黄橙10YR8／3	9／10		R88
609	SD1460	土師器 台付皿	口径 高台径 器高	10.0 5.4 1.6	口：ヨコナデ、外：ナデ・オサエ、 内：ナデ、高台貼付ナデ	やや粗	良	内外：にぶい黄橙10YR6／3	3／5	内外：黒色物付着	R10
610	SD1460	土師器 台付皿	口径 高台径 器高	10.3 5.8 2.0	口：ヨコナデ、外：ナデ・オサエ、 内：ナデ・オサエ、脚：ヨコナデ	密	良	内外：橙7.5YR7／6	4／5	高台：黒色物付着	R61
611	SD1460	土師器 台付皿	口径 高台径 器高	11.5 5.4 1.7	口：ヨコナデ、外：ナデ・オサエ、 内：ナデ・オサエ、脚：ヨコナデ	密	良	内外：橙7.5YR7／6	7／10		R84
612	SD1460	土師器 台付皿	口径 高台径 器高	11.4 6.0 1.7	口：ヨコナデ、外：ナデ・オサエ、 内：ナデ・オサエ、脚：ヨコナデ	密	良	内外：橙7.5YR7／6	7／10		R60
613	SD1460	土師器 台付皿	口径 高台径 器高	11.0 6.4 1.9	口：ヨコナデ、外：ナデ・オサエ、 内：ナデ・オサエ、脚：ヨコナデ	密	良	内外：橙7.5YR7／6	完形	内：黒色物付着	R47
614	SD1460	土師器 台付皿	口径 高台径 器高	11.1 6.3 1.8	口：ヨコナデ、外：ナデ・オサエ、 内：ナデ・オサエ、脚：ヨコナデ	密	良	内外：にぶい橙7.5YR7／3	9／10		R99
615	SD1460	土師器 台付皿	口径 高台径 器高	12.0 6.8 2.0	口：ヨコナデ、外：ナデ・オサエ、 内：ナデ・オサエ、脚：ヨコナデ	密	良	内外：にぶい黄橙10YR7／4	4／5		R44

報告書番号	出土遺構	器種	計測値(cm)		調整・技法の特徴	胎土	焼成	色調	残存度	備考	登録番号
616	SD1460	土師器台付皿	口径 高台径 器高	10.6 5.5 2.1	口：ヨコナデ、外：ナデ・オサエ、 内：ナデ・オサエ、脚：ヨコナデ	密	良	内外：橙7.5YR7/6	7/10		R43
617	SD1460	土師器台付皿	口径 高台径 器高	11.0 6.7 2.0	口：ヨコナデ、外：ナデ・オサエ、 内：ナデ、高台貼付ナデ	密	良	内外：にぶい黄橙10YR6/3	7/10		R108
618	SD1460	土師器台付皿	口径 高台径 器高	12.4 4.9 1.5	口：ヨコナデ、外：ナデ・オサエ、 内：ナデ・オサエ、脚：ヨコナデ	密	良	内外：橙7.5YR7/6	9/10		R80
619	SD1460	土師器台付皿	口径 高台径 器高	12.1 6.0 2.0	口：ヨコナデ、外：ナデ・オサエ、 内：ナデ・オサエ、脚：ヨコナデ	密	良	内外：にぶい橙7.5YR7/4	4/5		R52
620	SD1460	土師器台付皿	口径 高台径 器高	13.0 7.5 2.0	口：ヨコナデ、外：ナデ・オサエ、 内：ナデ・オサエ、脚：ヨコナデ	密	良	内外：橙7.5YR6/6	ほぼ完形	外：接合痕	R71
621	SD1460	灰釉陶器台付皿	口径 高台径 器高	12.8 7.3 1.8	内外：ロクロナデ、 底外：回転糸切り痕、 釉：つけ掛け	密	良	内外：灰白5Y7/1	2/5		R106
622	SD1460	土師器台付皿	口径 高台径 器高	11.3 5.8 2.4	口：ヨコナデ、外：ナデ・オサエ、 内：ナデ、高台貼付ナデ	やや密	良	内外：にぶい黄橙10YR7/4	完形	外：接合痕	R18
623	SD1460	土師器台付皿	口径 高台径 器高	11.6 6.7 2.5	口：ヨコナデ、外：ナデ・オサエ、 内：ナデ・オサエ、脚：ヨコナデ	密	良	内外：にぶい橙7.5YR7/4	完形		R69
624	SD1460	土師器台付皿	口径 高台径 器高	12.0 5.6 2.6	口：ヨコナデ、体外：タテハケ、 底外：ナデ・オサエ、 内：ナデ・オサエ、脚：ヨコナデ	密	良	内外：浅黄橙10YR8/4	2/5	タテハケ：8本/1.1cm	R50
625	SD1460	土師器台付皿	口径 高台径 器高	11.4 6.7 2.7	口：ヨコナデ、外：ナデ・オサエ、 内：ナデ、高台貼付ナデ	密	良	内外：橙7.5YR7/6	7/10		R105
626	SD1460	土師器台付皿	口径 高台径 器高	11.8 5.1 2.5	口：ヨコナデ、外：ナデ・オサエ、 内：ナデ・オサエ、脚：ヨコナデ	密	良	内外：浅黄橙7.5YR8/6	9/10		R67
627	SD1460	土師器台付皿	口径 高台径 器高	12.1 6.6 2.6	口：ヨコナデ、外：ナデ・オサエ、 内：ナデ、高台貼付ナデ	やや密	良	内外：にぶい黄橙10YR7/3	完形	内外：煤付着 底内：布目痕	R20
628	SD1460	土師器台付皿	口径 高台径 器高	11.9 5.5 2.6	口：ヨコナデ、外：ナデ・オサエ、 内：ナデ、高台貼付ナデ	やや密	良	内外：にぶい黄橙10YR7/4	7/10		R6
629	SD1460	土師器台付皿	口径 高台径 器高	12.2 6.6 2.5	口：ヨコナデ、外：ナデ・オサエ、 内：ナデ・オサエ、脚：ヨコナデ	密	良	内外：にぶい黄橙10YR6/4	3/5		R51
630	SD1460	土師器台付皿	口径 高台径 器高	12.1 6.8 2.7	口：ヨコナデ、外：ナデ・オサエ、 内：ナデ、高台貼付ナデ	やや密	良	内外：にぶい橙7.5YR7/4	3/4		R22
631	SD1460	土師器台付皿	口径 高台径 器高	11.7 7.0 2.6	口：ヨコナデ、外：ナデ・オサエ、 内：ナデ、高台貼付ナデ	密	良	内外：浅黄橙7.5YR8/3	ほぼ完形		R34
632	SD1460	土師器台付皿	口径 高台径 器高	12.3 5.9 3.0	口：ヨコナデ、外：ナデ・オサエ、 内：ナデ、高台貼付ナデ	やや粗	良	内外：橙7.5YR7/6	1/2		R14
633	SD1460	土師器台付皿	口径 高台径 器高	17.0 10.4 3.5	口：ヨコナデ、外：ナデ・オサエ、 内：ナデ・オサエ、脚：ヨコナデ	密	良	内外：にぶい橙7.5YR7/4	3/10	内：煤付着	R97
634	SD1460	土師器台付皿	口径 高台径 器高	15.0 8.6 4.9	口：ヨコナデ、外：ナデ・オサエ、 内：ナデ、高台貼付ナデ	密	良	内外：橙7.5YR7/6	1/2		R103
635	SD1460	土師器台付皿	口径 高台径 器高	18.0 9.0 4.1	口：ヨコナデ、外：ナデ・オサエ・ハケメ、 内：ナデ、高台貼付ナデ	密	良	内外：にぶい橙7.5YR7/4	2/5		R101
636	SD1460	土師器台付椀	口径 高台径 器高	10.0 5.7 4.0	口：ヨコナデ、外：ナデ・オサエ、 内：ナデ・オサエ、脚：ヨコナデ	密	良	内外：浅黄橙7.5YR8/3	7/10	口：黒色物付着	R49
637	SD1460	土師器甕	口径	8.0	口：ヨコナデ,外：ナデ・オサエ・ハケメ、 内：ナデ	やや粗	良	内外：浅黄橙10YR8/3	口50	ハケ：9～10本/cm	R23
638	SD1460	土師器把手付鍋	口径	11.0	口：ヨコナデ、外：ハケメ、 内：ナデ	密	良	内外：明黄褐10YR7/6	3/10	外：ほぼ全面に煤	R109
639	SD1460	土師器甕	口径	14.8	口：ヨコナデ、外：ナデ・オサエ、 内：ナデ	やや粗	良	内外：浅黄橙10YR8/3	口25		R24
640	SD1460	土師器甕	口径 器高	26.0	口：ヨコナデ、体外：縦ハケ、 体内：ナデ	密	良	外：浅黄橙7.5YR8/6内：にぶい褐7.5YR5/3	口20		R110
641	SD1460	須恵器鉢	口径 器高	― ―	口：ロクロナデ、 内外：ロクロナデ	密	良	内外：灰10Y6/1	口10	玉縁口縁	R59
642	SD1460	灰釉陶器椀	口径 高台径 器高	10.8 5.7 4.9	内外：ロクロナデ、高台貼付ナデ、 釉：つけ掛け	密	良	内外：灰白10YR8/1 釉：浅黄2.5Y7/3	1/2	高台：土器付着	R3
643	SD1460	灰釉陶器椀	口径 高台径 器高	12.0 6.0 2.5	内外：ロクロナデ、底外：糸切り痕、 内：灰釉	密	良	外：灰白2.5Y8/2、淡黄2..5Y7/3 内：灰白5Y8/1、黄灰2..5Y4/1	3/5	底内：摩耗、墨痕	R814
644	SD1460	緑釉陶器椀	口径	10.4	内外：ロクロナデ、 底外：ロクロヘラケズリ	密	良	内外：にぶい黄橙10YR6/3 釉：香橄緑5－833～苔色5－837	口30		R813
645	SD1460	緑釉陶器輪花椀	口径	11.1	内外：ロクロナデ	密	良	内外：黄灰2.5YR5/1 釉：苔色5－837	口25	輪花推定4ヶ所	R812

報告書番号	出土遺構	器種	計測値(cm)		調整・技法の特徴	胎土	焼成	色調	残存度	備考	登録番号
646	SD1460	緑釉陶器 椀	口径 高台径 器高	15.6 7.9 6.5	内外：ヘラミガキ	密	良	内外：オリーブ緑5－820	2／5		R848
647	SK8073	土師器 杯	口径 器高	12.0 2.5	口：ヨコナデ、外：ナデ・オサエ、 内：ナデ・オサエ	密	良	内外：にぶい黄橙10YR7／2	4／5		R412
648	SK8073	土師器 杯	口径 器高	11.7 2.5	口：ヨコナデ、外：ナデ・オサエ、 内：ナデ・オサエ	密	良	内外：にぶい黄橙10YR7／4	3／5		R376
649	SK8073	土師器 杯	口径 器高	12.2 2.5	口：ヨコナデ、外：ナデ・オサエ、 内：ナデ・オサエ	密	良	内外：褐灰10YR6／1	ほぼ 完形	内：黒色物付着	R345
650	SK8073	土師器 杯	口径 器高	11.2 2.6	口：ヨコナデ、外：ナデ・オサエ、 内：ナデ	密	良	内外：橙5YR7／6	2／5		R371
651	SK8073	土師器 杯	口径 器高	12.6 2.5	口：ヨコナデ、外：ナデ・オサエ、 内：ナデ・オサエ	密	良	内外：にぶい黄橙10YR6／4	9／10		R394
652	SK8073	土師器 杯	口径 器高	11.8 2.2	口：ヨコナデ、外：ナデ・オサエ、 内：ナデ・オサエ	密	良	内外：にぶい黄橙10YR7／3	完形		R383
653	SK8073	土師器 杯	口径 器高	11.8 2.0	口：ヨコナデ、外：ナデ・オサエ、 内：ナデ・オサエ	密	良	内外：にぶい黄橙10YR6／4	9／10		R392
654	SK8073	土師器 杯	口径 器高	12.0 2.2	口：ヨコナデ、外：ナデ・オサエ、 内：ナデ・オサエ	密	良	内外：にぶい黄橙10YR7／4	2／5		R374
655	SK8073	土師器 杯	口径 器高	11.4 2.0	口：ヨコナデ、外：ナデ・オサエ、 内：ナデ・オサエ	密	良	内外：にぶい黄橙10YR7／3	9／10	内：黒色物付着	R377
656	SK8073	土師器 杯	口径 器高	12.2 2.1	口：ヨコナデ、外：ナデ・オサエ、 内：ナデ・オサエ	密	良	内外：浅黄橙10YR8／4	3／5		R373
657	SK8073	土師器 杯	口径 器高	12.2 2.5	口：ヨコナデ、外：ナデ・オサエ、 内：ナデ・オサエ	密	良	内外：にぶい黄橙10YR7／4	2／5		R386
658	SK8073	土師器 杯	口径 器高	12.0 2.5	口：ヨコナデ、外：ナデ・オサエ、 内：ナデ・オサエ	密	良	内外：浅黄橙10YR8／3	9／10		R341
659	SK8073	土師器 杯	口径 器高	12.5 2.1	口：ヨコナデ、外：ナデ・オサエ、 内：ナデ・オサエ	密	良	内外：にぶい黄2.5YR6／3	完形		R336
660	SK8073	土師器 杯	口径 器高	12.0 2.5	口：ヨコナデ、外：ナデ・オサエ、 内：ナデ・オサエ	密	良	内外：にぶい黄橙10YR6／4	7／10	煤付着	R410
661	SK8073	土師器 杯	口径 器高	12.4 2.4	口：ヨコナデ、外：ナデ・オサエ、 内：ナデ・オサエ	密	良	内外：にぶい黄橙10YR6／3	4／5		R408
662	SK8073	土師器 杯	口径 器高	12.2 2.5	口：ヨコナデ、外：ナデ・オサエ、 内：ナデ・オサエ	密	良	内外：にぶい黄橙10YR6／4	4／5	内：黒色物付着	R411
663	SK8073	土師器 杯	口径 器高	12.4 2.3	口：ヨコナデ、外：ナデ・オサエ、 内：ナデ・オサエ	密	良	内外：にぶい黄橙10YR7／3	2／5		R387
664	SK8073	土師器 杯	口径 器高	11.7 2.2	口：ヨコナデ、外：ナデ・オサエ、 内：ナデ・オサエ	密	良	内外：浅黄橙10YR8／4	ほぼ 完形		R384
665	SK8073	土師器 杯	口径 器高	12.6 2.5	口：ヨコナデ、外：ナデ・オサエ、 内：ナデ	密	良	内外：にぶい黄橙10YR6／4	4／5		R413
666	SK8073	土師器 杯	口径 器高	12.5 2.5	口：ヨコナデ、外：ナデ・オサエ、 内：ナデ・オサエ	密	良	内外：浅黄橙10YR8／4	ほぼ 完形	外：黒色物付着	R380
667	SK8073	土師器 杯	口径 器高	12.4 2.2	口：ヨコナデ、外：ナデ・オサエ、 内：ナデ・オサエ	密	良	内外：にぶい黄橙10YR6／4	9／10		R400
668	SK8073	土師器 杯	口径 器高	12.0 2.1	口：ヨコナデ、外：ナデ・オサエ、 内：ナデ・オサエ	密	良	内外：にぶい黄橙10YR7／4	2／5		R398
669	SK8073	土師器 杯	口径 器高	12.6 2.5	口：ヨコナデ、外：ナデ・オサエ、 内：ナデ・オサエ	密	良	内外：にぶい黄橙10YR6／4	9／10		R393
670	SK8073	土師器 杯	口径 器高	12.7 2.6	口：ヨコナデ、外：ナデ・オサエ、 内：ナデ・オサエ	密	良	内外：にぶい黄橙10YR6／3	ほぼ 完形	内：黒色物付着	R353
671	SK8073	土師器 杯	口径 器高	12.5 2.5	口：ヨコナデ、外：ナデ・オサエ、 内：ナデ・オサエ	密	良	内外：にぶい黄橙10YR6／3	9／10	底内：工具痕？	R391
672	SK8073	土師器 杯	口径 器高	12.5 2.5	口：ヨコナデ、外：ナデ・オサエ、 内：ナデ・オサエ	密	良	内外：にぶい黄橙10YR7／4	完形	内：黒色物付着	R346
673	SK8073	土師器 杯	口径 器高	13.0 2.6	口：ヨコナデ、外：ナデ・オサエ、 内：ナデ・オサエ	密	良	内外：浅黄橙10YR8／3	7／10		R351
674	SK8073	土師器 杯	口径 器高	12.5 2.5	口：ヨコナデ、外：ナデ・オサエ、 内：ナデ・オサエ	密	良	内外：にぶい黄橙10YR7／3	9／10	内：黒色物付着	R355
675	SK8073	土師器 杯	口径 器高	12.8 2.6	口：ヨコナデ、外：ナデ・オサエ、 内：ナデ・オサエ	密	良	内外：にぶい黄橙10YR6／4	完形		R347
676	SK8073	土師器 杯	口径 器高	12.0 2.8	口：ヨコナデ、外：ナデ・オサエ、 内：ナデ・オサエ	密	良	内外：浅黄橙10YR8／4	9／10		R379
677	SK8073	土師器 杯	口径 器高	13.2 2.5	口：ヨコナデ、外：ナデ・オサエ、 内：ナデ・オサエ	密	良	内外：にぶい黄橙10YR7／3	9／10		R395
678	SK8073	土師器 杯	口径 器高	11.8 2.4	口：ヨコナデ、外：ナデ・オサエ、 内：ナデ・オサエ	密	良	内外：浅黄橙10YR8／3	4／5	底：穿孔	R342
679	SK8073	土師器 杯	口径 器高	12.4 2.6	口：ヨコナデ、外：ナデ・オサエ、 内：ナデ・オサエ	密	良	内外：にぶい黄橙10YR6／3	完形	内：工具痕	R359
680	SK8073	土師器 杯	口径 器高	14.0 2.6	口：ヨコナデ、外：ナデ・オサエ、 内：ナデ・オサエ	密	良	内外：にぶい黄橙10YR7／4	2／5		R388
681	SK8073	土師器 杯	口径 器高	14.4 2.8	口：ヨコナデ、外：ナデ・オサエ、 内：ナデ	密	良	内外：にぶい黄橙10YR7／4	2／5		R367
682	SK8073	土師器 杯	口径 器高	14.5 3.1	口：ヨコナデ、外：ナデ・オサエ、 内：ナデ	密	良	内外：浅黄橙10YR8／4	9／10	底：ヘラ状工具痕	R365
683	SK8073	土師器 杯	口径 器高	14.2 3.0	口：ヨコナデ、外：ナデ・オサエ、 内：ナデ	密	良	内外：浅黄橙10YR8／4	9／10	内外：黒色物付着	R366
684	SK8073	土師器 杯	口径 器高	15.0 3.0	口：ヨコナデ、外：ナデ・オサエ、 内：ナデ	密	良	内外：灰白10YR7／1	2／5		R368
685	SK8073	土師器 杯	口径 器高	14.4 3.2	口：ヨコナデ、外：ナデ・オサエ、 内：ナデ・オサエ	密	良	内外：にぶい黄橙10YR6／4	9／10		R407
686	SK8073	土師器 杯	口径 器高	11.9 3.0	口：ヨコナデ、外：ナデ・オサエ、 内：ナデ	密	良	内外：明黄褐10YR7／6	4／5		R363
687	SK8073	土師器 杯	口径 器高	12.4 2.8	口：ヨコナデ、外：ナデ・オサエ、 内：ナデ・オサエ	密	良	内外：浅黄橙10YR8／4	完形		R378
688	SK8073	土師器 杯	口径 器高	12.8 3.2	口：ヨコナデ、外：ナデ・オサエ、 内：ナデ・オサエ	密	良	内外：にぶい黄橙10YR7／4	3／5	外：黒色物付着	R381
689	SK8073	土師器 杯	口径 器高	12.4 3.5	口：ヨコナデ、外：ナデ・オサエ、 内：ナデ	密	良	内外：浅黄橙10YR8／4	7／10		R370
690	SK8073	土師器 杯	口径 器高	12.6 3.3	口：ヨコナデ、外：ナデ・オサエ、 内：ナデ・オサエ	密	良	内外：にぶい黄橙10YR6／4	9／10		R352
691	SK8073	土師器 杯	口径 器高	13.0 3.0	口：ヨコナデ、外：ナデ・オサエ、 内：ナデ・オサエ	密	良	外：褐灰10YR6／1 内：褐灰10YR4／1	完形		R338
692	SK8073	土師器 杯	口径 器高	13.4 2.9	口：ヨコナデ、外：ナデ・オサエ、 内：ナデ・オサエ	密	良	内外：にぶい黄橙10YR7／3	4／5		R350
693	SK8073	土師器 杯	口径 器高	14.7 3.2	口：ヨコナデ、外：ナデ・オサエ、 内：ナデ・オサエ	密	良	内外：浅黄橙10YR8／3	9／10		R340
694	SK8073	土師器 杯	口径 器高	13.6 3.6	口：ヨコナデ、外：ナデ・オサエ、 内：ナデ・オサエ	密	良	内外：浅黄橙10YR8／4	完形		R339
695	SK8073	土師器 杯	口径 器高	14.4 4.0	口：ヨコナデ、外：ナデ・オサエ、 内：ナデ	密	良	内外：にぶい黄橙10YR7／3	ほぼ 完形	内外：黒色物付着	R364
696	SK8073	土師器 杯	口径 器高	14.4 3.4	口：ヨコナデ、外：ナデ・オサエ、 内：ナデ・オサエ	密	良	内外：明黄褐10YR7／6	7／10		R399
697	SK8073	土師器 杯	口径 器高	14.8 3.5	口：ヨコナデ、外：ナデ・オサエ、 内：ナデ・オサエ	密	良	内外：にぶい黄橙10YR6／4	9／10	外：黒色物付着	R385

報告書番号	出土遺構	器種	計測値(cm)		調整・技法の特徴	胎土	焼成	色調	残存度	備考	登録番号
698	SK8073	土師器杯	口径 器高	15.2 3.5	口：ヨコナデ、外：ナデ・オサエ、内：ナデ・オサエ	密	良	内外：にぶい黄橙10YR7／3	4／5		R344
699	SK8073	土師器杯	口径 器高	12.0 1.8	口：ヨコナデ、外：ナデ・オサエ、内：ナデ・オサエ	密	良	内外：にぶい黄橙10YR6／4	4／5		R401
700	SK8073	土師器皿	口径 器高	12.4 1.5	口：ヨコナデ、外：ナデ・オサエ、内：ナデ・オサエ	密	良	内外：にぶい黄橙10YR6／4	2／5		R390
701	SK8073	土師器皿	口径 器高	12.0 1.0	口：ヨコナデ、外：ナデ・オサエ、内：ナデ・オサエ	密	良	内外：にぶい黄橙10YR7／2	2／5		R403
702	SK8073	土師器皿	口径 器高	11.6 1.0	口：ヨコナデ、外：ナデ・オサエ、内：ナデ・オサエ	密	良	内外：灰白10YR8／2	ほぼ完形		R382
703	SK8073	土師器皿	口径 器高	11.6 1.0	口：ヨコナデ、外：ナデ・オサエ、内：ナデ・オサエ	密	良	内外：にぶい黄橙10YR6／4	2／5	内外：黒色物付着	R404
704	SK8073	土師器皿	口径 器高	11.2 1.2	口：ヨコナデ、外：ナデ・オサエ、内：ナデ・オサエ	密	良	内外：にぶい黄橙10YR6／3	ほぼ完形		R354
705	SK8073	土師器皿	口径 器高	11.0 1.5	口：ヨコナデ、外：ナデ・オサエ、内：ナデ・オサエ	密	良	内外：にぶい黄橙10YR7／4	3／5		R375
706	SK8073	土師器皿	口径 器高	11.6 1.7	口：ヨコナデ、外：ナデ・オサエ、内：ナデ・オサエ	密	良	内外：にぶい黄橙10YR7／3	ほぼ完形		R337
707	SK8073	土師器皿	口径 器高	12.0 1.7	口：ヨコナデ、外：ナデ・オサエ、内：ナデ・オサエ	密	良	内外：灰黄褐10YR5／2	4／5		R343
708	SK8073	土師器皿	口径 器高	12.2 1.7	口：ヨコナデ、外：ナデ・オサエ、内：ナデ・オサエ	密	良	内外：にぶい黄橙10YR7／3	7／10		R358
709	SK8073	土師器皿	口径 器高	12.0 1.3	口：ヨコナデ、外：ナデ・オサエ、内：ナデ・オサエ	密	良	内外：にぶい黄橙10YR6／3	3／5		R409
710	SK8073	土師器皿	口径 器高	11.5 1.6	口：ヨコナデ、外：ナデ・オサエ、内：ナデ・オサエ	密	良	内外：灰白10YR7／1	9／10		R356
711	SK8073	土師器皿	口径 器高	11.8 1.6	口：ヨコナデ、外：ナデ・オサエ、内：ナデ	密	良	内外：にぶい黄橙10YR7／3	2／5	ての字口縁	R372
712	SK8073	土師器皿	口径 器高	12.6 1.4	口：ヨコナデ、外：ナデ・オサエ、内：ナデ・オサエ	密	良	内外：褐灰10YR4／1	3／10		R402
713	SK8073	土師器皿	口径 器高	11.5 1.0	口：ヨコナデ、外：ナデ・オサエ、内：ナデ・オサエ	密	良	内外：にぶい黄橙10YR7／4	3／5		R396
714	SK8073	土師器皿	口径 器高	11.9 1.2	口：ヨコナデ、外：ナデ・オサエ、内：ナデ・オサエ	密	良	内外：褐灰10YR6／1	完形		R348
715	SK8073	土師器皿	口径 器高	11.4 1.1	口：ヨコナデ、外：ナデ・オサエ、内：ナデ・オサエ	密	良	内外：灰黄褐10YR5／2	ほぼ完形		R349
716	SK8073	土師器皿	口径 器高	11.8 1.2	口：ヨコナデ、外：ナデ・オサエ、内：ナデ・オサエ	密	良	内外：にぶい黄橙10YR7／3	4／5	内：付着物	R357
717	SK8073	土師器皿	口径 器高	12.0 1.6	口：ヨコナデ、外：ナデ・オサエ、内：ナデ・オサエ	密	良	内外：にぶい黄橙10YR6／4	4／5		R397
718	SK8073	土師器皿	口径 器高	11.2 0.5	口：ヨコナデ、外：ナデ・オサエ、内：ナデ・オサエ	密	良	内外：にぶい黄橙10YR6／4	7／10		R389
719	SK8073	土師器台付皿	口径 高台径 器高	11.2 6.6 2.5	口：ヨコナデ、外：ナデ・オサエ、内：ナデ・オサエ、脚：ヨコナデ	密	良	内外：明黄褐10YR6／6	4／5		R360
720	SK8073	土師器台付皿	口径 高台径 器高	12.6 6.4 2.2	口：ヨコナデ、外：ナデ・オサエ、内：ナデ・オサエ、脚：ヨコナデ	密	良	内外：にぶい黄橙10YR7／4	3／5		R405
721	SK8073	土師器台付皿	口径 高台径 器高	11.3 5.2 2.0	口：ヨコナデ、外：ナデ・オサエ、内：ナデ・オサエ、脚：ヨコナデ	密	良	内外：灰白10YR8／2	3／5		R369
722	SK8073	土師器台付皿	口径 高台径 器高	16.2 8.7 2.7	口：ヨコナデ、外：ナデ・オサエ、内：ナデ・オサエ、脚：ヨコナデ	密	良	内外：浅黄橙10YR8／3	3／5	内：黒色物付着	R361
723	SK8073	土師器台付椀	口径 高台径 器高	10.9 6.6 4.4	口：ヨコナデ、外：ナデ・オサエ、内：ナデ・オサエ、脚：ヨコナデ	密	良	内外：浅黄橙7.5YR8／6	7／10	内：黒色物付着	R362
724	SK8066	土師器杯	口径 器高	11.4 2.6	口：ヨコナデ、外：ナデ・オサエ、内：ナデ・オサエ	密	良	内外：にぶい黄橙10YR7／3	4／5		R437
725	SK8066	土師器杯	口径 器高	11.6 2.2	口：ヨコナデ、外：ナデ・オサエ、内：ナデ・オサエ	密	良	内外：にぶい橙10YR7／3	3／5		R468
726	SK8066	土師器杯	口径 器高	11.4 2.5	口：ヨコナデ、外：ナデ・オサエ、内：ナデ・オサエ	密	良	内外：にぶい黄橙10YR7／4	9／10		R441
727	SK8066	土師器杯	口径 器高	12.0 2.5	口：ヨコナデ、外：ナデ・オサエ、内：ナデ・オサエ	密	良	内外：にぶい黄橙10YR7／3	7／10		R459
728	SK8066	土師器杯	口径 器高	11.8 2.5	口：ヨコナデ、外：ナデ・オサエ、内：ナデ・オサエ	密	良	内外：にぶい黄橙10YR7／4	完形	接合部分がひび割れ	R449
729	SK8066	土師器杯	口径 器高	11.2 2.2	口：ヨコナデ、外：ナデ・オサエ、内：ナデ・オサエ	密	良	内外：にぶい黄橙10YR7／4	完形		R442
730	SK8066	土師器杯	口径 器高	11.6 2.3	口：ヨコナデ、外：ナデ・オサエ、内：ナデ・オサエ	密	良	内外：にぶい黄橙10YR7／3	2／5		R490
731	SK8066	土師器杯	口径 器高	11.6 2.0	口：ヨコナデ、外：ナデ・オサエ、内：ナデ・オサエ	密	良	内外：浅黄橙7.5YR8／3	7／10		R450
732	SK8066	土師器杯	口径 器高	11.3 2.0	口：ヨコナデ、外：ナデ・オサエ、内：ナデ	やや密	良	外：灰白10YR8／1 内：浅黄橙10YR8／4	9／10		R436
733	SK8066	土師器杯	口径 器高	11.5 2.4	口：ヨコナデ、外：ナデ・オサエ、内：ナデ・オサエ	密	良	内外：にぶい黄橙10YR7／4	4／5	ひび割れ２ヵ所	R451
734	SK8066	土師器杯	口径 器高	12.4 2.5	口：ヨコナデ、外：ナデ・オサエ、内：ナデ・オサエ	密	良	内外：にぶい黄橙10YR7／4	4／5		R499
735	SK8066	土師器杯	口径 器高	11.8 2.5	口：ヨコナデ、外：ナデ・オサエ、内：ナデ・オサエ	密	良	内外：浅黄橙10YR8／3	4／5		R504
736	SK8066	土師器杯	口径 器高	12.0 2.5	口：ヨコナデ、外：ナデ・オサエ、内：ナデ・オサエ	密	良	内外：浅黄橙7.5YR8／3	9／10		R439
737	SK8066	土師器杯	口径 器高	11.8 2.3	口：ヨコナデ、外：ナデ・オサエ、内：ナデ・オサエ	密	良	内外：にぶい橙7.5YR7／4	9／10	口：黒色物付着	R476
738	SK8066	土師器杯	口径 器高	11.6 2.5	口：ヨコナデ、外：ナデ・オサエ、内：ナデ・オサエ	密	良	内外：にぶい黄橙10YR7／3	7／10		R491
739	SK8066	土師器杯	口径 器高	12.0 2.2	口：ヨコナデ、外：ナデ・オサエ、内：ナデ・オサエ	密	良	内外：灰白10YR8／2	ほぼ完形		R440
740	SK8066	土師器杯	口径 器高	12.2 2.6	口：ヨコナデ、外：ナデ・オサエ、内：ナデ・オサエ	密	良	内外：にぶい黄橙10YR6／4	9／10		R500
741	SK8066	土師器杯	口径 器高	12.0 3.0	口：ヨコナデ、外：ナデ・オサエ、内：ナデ・オサエ	密	良	内外：橙7.5YR7／6	9／10		R445
742	SK8066	土師器杯	口径 器高	11.8 2.5	口：ヨコナデ、外：ナデ・オサエ、内：ナデ・オサエ	密	良	内外：浅黄橙7.5YR8／3	完形	外：接合痕 内：黒色付着物	R443
743	SK8066	土師器杯	口径 器高	12.6 2.5	口：ヨコナデ、外：ナデ・オサエ、内：ナデ・オサエ	密	良	内外：浅黄橙7.5YR8／3	9／10		R438
744	SK8066	土師器杯	口径 器高	12.0 2.3	口：ヨコナデ、外：ナデ・オサエ、内：ナデ・オサエ	密	良	内外：にぶい黄橙10YR7／4	7／10		R471
745	SK8066	土師器杯	口径 器高	12.0 2.4	口：ヨコナデ、外：ナデ・オサエ、内：ナデ・オサエ	密	良	内外：にぶい黄橙10YR7／3	完形		R462

報告書番号	出土遺構	器種	計測値(cm)		調整・技法の特徴	胎土	焼成	色調	残存度	備考	登録番号
746	SK8066	土師器 杯	口径 器高	12.4 2.5	口：ヨコナデ、外：ナデ・オサエ、 内：ナデ・オサエ	密	良	内外：浅黄橙10YR8／3	7／10		R467
747	SK8066	土師器 杯	口径 器高	12.0 2.5	口：ヨコナデ、外：ナデ・オサエ、 内：ナデ・オサエ	密	良	内外：にぶい黄橙10YR6／3	1／2		R503
748	SK8066	土師器 杯	口径 器高	12.0 2.5	口：ヨコナデ、外：ナデ・オサエ、 内：ナデ・オサエ	密	良	内外：浅黄橙10YR8／3	3／5		R469
749	SK8066	土師器 杯	口径 器高	12.5 2.0	口：ヨコナデ、外：ナデ・オサエ、 内：ナデ・オサエ	密	良	内外：にぶい黄橙10YR7／3	7／10		R460
750	SK8066	土師器 杯	口径 器高	11.8 2.2	口：ヨコナデ、外：ナデ・オサエ、 内：ナデ	密	良	内外：浅黄橙10YR8／3	2／5		R435
751	SK8066	土師器 杯	口径 器高	11.8 2.0	口：ヨコナデ、外：ナデ・オサエ、 内：ナデ・オサエ	密	良	内外：にぶい黄橙10YR7／3	4／5		R501
752	SK8066	土師器 杯	口径 器高	12.8 2.3	口：ヨコナデ、外：ナデ・オサエ、 内：ナデ・オサエ	密	良	内外：にぶい黄橙10YR7／4	4／5		R447
753	SK8066	土師器 杯	口径 器高	12.8 2.6	口：ヨコナデ、外：ナデ・オサエ、 内：ナデ・オサエ	密	良	内外：にぶい橙7.5YR7／4	完形		R475
754	SK8066	土師器 杯	口径 器高	12.8 2.5	口：ヨコナデ、外：ナデ・オサエ、 内：ナデ・オサエ	密	良	内外：橙7.5YR7／6	4／5		R507
755	SK8066	土師器 杯	口径 器高	13.0 2.5	口：ヨコナデ、外：ナデ・オサエ、 内：ナデ・オサエ	密	良	内外：にぶい黄橙10YR6／4	9／10		R502
756	SK8066	土師器 杯	口径 器高	12.2 2.5	口：ヨコナデ、外：ナデ・オサエ、 内：ナデ・オサエ	密	良	内外：にぶい橙7.5YR7／4	9／10		R466
757	SK8066	土師器 杯	口径 器高	12.8 2.0	口：ヨコナデ、外：ナデ・オサエ、 内：ナデ・オサエ	密	良	内外：浅黄橙7.5YR8／3	7／10		R446
758	SK8066	土師器 杯	口径 器高	12.6 2.4	口：ヨコナデ、外：ナデ・オサエ、 内：ナデ・オサエ	密	良	内外：浅黄橙7.5YR8／4	2／5		R478
759	SK8066	土師器 杯	口径 器高	12.8 2.5	口：ヨコナデ、外：ナデ・オサエ、 内：ナデ・オサエ	密	良	内外：にぶい橙7.5YR7／4	9／10		R465
760	SK8066	土師器 杯	口径 器高	14.6 2.7	口：ヨコナデ、外：ナデ・オサエ、 内：ナデ・オサエ	密	良	内外：にぶい黄橙10YR7／2	4／5		R470
761	SK8066	土師器 杯	口径 器高	11.8 2.9	口：ヨコナデ、外：ナデ・オサエ、 内：ナデ・オサエ	密	良	内外：灰黄2.5Y6／2	4／5		R485
762	SK8066	土師器 杯	口径 器高	11.8 3.0	口：ヨコナデ、外：ナデ・オサエ、 内：ナデ・オサエ	密	良	内外：にぶい黄橙10YR7／3	7／10		R489
763	SK8066	土師器 杯	口径 器高	14.0 3.2	口：ヨコナデ、外：ナデ・オサエ、 内：ナデ・オサエ	密	良	内外：にぶい黄橙10YR7／2	7／10		R473
764	SK8066	土師器 杯	口径 器高	13.6 3.0	口：ヨコナデ、外：ナデ・オサエ、 内：ナデ・オサエ	密	良	内外：にぶい橙7.5YR7／4	7／10		R506
765	SK8066	土師器 杯	口径 器高	13.8 3.5	口：ヨコナデ、外：ナデ・オサエ、 内：ナデ・オサエ	密	良	内外：にぶい黄橙10YR7／3	2／5		R479
766	SK8066	土師器 杯	口径 器高	15.0 3.5	口：ヨコナデ、外：ナデ・オサエ、 内：ナデ・オサエ	密	良	内外：明褐7.5YR5／6	7／10		R452
767	SK8066	土師器 皿	口径 器高	10.6 1.5	口：ヨコナデ、外：ナデ・オサエ、 内：ナデ	密	良	内外：灰黄褐10YR5／2	4／5		R433
768	SK8066	土師器 皿	口径 器高	11.2 0.8	口：ヨコナデ、外：ナデ・オサエ、 内：ナデ・オサエ	密	良	内外：灰白10YR8／2	9／10		R444
769	SK8066	土師器 皿	口径 器高	11.7 1.2	口：ヨコナデ、外：ナデ・オサエ、 内：ナデ・オサエ	密	良	内外：にぶい黄橙10YR7／3	7／10		R484
770	SK8066	土師器 台付皿	口径 高台径 器高	10.7 5.5 1.2	口：ヨコナデ、外：ナデ・オサエ、 内：ナデ・オサエ、脚：ヨコナデ	祖	良	内外：浅黄橙10YR8／4	口40 高台80		R487
771	SK8066	土師器 台付皿	口径 底径 器高	11.2 6.0 2.2	口：ヨコナデ、 内外：ナデ・オサエ、高台貼付ナデ	密	良	内外：にぶい黄橙10YR7／3	4／5		R432
772	SK8066	土師器 台付皿	口径 高台径 器高	11.2 6.2 2.3	口：ヨコナデ、外：ナデ・オサエ、 内：ナデ・オサエ、脚：ヨコナデ	密	良	内外：にぶい黄橙10YR7／3	7／10	内～口：黒色物付着	R463
773	SK8066	土師器 台付皿	口径 高台径 器高	11.3 6.4 2.4	口：ヨコナデ、外：ナデ・オサエ、 内：ナデ・オサエ、脚：ヨコナデ	密	良	内外：にぶい黄橙10YR7／4	9／10		R448
774	SK8066	土師器 台付皿	口径 高台径 器高	11.7 7.0 2.5	口：ヨコナデ、外：ナデ・オサエ、 内：ナデ・オサエ、脚：ヨコナデ	密	良	内外：浅黄橙10YR8／3	7／10		R458
775	SK8066	土師器 台付皿	口径 高台径 器高	12.4 6.8 2.1	口：ヨコナデ、外：ナデ・オサエ、 内：ナデ・オサエ、脚：ヨコナデ	密	良	内外：橙7.5YR7／6	口40 高台100	内外：黒色物付着	R488
776	SK8066	土師器 台付皿	口径 高台径 器高	11.6 6.4 2.8	口：ヨコナデ、外：ナデ・オサエ、 内：ナデ・オサエ、脚：ヨコナデ	密	良	内外：にぶい橙10YR6／4	4／5		R505
777	SK8066	土師器 台付皿	口径 高台径 器高	11.9 7.0 3.0	口：ヨコナデ、外：ナデ・オサエ、 内：ナデ・オサエ、脚：ヨコナデ	密	良	内外：灰黄褐10YR6／2	9／10		R454
778	SK8066	土師器 台付皿	口径 高台径 器高	12.1 6.0 2.8	口：ヨコナデ、外：ナデ・オサエ、 内：ナデ・オサエ、脚：ヨコナデ	密	良	内外：にぶい黄橙10YR7／3	口40 高台80	内：強いナデ痕	R461
779	SK8066	土師器 台付皿	口径 高台径 器高	11.7 7.0 2.5	口：ヨコナデ、外：ナデ・オサエ、 内：ナデ・オサエ、脚：ヨコナデ	密	良	内外：浅黄橙10YR8／3	4／5		R453
780	SK8066	土師器 台付皿	口径 高台径 器高	12.9 6.8 2.6	口：ヨコナデ、外：ナデ・オサエ、 内：ナデ・オサエ、脚：ヨコナデ	密	良	内外：にぶい橙7.5YR7／4	4／5	内：黒色物付着	R464
781	SK8066	土師器 台付皿	口径 高台径 器高	12.0 6.6 2.7	口：ヨコナデ、外：ナデ・オサエ、 内：ナデ・オサエ、脚：ヨコナデ	密	良	内外：にぶい橙7.5YR7／4	3／10		R495
782	SK8066	土師器 台付皿	口径 高台径 器高	13.2 7.4 2.7	口：ヨコナデ、外：ナデ・オサエ、 内：ナデ・オサエ、脚：ヨコナデ	密	良	内外：にぶい黄橙10YR7／4	口30 高台70		R492
783	SK8066	土師器 台付皿	口径 高台径 器高	12.8 8.1 2.5	口：ヨコナデ、外：ナデ・オサエ・ タテハケ、 内：ナデ・オサエ、脚：ヨコナデ	密	良	内外：にぶい橙7.5YR7／4	口60 高台100	底：調整ハケ	R477
784	SK8066	土師器 台付皿	口径 底径 器高	14.4 8.2 3.4	口：ヨコナデ、外：ナデ・オサエ、 内：ナデ、高台貼付ナデ	密	良	内外：浅黄橙10YR8／3	3／5	底外：工具跡	R434

第５表　斎宮跡発掘調査次数一覧表

次　数	年度	調　査　地　区
1	S45	試掘
2	46	古里Ａ地区
3		〃Ｂ地区
4	47	〃Ｃ地区
5	48	〃Ｄ地区
6－1		Ａトレンチ
6－2		Ｂトレンチ
6－3		Ｃトレンチ
6－4		Ｄトレンチ
6－5		Ｅトレンチ
7	49	古里Ｅ地区
8－1		Ｆトレンチ
8－2		Ｇトレンチ
8－3		Ｈトレンチ
8－4		Ｉトレンチ
8－5		Ｊトレンチ
8－6		Ｋトレンチ
8－7		Ｌトレンチ
8－8		Ｍトレンチ
8－9		Ｎトレンチ
8－10		Ｏトレンチ
8－11		Ｐトレン
9－1	50	Ｑトレンチ
9－2		Ｒトレンチ
9－3		Ｓトレンチ
9－4		Ｔトレンチ
9－5		Ｕトレンチ
9－6		Ｖトレンチ
9－7		Ｗトレンチ
9－8		Ｘトレンチ
9－9		Ｙトレンチ
9－10		Ｚトレンチ
10		広域圏道路
11－1		西加座2661－１（山中）
11－2		〃　2681－１（山名）
11－3		東前沖2483－２（前田）
11－4		下　園2926－９（吉木）
12－1	51	２Ａトレンチ
12－2		２Ｂトレンチ
12－3		２Ｃトレンチ
12－4		２Ｄトレンチ
13－1		東加座2436－７（浜口）
13－2		〃　2436－４（中村）
13－3		古　里3283（村上）
13－4		楽　殿2916～2917（松井）
13－5		御　館2974－１（川本）
13－6		中垣内375－１（南）
13－7		東　裏328（小川）
13－8	51	西加座2771－１（細井）
13－9		〃　2773（細井）
13－10		東　裏362－１（児島）
13－11		西加座2681－１（浮田）
13－12		〃　2721－３，2724－２（森川）
13－13		東前沖2506－２（宮下）
14－1	52	２Ｅトレンチ
14－2		２Ｆトレンチ
14－3		２Ｇトレンチ
14－4		２Ｈトレンチ
14－5		２Ｉトレンチ
15		斎宮小学校
16－1		竹川町道Ａ
16－2		〃　Ｂ
16－3		〃　Ｃ
16－4		〃　Ｄ
16－5		〃　Ｅ
16－6		〃　Ｆ
17－1		竹神社社務所
17－2		竹神社防火用水
17－3		西加座2721－６（西沢）
17－4		楽　殿2894－１（中川）
17－5		〃　2895－１（西口）
17－6		出在家3237－３（吉川）
17－7		〃　3237－１（里中）
17－8		楽　殿2894－１（西村）
17－9		東海造機
18	53	6AEL-E・I（下園）
19		6AEN-M　（御館）
20		6AEO-I・J（柳原）
21－1		6AGN-B（鍛冶山、北山）
21－2		6AEI-D（西加座2711－２ほか、山路）
21－3		6AFD-D（西前沖2649－１、大西）
21－4		6AFH-F（西加座2678、2679－３、森下）
21－5		6AGD-K（東前沖、渡辺）
21－6		6ACA-T（古里3269－２、中西）
21－7		6AFE-F（東前沖2631－１、鈴木）
21－8		6AEG-A（楽殿2909－３、大西）
21－9		6AED-R（篠林3218－３、宇田）
22－1		6AGU
22－2		6AGU
22－3		6AGW
23	54	6AEL-B（下園）
24		6AGF-D（西加座）
25－1		6ADP-K（牛葉3029－１、三重土地ホーム）
25－2		6ACA-Y（古里3270、脇田）
25－3		6ADD-F（篠林3139－３、池田）
25－4		6AER-H（牛葉3014、牛葉公民館）

次　数	年度	調　査　地　区
25－5	54	6AGN-H（鍛冶山2392、丸山）
25－6		6AFH-A（西加座2675－5、谷口）
25－7		6AEK-V（下園2926－10、奥田）
25－8		6AFC-D（西前沖2064－5、山本）
25－9		6ACN-C（広頭3387－1、北出）
25－10		6AEV-A（鈴池339－1、永島）
25－11		6ACF-B（東裏364－1、沢）
25－12		6AEE-Y（楽殿2892－3、山本）
25－13		6AEJ-E（西加座2766－1、山内）
26－1		6AFR（中西）
26－2		6AEX～6ACQ（鈴池、木葉山、南裏）
26－3		6AEV・W・X（鈴池）
26－4		6ACR（木葉山、南裏）
27		6ACG-S・T（東裏）
28		6AEO-D（柳原）
29		6AFI、6AFL、6AFK、6AFM、6AGJ
30	55	6ABJ-M・X・W（中垣内）
31－1		6ADO-M（内山3038－13、岩見）
31－2		6ACP-I（南裏227－2、鈴木）
31－3		6ABD-A（古里588－4、北藪）
31－4		6ADQ-T（牛葉3018－2、百五銀行）
31－5		6ACC-G（塚山3338－3、水谷）
31－6		6ABO-X（古里576－1、池田）
31－7		6AGI-L（東加座2427－1、竹内）
31－8		6ACN-G(広頭3388－1・5・8・9、森)
31－9		6AGD-L（北野2487－1、中川）
31－10		6ADM-O（内山3043－3、斎宮駅）
31－11		6ADT-I（木葉山304－2、澄野）
31－12		6ADT-J（木葉山304－7、宇田）
32		6ACE-D・E・F（塚山）
33		6ADE-C・D他（篠林）
34		6ADE-F・G・H（西加座）
35		6APE他（西前沖）
36	56	6ABI-F（中垣内）
37－1		6AFC-M（西前沖2064、日本経木）
37－2		6ADQ-R（牛葉3021－2、野田）
37－3		6AFC-F（西前沖2604－6、神田）
37－4		6AFC-M（西前沖2604、日本経木）
37－5		6AFC-G（西前沖2064－7、中村）
37－6		6ABD-A（古里588－2、北藪）
37－7		6AEC-M（苅干2861－2、斎王公民館）
37－8		6ADR-P(木葉山128－8・13・14、富山)
37－9		6AGK-E（東加座2355－1、竹内）
37－10		6AED-O（楽殿3217－1、渡部）
37－11		6ADN-O（内山3043－3、斎宮駅）
37－12		6AFH-J(西加座2681－1・3・4、渋谷)
37－13		6AGK-F(西加座2385－3、2386－3、竹内)
38		6ACD-S（塚山）
39		6ABD-R・S・T（古里）
40		6AGH-L・M（東加座）
41		6AGJ-J他（斎宮地内）
42－1	57	6AEI-D・F（楽殿）

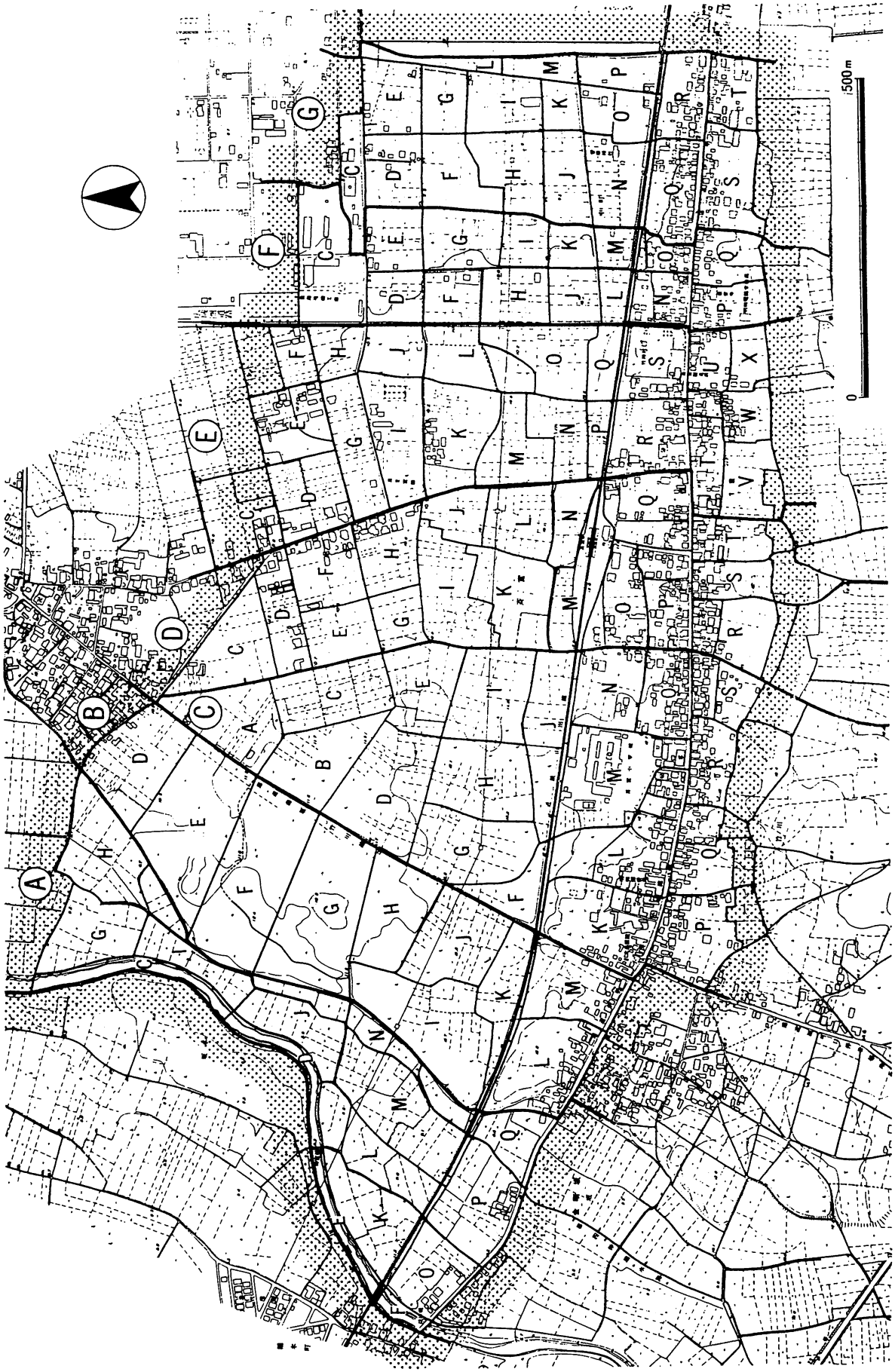
次　数	年度	調　査　地　区
42－2	57	6AEK-A・B（楽殿）
43－1		6ADC-C（出在家3235－2、永田）
43－2		6ADT-B（木葉山308－1、山本）
43－3		6ACP-T（南裏241－1、辻）
43－4	57	6ADS-D（牛葉123－3、西山）
43－5		6ADE-D（篠林3220－3、澄野）
43－6		6AGE（東前沖、町道側溝）
43－7		6ABD-F（古里588－6、今西）
43－8		6ADQ-H（牛葉3025－2、大西）
44		6AFL-A・B（鍛冶山2759－1、他）
45		6AEG-P・Q（楽殿2904－2、他）
46		6AGN-C・D（鍛冶山2737－1、他）
47		6ADJ-D・G他(西加座・御館・宮ノ前他)
48－1	58	6AGM-M（広頭3385、斎宮小）
48－2		6ADP-Q（牛葉3033－1・2、吉田）
48－3		6ABL-M（中垣内434－6、西川）
48－4		6AGL-B（東前沖2480、倉田）
48－5		6AGD～6AFE（東前沖、町道側溝）
48－6		6AGC-A（西前沖3550－1、今西）
48－7		6ADT-H（木葉山307、森西）
48－8		6ACL-E・F・G（東裏334－15、他）
48－9		6AEV-J（鈴池341－1、乾）
48－10		6AGT（牛葉、町道側溝）
48－11		6ADP-E(鍛冶山2351－1・2352－1、榊原)
48－12		6AFC-H（西前沖2604－8・9、清水）
48－13		6ACM-O（東裏、斎宮小）
48－14		6AET（牛葉、町道側溝）
49		6ADI-D・U・V・W・X(上園3083、他)
50		6ACH-H（東裏294,297、山本）
51		6AFF-D（西加座2663－1・4,2664、森下）
52		6AGF-D（西加座2703、他）
53－1	59	6ACM-P（東裏284、体育館）
53－2		6ACA-M（古里3280－2、中西）
53－3		6ABE（古里573－2、永納）
53－4		6ACL-S（東裏271－1、田所）
53－5		6ACR（木葉山97－5、田中）
53－6		6AGO（鍛冶山、町道側溝）
53－7		6ADD-U（篠林3147－3、野呂）
53－8		6AGE-O（東前沖2470－2、上田）
53－9		6ACS-O（木葉山95－2、浅尾）
53－10		6ACA-R（古里3267－1、西川）
53－11		6ADR-W（木葉山131－7、西村）
53－12		6ABL-K（中垣内464－2、沢）
53－13		6ADQ-L（牛葉3022、辻）
53－14		6ACM-O（東裏287－3、体育館）
53－15		6AFK-C・D（西加座2721－1、鈴木）
54		6AFE-N（西前沖2630、他）
55		6AEN-P（柳原、御館2785－1、他）
56		6ACH-S（東裏289－1、他）
57		6AGF-H・I（東加座2441、他）
58－1	60	6AFK-C・D（西加座2721－1、鈴木）
58－2		6AFH-N（西加座2681－1、三村）

次　数	年度	調　査　地　区
58－3	60	6ACM-N（東裏3385－2、斎宮小）
58－4		6ABL-A（中垣内4731－1、小家）
58－5		6ADQ-Q（牛葉、町道側溝）
58－6		6ADR-V（木葉山131－3、西山）
58－7		6AGS-G（中西611、山路）
58－8	60	6ABM-A（中垣内430－3他、近鉄）
59		6ACJ-I（広頭3379－1、他）
60		6AGJ-B・D・G（東加座2450－1、他）
61		6AFF-H・I・D（西加座2663－1、他）
62		6AGI-J・K（東加座2425、他）
63		6AFG-M・N（西加座2659－1、他）
64－1	61	6ACO-H（牛葉3395－1、トーカイ）
64－2		6AGL-F（東加座2435－1、大和谷）
64－3		6ADD-A（篠林3136－1、山路）
64－4		6AGR-N（笛川2340、丸山）
64－5		6ACM-R・Q・P（東裏3385－2、斎宮小）
64－6		6ACK（東裏361－2、竹川自治会）
64－7		6AGI-G（東加座2435－2、大和谷）
64－8		6AGR-J（笛川2341－6、山下）
64－9		6ADQ-M（牛葉、町道側溝）
64－10		6ACF-A（東裏365－1、樋口）
64－11		6ACM-O（東裏3385－2、斎宮小）
64－12		6ADE-B（篠林3162－3、江崎）
65－1		6ACC-M（塚山3331－1）
65－2		6AEG-S（楽殿2908－2、他）
65－3		6AEI-L・M（楽殿2917－4、他）
66		6AGG-C（東加座2437－1、他）
67		6ABF（古里523、他）
68		6ABF（古里502、他）
69		6AGM-E～H（東加座2373、他）
70－1	62	6ACC-X（塚山3325－1、江崎）
70－2		6AEE-W（楽殿2875－2、岡田）
70－3		6ADR-I（木葉山129－5、大西）
70－4		6ACN-A・B・E・L(広頭3389－8、林)
70－5		6AEW-A（鈴池333－1、八田）
70－6		6ABL-S（中垣内430－6、奥山）
70－7		6AEE-T（楽殿577、浅尾）
70－8		6AEU・6AEX-A（牛葉、鈴池、三重県）
70－9		6AEP-C・D（御館、榊原、近鉄）
70－10		6AFD-B・D　（西前沖2649－4、大西）
70－11		6AGO-H（鍛冶山2363－2、川合）
70－12		6ADD-F・G（篠林3158、長谷川）
70－13		6AEC-N・G（苅干、佐藤）
70－14		6ABL-R（中垣内459、北岡）
70－15		6AFD-A（西前沖2644－1、山本）
70－16		6ACB-A他（町道塚山線拡幅）
71		6ABE（古里501、他）
72－1		6ABE（古里500、他）
72－2		6ABF（古里523、他）
72－3		6ABF（古里551－2、他）
72－4		6ABF（古里528－1、他）
73		6AFF-B・C・E・G（西加座2663－5、他）

次　数	年度	調　査　地　区
74－1	62	6ABF（古里523、他）
74－2		6ABF（古里522、他）
74－3		6ABE・F（古里524、他）
74－4		6ABE（古里548－1、他）
74－5		6ABE（古里543、他）
75		6AGF-C（西加座2702、他）
76－1	63	6ADB-A～D（町道塚山線拡幅）
76－2		6ADE-F・G（篠林3158、長谷川）
76－3		6ABE（古里554、明和町）
76－4		6ACK（東裏354－13、山際）
76－5		6AEE-W（楽殿577、岡田）
76－6		6ACB-A（塚山3276－1、今西）
76－7		6ACM-M（広頭3385－2、斎宮小）
76－8		6AFM-G（鍛冶山2736－3、近鉄）
76－9		6ACQ（南裏144－1、田所）
76－10		6ABD-U（古里579、池田建設）
76－11		6ABE（古里554、明和町）
76－12		6AEE（楽殿、町道下水管）
76－13		6ADD-K（篠林3143、中西）
76－14		6AEE-S（楽殿2878－3、山路）
76－15		6ABF～6ABH（中垣内、県道拡幅）
76－16		6AEK-B（下園2936－2、明和町）
76－17		6AEV-A（鈴池339－5、永島）
77		6AGJ-D（東加座2453、他）
78		6ADL　（宮ノ前3054、他）
79		6AGG-A・B（東加座2440、他）
80		6AFG-F～I（西加座2696、他）
81－1	H1	6AEC～F（町道塚山線拡幅）
81－2		6ABJ、6ABK（古里、県道拡幅）
81－3		6ADS-M（木葉山137、中川）
81－4		6AED-L（楽殿2881－2、山本）
81－5		6AFQ-C（中西597－2、木戸口）
81－7		6ABL-U（中垣内430－7、川本）
81－8		6ABJ（古里、明和町）
81－9		6ACF（中垣内、三重県）
81－10		6ADR-V（木葉山297、明和町）
81－11		6ACM-N（広頭3385－2、明和町）
81－12		6AED-A（篠林3225、中川）
81－13		6ACB（塚山3276－19他、明和町）
81－14		6AED-F（楽殿2844－2、澄野）
81－15		6AED-U（楽殿2885－2、西山）
81－16		6AG（北野3655－1他）
82－1		6ADI-F～J（上園3095他）
82－2		6ADI-K・L（上園3100他）
83		6AFJ-C～F（西加座2770－3他）
84－1		6AFJ-G（西加座2764－3）
84－2		6AFH-G・H（西加座2679－1他）
85－1	2	6ABD～6ACD（古里、三重県）
85－2		6ACA-P（古里3279、松本）
85－3		6ACJ-B・D（東裏、明和町）
85－4		6ABE（竹川573－1、永納）
85－5		6AED-U（楽殿2885－2、西山）

次　数	年度	調　査　地　区
85-6	2	6AFH-B（西加座、明和町）
85-7		6ACB-C（塚山3276-3他、加藤）
85-8		6ABI-N（中垣内427－１、小林）
86		6AFH-F・G・H（西加座2679－１、他）
87		6ACE-N（塚山3356、他）
88		6AGN-C・D（鍛冶山2411－１、他）
89-1	3	6ADM-O（内山3043－５、近鉄斎宮駅）
89-2		6AGI-M（東加座2432－２他、北村）
89-3		6ADM-N・O（内山3060－４、近鉄斎宮駅）
90		6AFH-A・B（西加座2680、他）
91		6ABH-F（中垣内393、他）
92		6AGN-A（鍛冶山2734－３）
93		6ADN（内山3045－12、他）
94		6AEM（御館2942）
95	4	6ADN（内山3046－17、他）
96-1		6AGM（東加座2374、丸山）
96-2		6ADO（内山3068－３他、明和町）
96-3		6ACA-D（古里3260、清水）
96-4		6AFN（中西2749－１、本山）
96-5		6ADR-T（木葉山28－３、加藤）
96-6		6ADD-D（篠林3138－１、藤井）
97		6AEM（中垣内482、他）
98		6AFM-C・E（鍛冶山2475、他）
99	5	6ADN（内山3046－11、他）
100		6ABI-T（中垣内423）
101		6ADG（篠林3194）
102-1		6ADS（木葉山119－５、澄野）
102-2		6AED-J（楽殿2882－５、杉本）
102-3		6AAQ花園663－１、中川）
102-4		6ACF-A（東裏365－１、樋口）
102-5		6ABJ-D（中垣内493－６、川口）
102-6		6AG（鍛冶山地内、明和町）
102-7		6ACG-E（東裏318－１、川本）
102-8		6AE（楽殿地内、明和町）
103		6AEQ-A（柳原2779－３）
104		6AGT（笛川1048－１、他）
105	6	6AFN（鍛冶山2758－１、他）
106-1		6AEW-J（鈴池338－１、森西）
106-2		6AEE-W（楽殿2891－３、向井）
106-3		6AFL他（鍛冶山地内、明和町）
106-4		6AEC-L（苅干2861、坂本）
106-5		6AGO（鍛冶山2362、青山）
106-6		6ACC-B（塚山3340－４、田畑）
107		6ABI-O（中垣内414－１、他）
108		6AEQ-C（柳原2779－２、他）
109	7	6AFL-D（鍛冶山2763－１、他）
110-1		6ACM-J(東裏262－３、斎宮土地改良区)
110-2		6AGR-O（笛川2345－３、竹内）
111-1		6ADM（内山地内）
111-2		6ADK（上園地内）
111-3		6ADL他（宮ノ前地内）
112		6ACB-B（塚山3276－15、他）

次　数	年度	調　査　地　区
113-1	8	6ACI（広頭地内）
113-2		6ACI（広頭地内）
114		6AEQ-E・F（柳原地内）
115-1		6ADK・DL（上園・宮ノ前地内）
115-2		6ADK（上園地内）
116-1		6ADG（篠林地内、他）
116-2		6ADM-A（内山）
116-3		6ADI-Q（宮ノ前地内）
116-4		6ADI-M・N（上園地内）
116-5		6ADI（上園・篠林地内）
116-6		6ADH（篠林地内）
117-1		6AEF（楽殿2984－４）
117-2		6ADF-A・B（篠林3155－１、他）
117-3		6ABJ（中垣内地内）
117-4		6ADP（牛葉地内）
117-5		6AFC-M（北野3553－１、他）
117-6		6ACM-B（東裏266－６）
118	9	6ADN（内山地内）
119		6AFM-E・G（鍛冶山西地内）
120		6AFI-C・E、6AFG-R（西加座地内）
121		6AJB他（宮ノ前地区、他）
122		6AFN（鍛冶山地内）
123-1		6AFQ-A（中西地内）
123-2		6AFN他（中西・笹川地内）
123-3		6ADP-F～H・L（牛葉地内）
123-4		6ADQ-A～C（牛葉地内）
123-5		6AEE（刈干地内）
123-6		6ACC-I（塚山地内）
124	10	6AFM-B・E・G（鍛冶山地内）
125-1		6ACC-I（塚山3337－1他）
125-2		6AES他（斎宮・竹川地内）
125-3		6ADD-R（篠林地内）
125-4		6ACN（広頭）
126		6AGU（中西）



第22図　斎宮跡地区表示

第23図　斎宮跡方格地割区画名称

報告書抄録

ふりがな	しせきさいくうあと　へいせい 10 ねん ど はっくつちょうさがいほう
書名	史跡斎宮跡　平成10年度発掘調査概報
副書名	
巻次	
シリーズ名	
シリーズ番号	
編著者名	駒田利治・上村安生・大川・勝宏・角正芳浩
編集機関	斎宮歴史博物館
所在地	〒515-0325　三重県多気郡明和町竹川503番地　TEL 0596－52－3800
発行年月日	２０００年3月３１日

ふりがな 所収遺跡名	ふりがな 所在地	コード 市町村	コード 遺跡番号	北緯 °′″	東経 °′″	調査期間	調査面積 ㎡	調査原因
斎宮跡	多気郡明和町斎宮他	2442	210	34°31′55″ ～ 34°32′30″	136°36′16″ ～ 136°37′37″			計画調査
第124次調査	斎宮字鍛冶山					19980706 ～981112	978	
第126次調査	斎宮字中西					19981019 ～981124	200	

所収遺跡名	種別	主な時代	主な遺構	主な遺物	特記事項
斎宮跡	宮殿				
第124次調査		奈良後期～平安中期	掘立柱建物・柵 土抗・溝	土師器、須恵器、灰釉陶器、緑釉陶器	平安時代初期の内院の内郭柵列
第126次調査		室町	溝・土坑	土師器、灰釉陶器	

図　　版

調査区全景（上から）

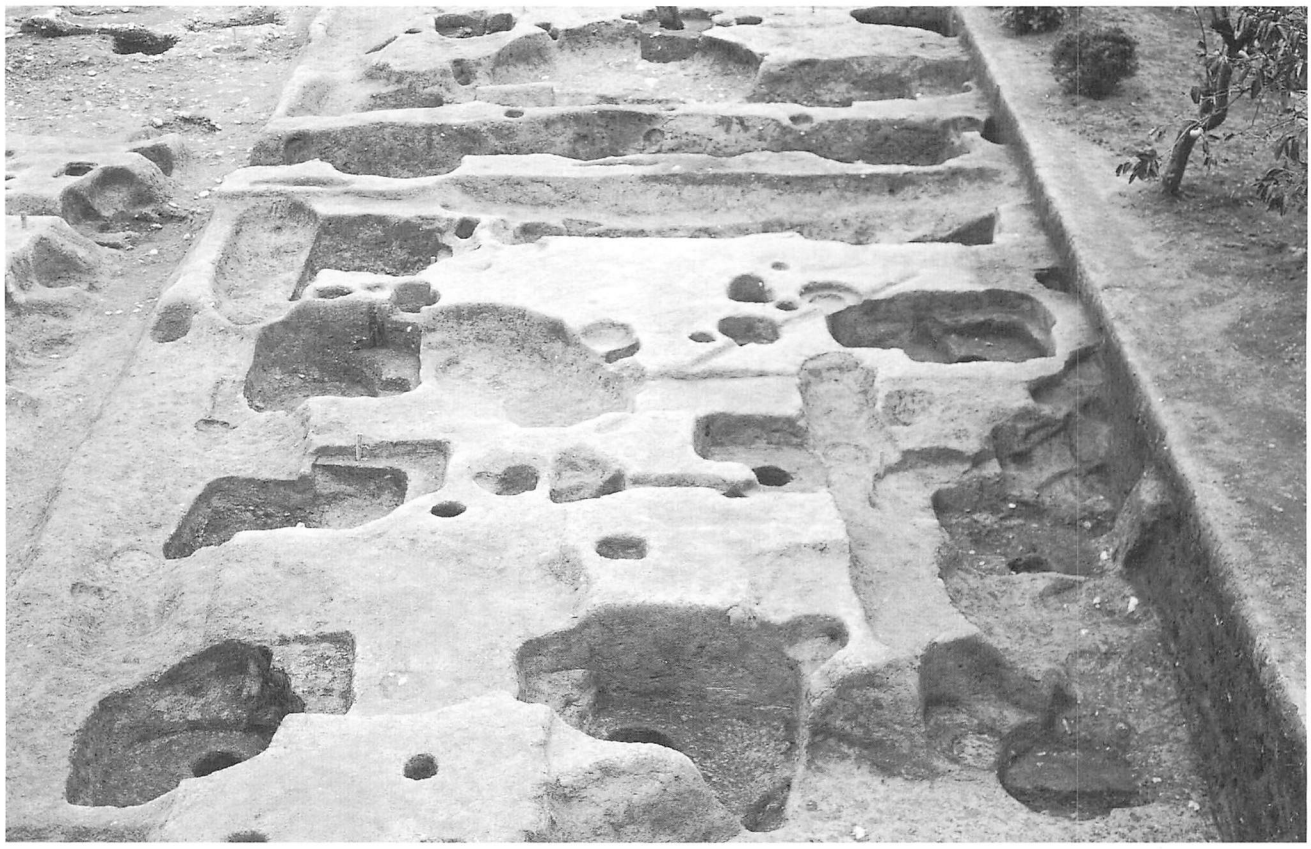
調査区全景（北から）

ＳＡ2705（西から）

ＳＢ7385・ＳＢ8050（北から）

ＳＢ8050（東から）

ＳＡ6790・ＳＤ6803（北から）



ＳＢ8060・8061・8062（北から）

ＳＢ8091（南から）

ＳＢ7915・7916・7917（北東から）

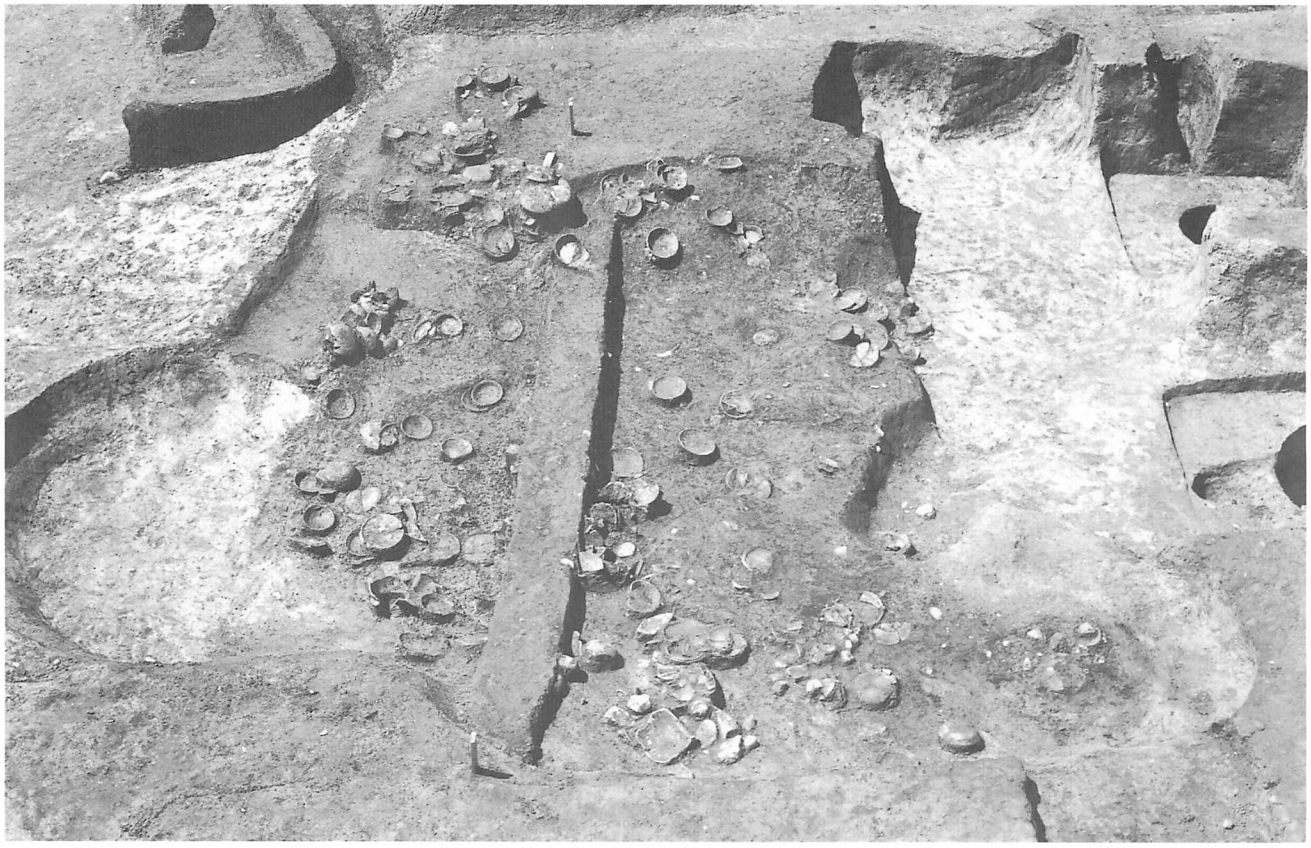
ＳＢ8090（東から）

ＳＢ6740（東から）

ＳＥ8085（東から）

ＳＫ6792遺物出土状況（北から）

ＳＫ6794南焼土面断ち割り状況（西から）



ＳＫ8088　遺物出土状況（東から）

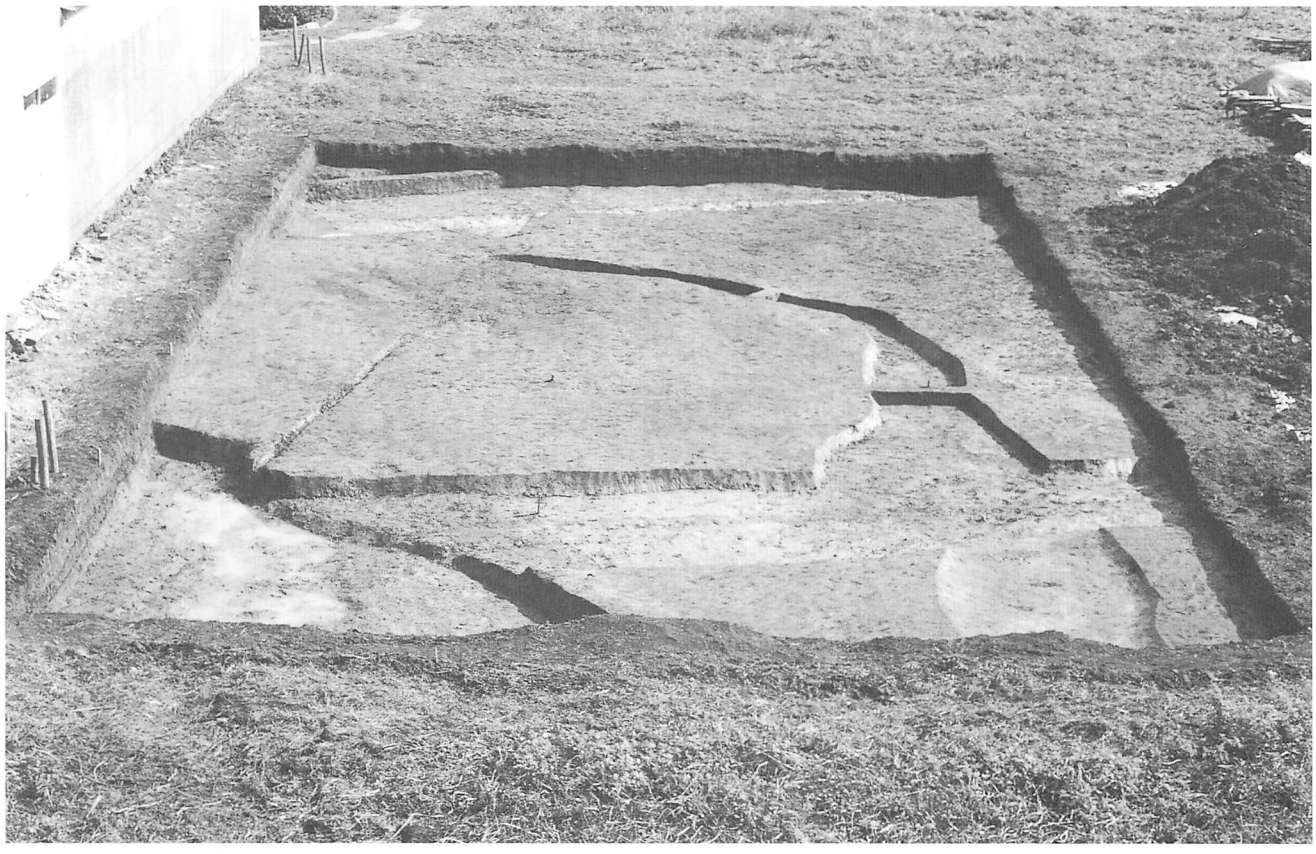
ＳＫ8088　埋土断面（南から）

ＳＤ1460　遺物出土状況（南から）

ＳＤ8066　遺物出土状況（北から）

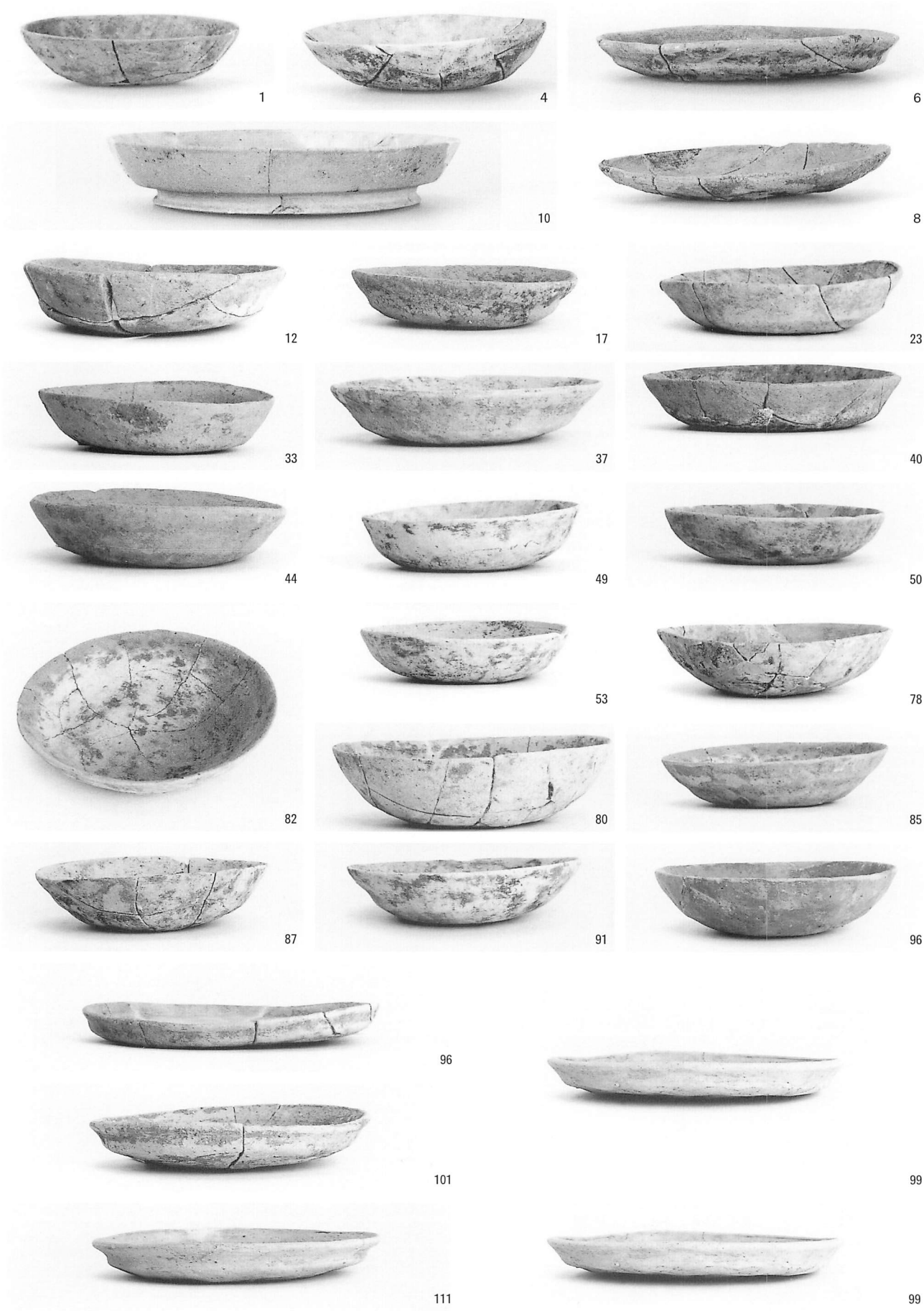
ＳＤ8063・ＳＤ8064（東から）

ＳＤ8069・ＳＫ8071（東から）



調査区全景（西から）

ＳＤ8098・8099（南から）



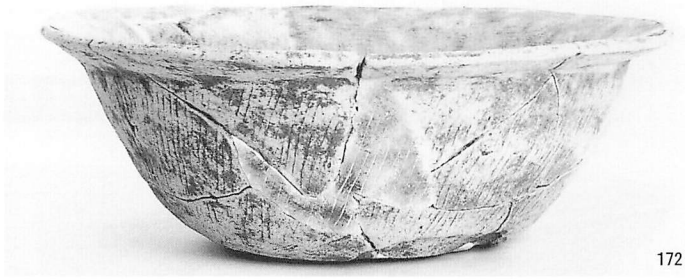
遺物写真（ＳＫ8057　ＳＫ8088）

116

119

142

159


172

178

195

200

201

204

208

216

212

221

224

227

225

261

遺物写真（ＳＫ 8088　ＳＫ 8084　ＳＫ 6792）

238

249

250

231

243

244

304

323

333

316

318

321

326

335

337

338

357

362

366

367

371

379

381

384

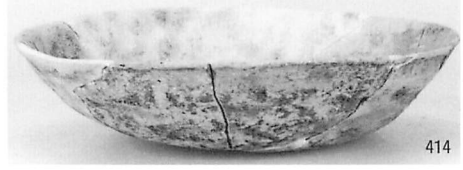
387

398

395

417

404


414

遺物写真（ＳＫ6794　ＳＫ8071　ＳＥ8058　ＳＫ8059）

422

424

429

431

432

433

435

442

446

449

452

458

460

466

467

473

480

492

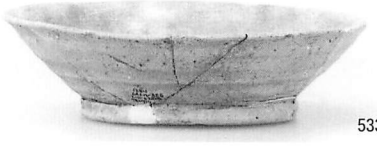
493

509

510

517

519


533

540

543

544

560

556

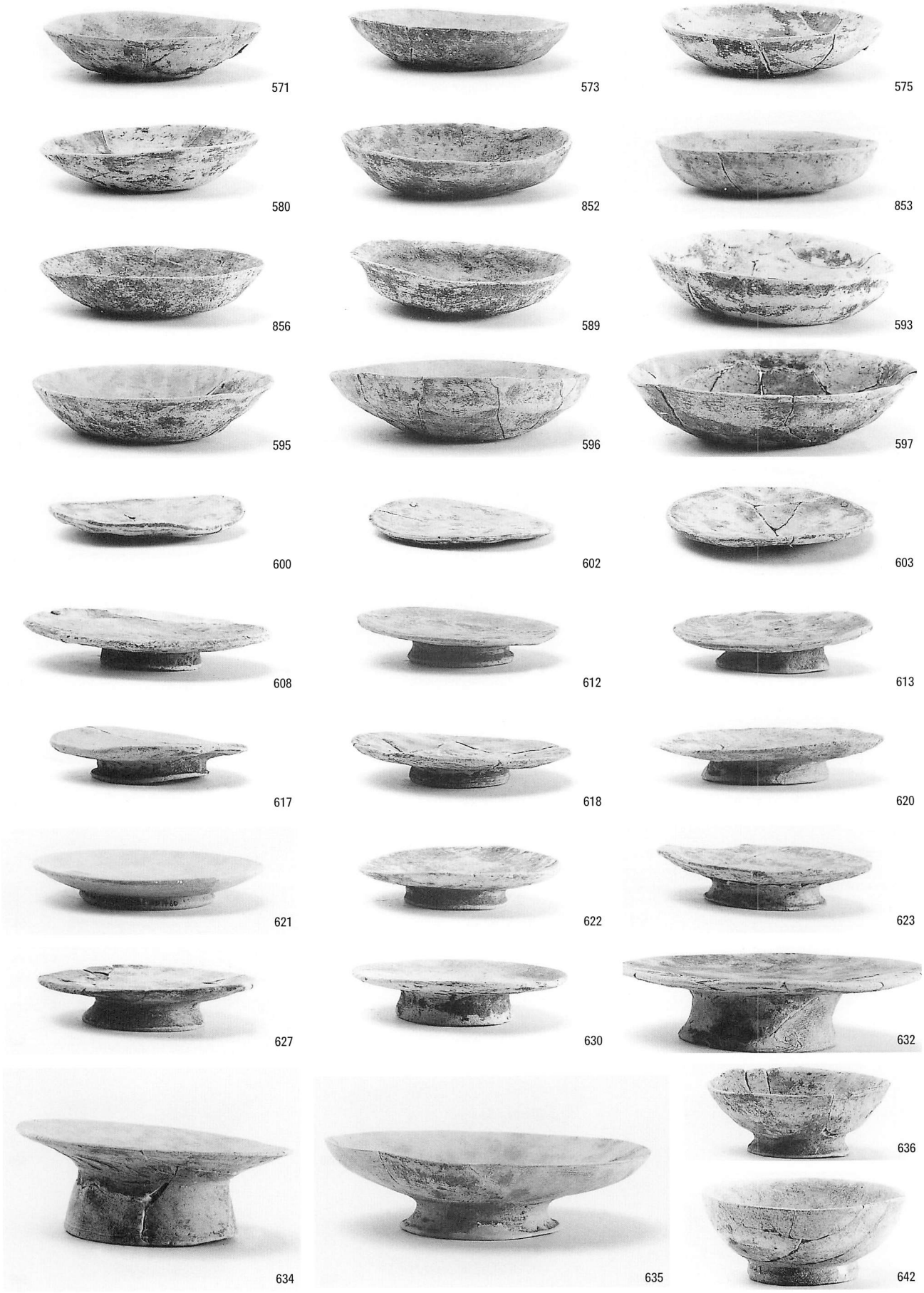
558

562

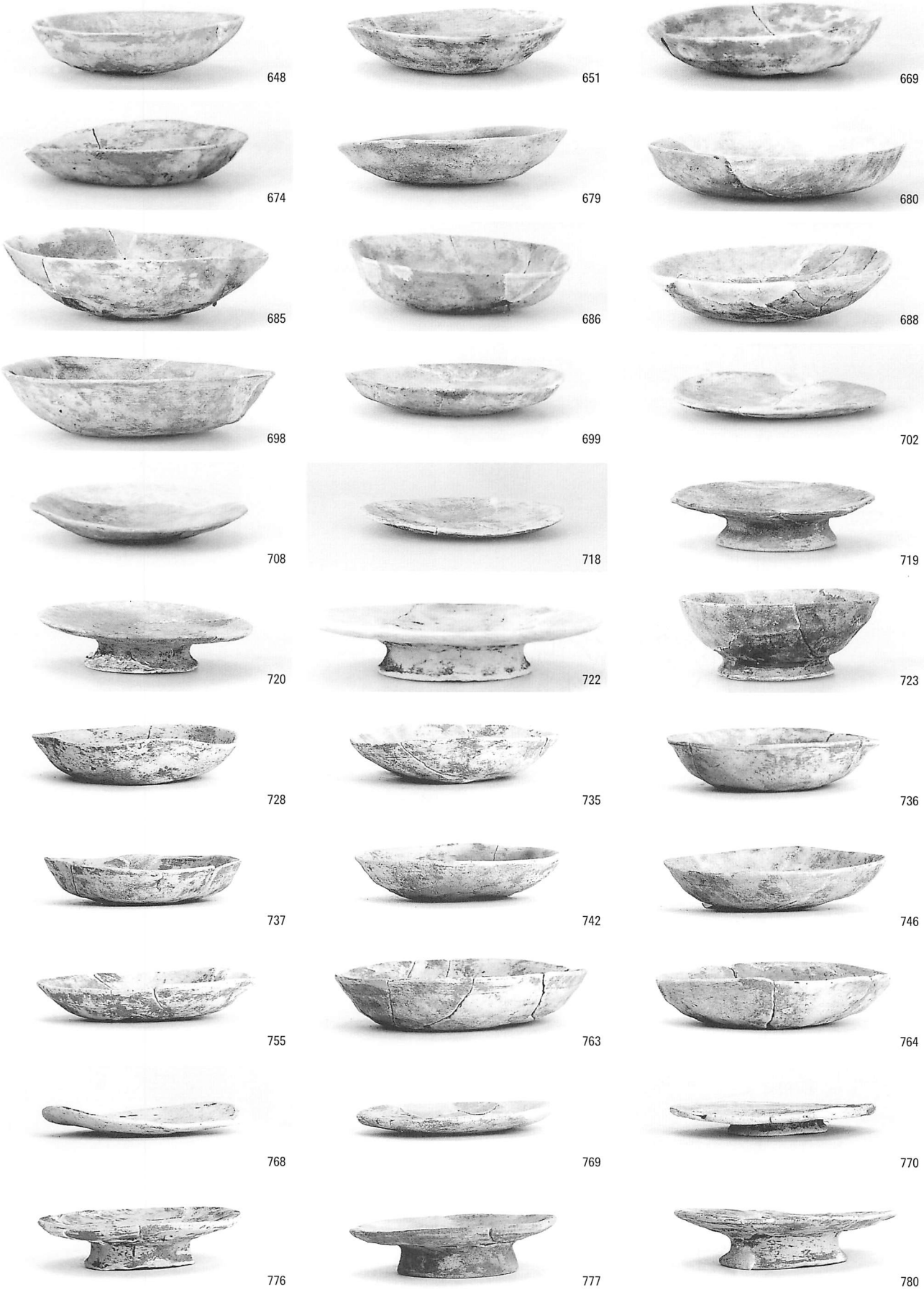
566

568

遺物写真（ＳＫ8069　ＳＫ8072　ＳＫ6750　ＳＤ1460）


571
573
575
580
852
853
856
589
593
595
596
597
600
602
603
608
612
613
617
618
620
621
622
623
627
630
632
634
635
636
642

遺物写真（ＳＤ1460）



遺物写真（ＳＫ8073　ＳＫ8066）

783

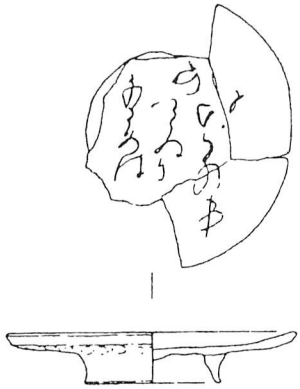
784

785

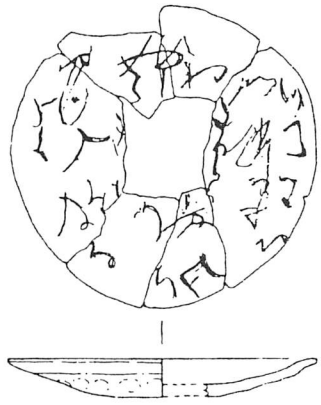
786

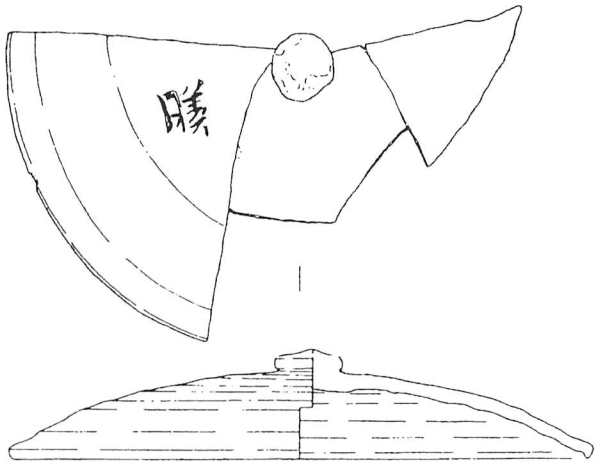
787

788


814

818


815


816

遺物実測図（ＳＫ8066　墨書土器、石帯）

史 跡　斎 宮 跡

平 成 10 年 度

発 掘 調 査 概 報

平成12年３月31日

編集発行　斎 宮 歴 史 博 物 館
印　　刷　光出版印刷株式会社